

浦幌町農業共済組合庁舎新築工事

株式会社 岡田設計

CORD NO.

SHEET NO.

TITLE

設計図

縮尺

株式会社 岡田設計

管理建築士 1級登録 66613
岡田孝生

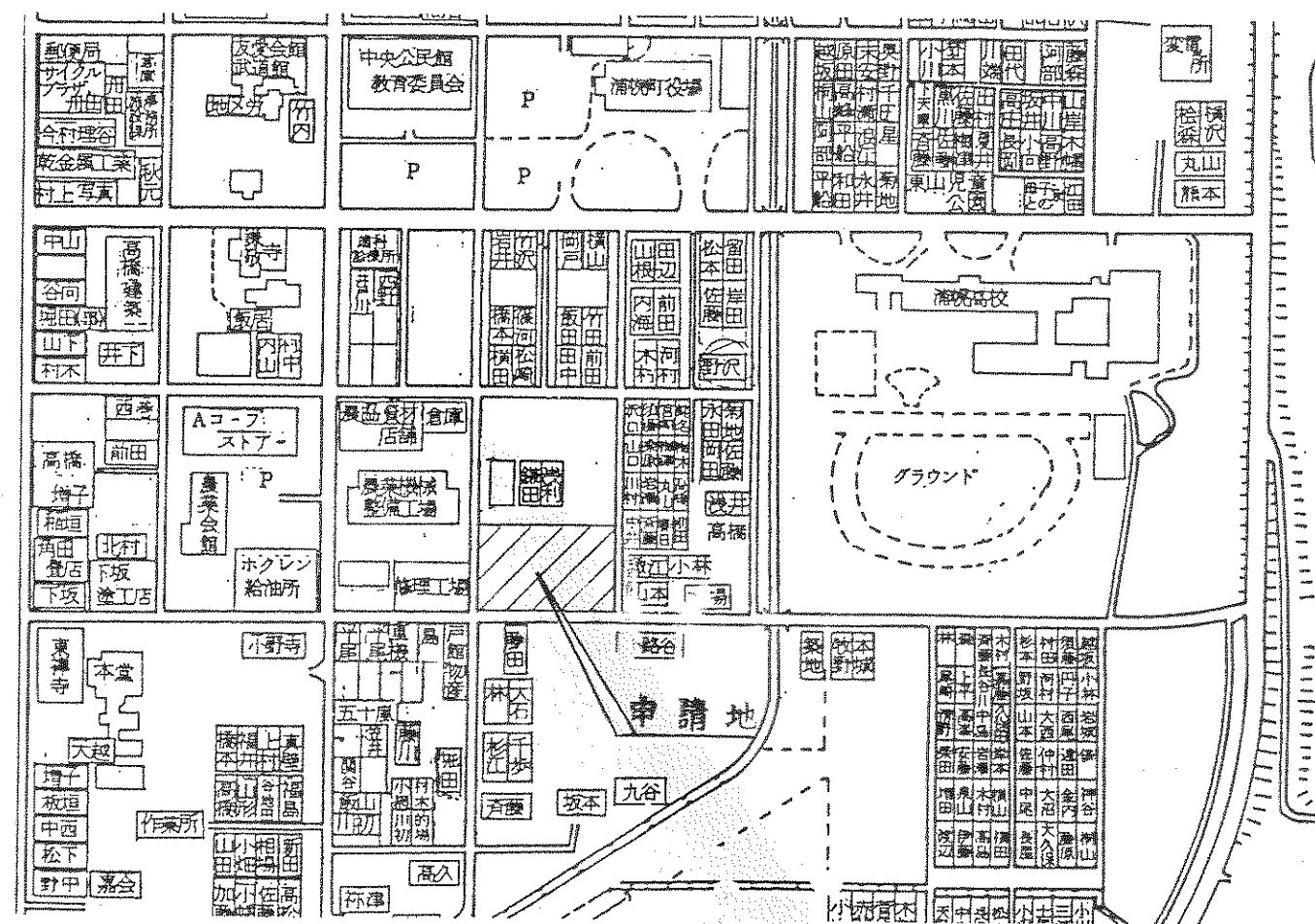
検
図

課
長

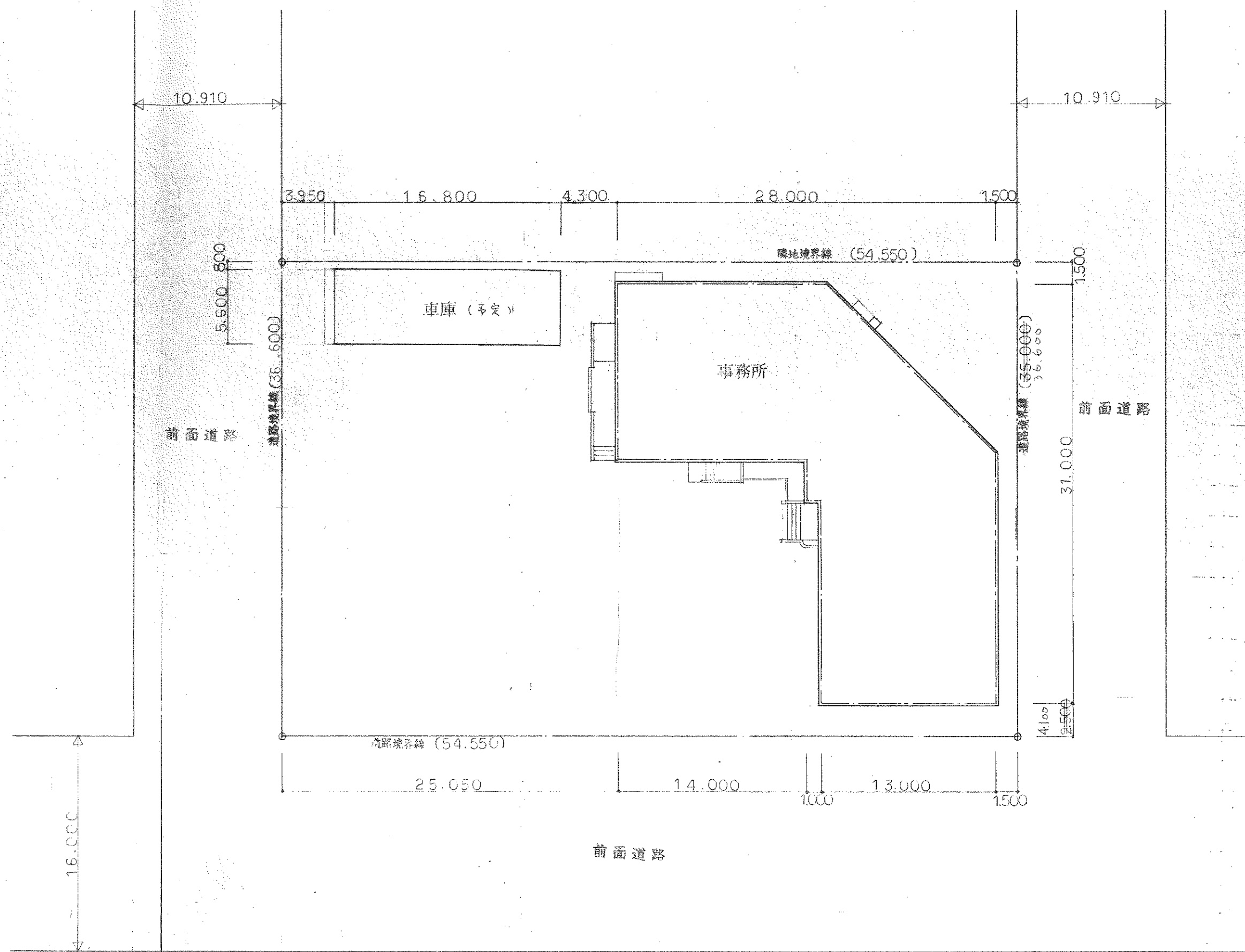
係
長

製
図

設計概要			
工事名	浦幌町農業共済組合庁舎新築工事		
所在地	十勝郡浦幌町新町15番地、8		
主要用途	事務所		
建築構造	鉄骨造		
工事種別	新築		
用途地域	準工業地域		
防火地域	指定なし 法22条地域		
最高の高さ	5.65	M	
敷地面積	1,996.53	M ²	
建築面積	541.72	M ²	
延べ面積	524.48	M ²	
建ぺい率	27.13	%	< 70 %
容積率	26.26	%	< 200 %



附近見取図



配置図

22

一、一般事項

口) 仕上表記号

○ S - オイルステイン

壁 柱 梁	天 井
 VP 塗装仕上ヲ示ス	 6 目 6%厚仕上材ヲ示ス
 不  準 不燃又は準不燃 クロス貼ヲ示ス	同 左
 75 75角タイルヲ示ス	 目 VP 目透シ貼リ 塗装ヲ示ス

下地凡例 W-木、M-モルタル、C-コンクリート、CB-コンクリートブロック、L-軽量鉄骨

八) 共通仕様

- 長尺塩ビシート — ACフロー (溶接工法)

マムストロシカ - 準備室 検査室はメデインテ

化粧石綿板 一 全て耐水石膏板の下地とする。専用シ

靴拭マット - PLAS TR マット

室名札 一 白磁ハラスキ、ワ型 80×260 取付新銅製 既製品文様

流、谷 一 田田記号は全?甘?河?下?の製

— 全 2 105 x 105 木下地 (向) 3 化粧石膏板貼

天板: 0.08 ステンレス板

断熟材。 — 床下、口一副 88 (木板制△) (特△) 地面平铺面皮。

休職期間外注 30 日以内 休職期間外注

外觀: 全? 30 H/LH / 全注

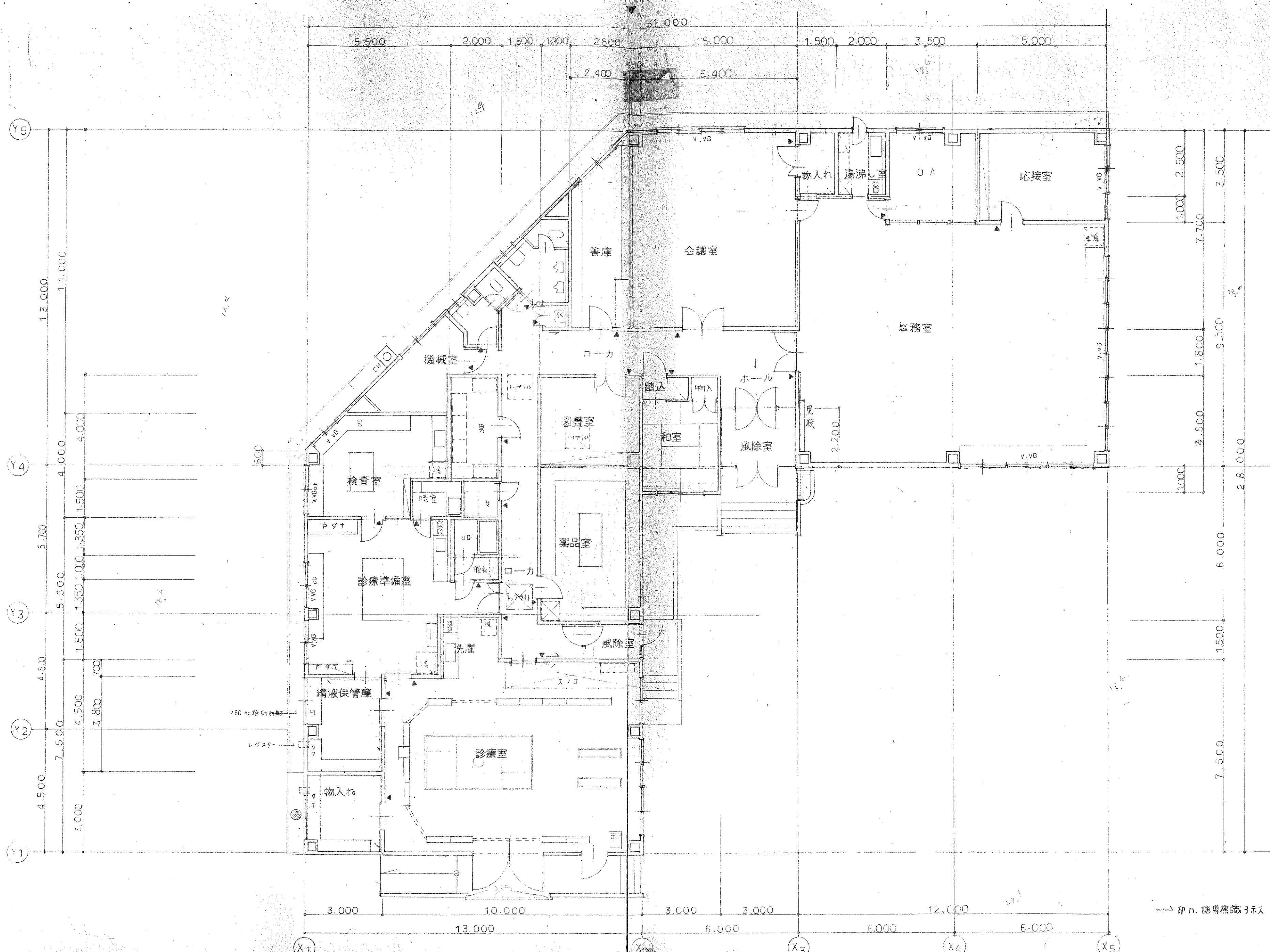
[illegible]

1990年12月10日

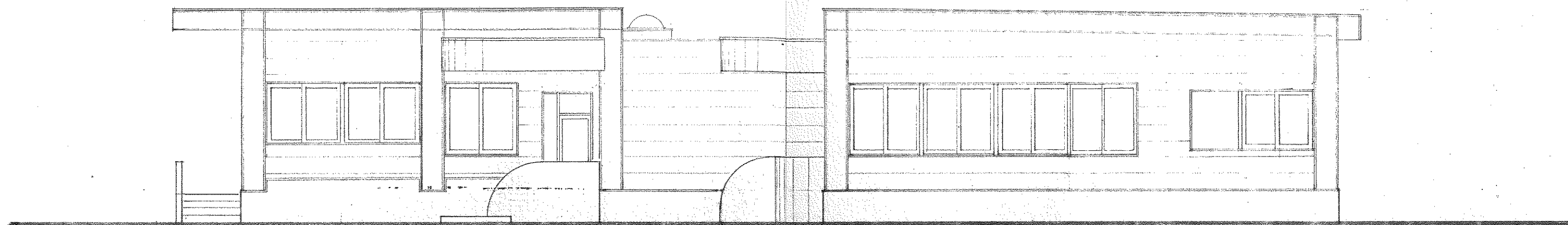
10-11-68

[illegible]

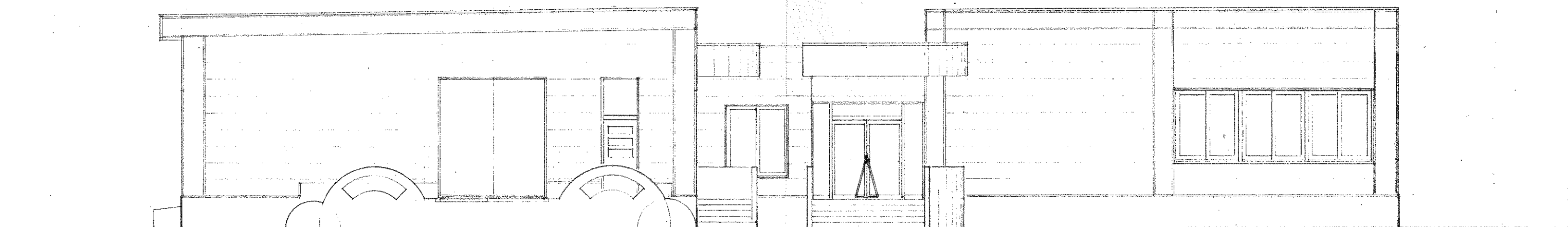
450-450



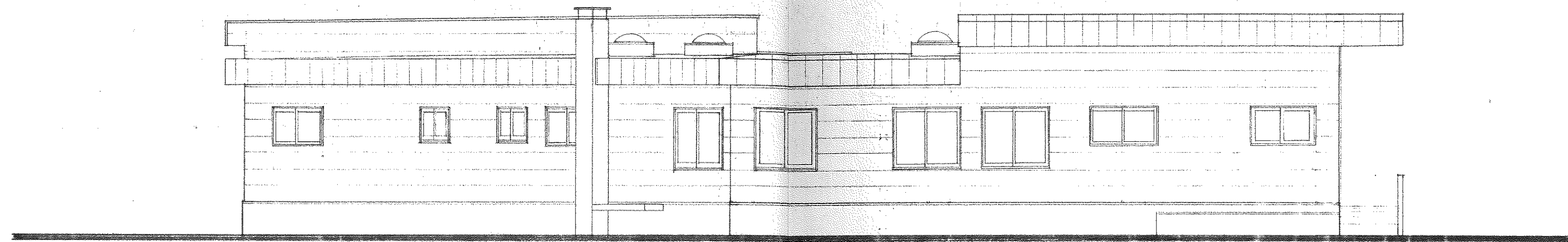
凡 例		コンクリート		軽量間仕切		防火シャッター		ガラスブロック		ルーアドレイン	P.S	パイプシャフト		スモレータ-連動	V.B	ベネシ-ンブラインド		機換気	S.F.D	甲種防火戸	A.D	アルミ製扉	WD	木製扉	WG	網入り硝子
		木造間仕切		A.L.C版		アコーデンドアー				吊環		手動式チェーン操作		改メロ	C.B	カーテンボックス		非常用出入口	S.D	鋼製扉	A.W	アルミ製硝子	磨き網入り硝子	P.W.G	磨き網入り硝子	
		コンクリートブロック		防煙タレ壁		ドアチェック(ヒューズ付)			D.S	ダクトスペース		ヒューズ装置		室名札		自然換気孔		消火栓	S.W	鋼製窓	A.S.C	アルミ製スクリーン				
CORD NO.		SHEET NO. 104		TITLE		浦幌町農業共済組合庁舎新築工事		設計図		平面図		縮尺 1/100		株式会社 岡田設計		管理建築士 1級登録 66613 岡田孝生		検図		課長		係長		製図		



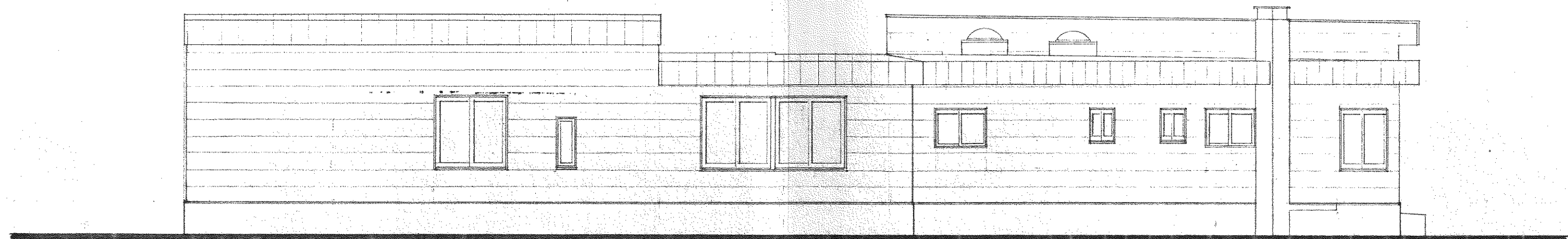
南 立 面 図



西 立 面 図



北 立 面 図



東 立 面 図

高松市西三河町9丁目（おらやビル）
建設会社 高松市西三河町9丁目
建設会社 高松市西三河町9丁目

CORD NO.

SHEET NO. 106

TITLE 浦幌町農業共済組合庁舎新築工事

設計図

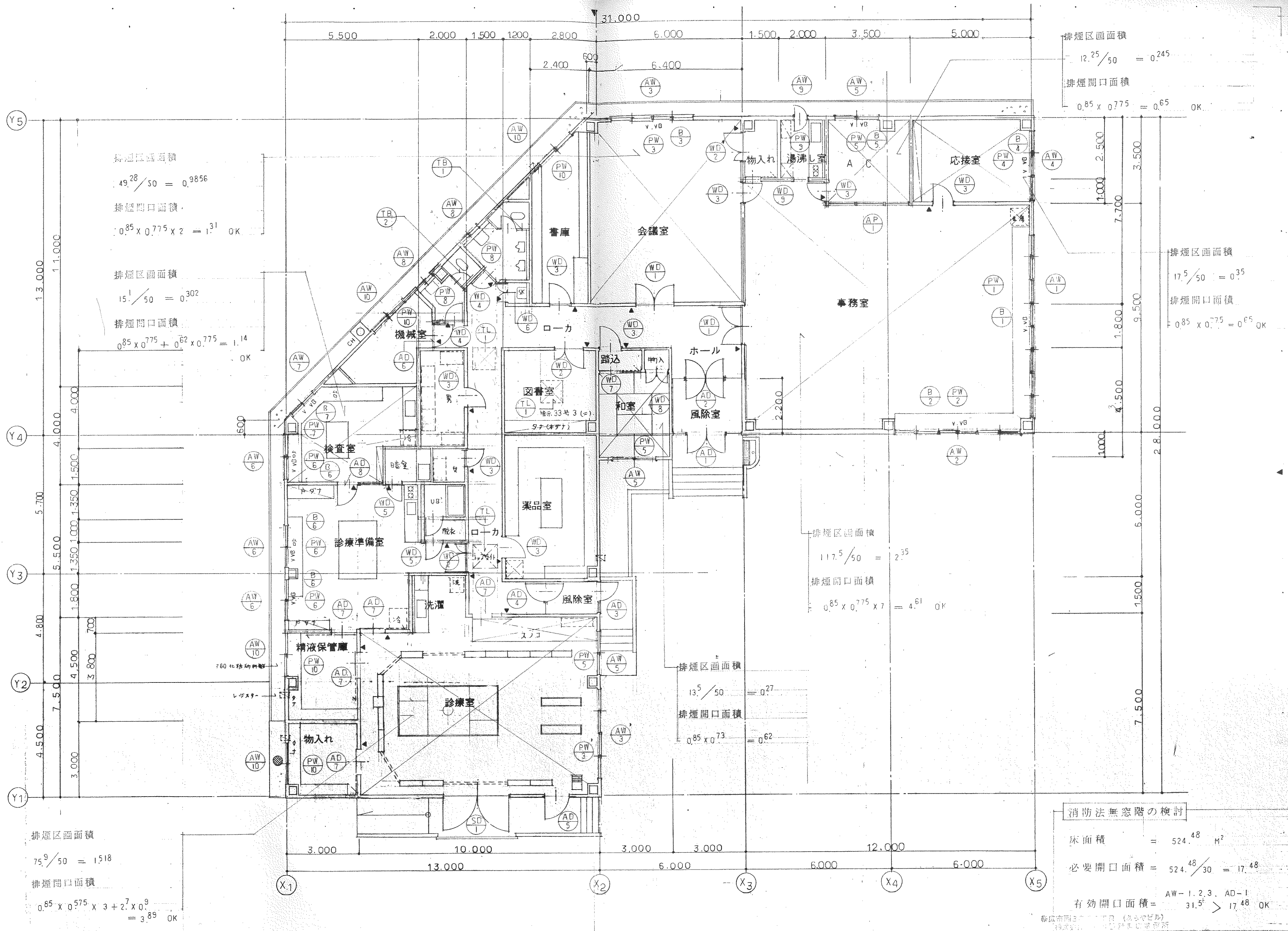
立 面 図

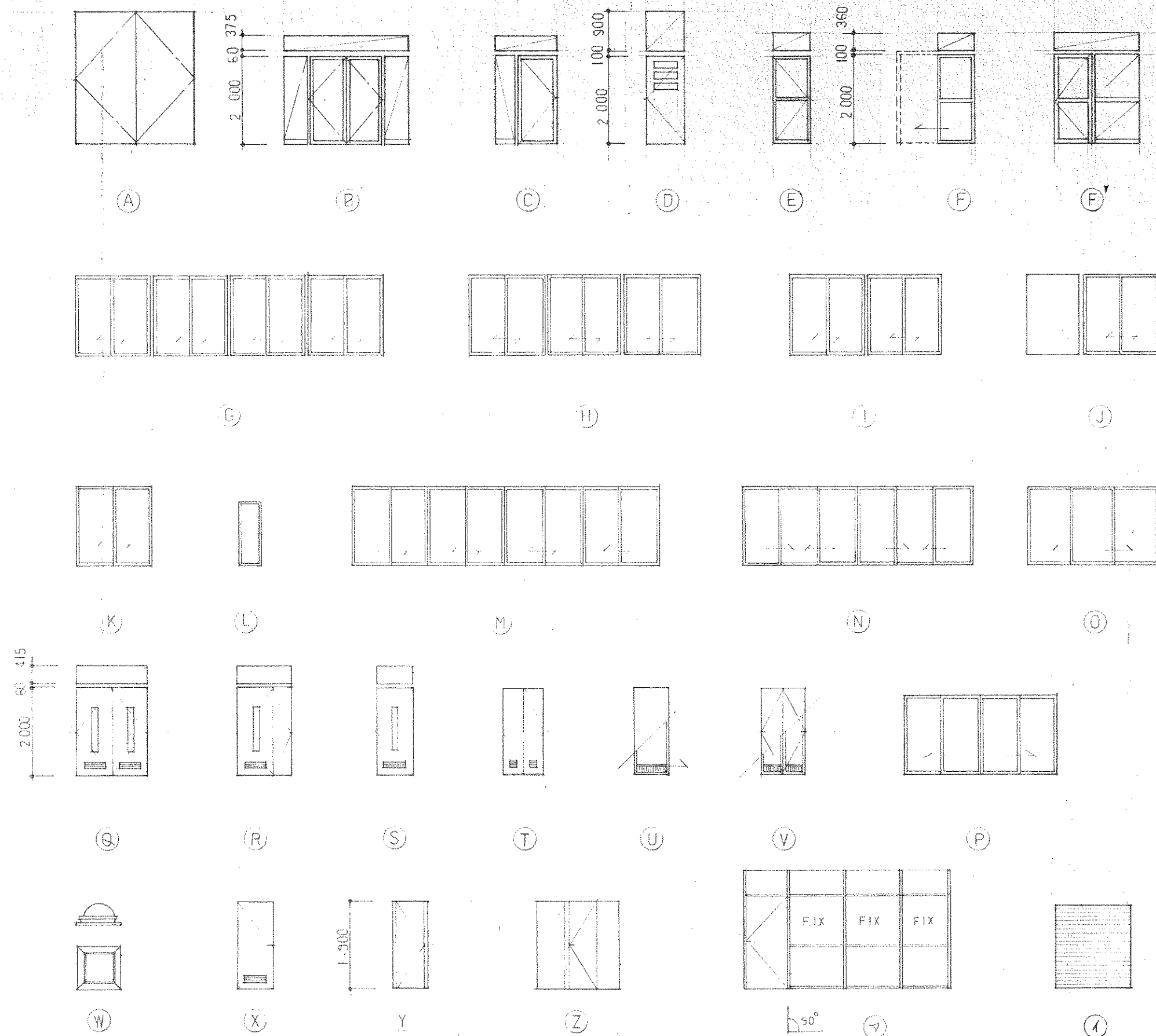
縮尺 1/100

株式会社 岡田設計

管理建築士 1級登録 66613 岡田孝生

校 図	課 長	係 長	製 図
--------	--------	--------	--------





・建 具 記 号

SD: スチール製ドア
SW: スチール製窓
SSC: スチール製スクリーン
SS: スチール製シャッター
SPS: スチール製パイプシャッター
SG: スチール製ガラリ
PW: プラスチック製窓
WD: 木製ドア
WW: 木製窓
WSC: 木製スクリーン
WG: 木製ガラリ

AD: アルミ製ドア
AW: アルミ製窓
ASC: アルミ製スクリーン
APS: アルミ製パイプシャッター
AG: アルミ製ガラリ
APT: アルミパーティション
AP: アルミパネル
SSW: ステンレス製窓
SSD: ステンレス製ドア
SO: 防煙垂壁 (6.8 磨練入硝子)
SLD: スライディングドア
AO: アコーディオンカーテン

・塗 装 記 号

SOP: 合成樹脂調合ペイント
VP: 塩ビ溶剤型塗料
OL: クリヤラッカー
OS: オイルステイン

・金 物 記 号

DO: ドアーチェック
FH: フローアヒンジ
PH: ピボットヒンジ
LH: ラバトリーヒンジ
OH: オートヒンジ
FB: フランス落シ
DS: 戸 当 リ
N: 引手・押板
B: 丁 番
R: 戸 車
Y: レール (角)
K: クレセント
O: 丘 車
U: Uステンレール (SUS304)
G: グレモン
CL: シリンダー錠
ML: モノロック

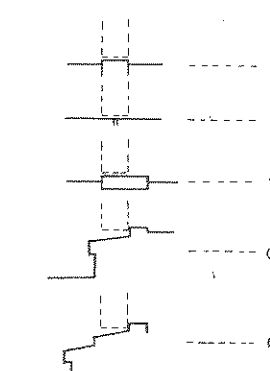
建 具 表

記 号	使 用 個 所	姿 図	数 量	見 込	内 法 寸 法		硝 子			材 質 塗 装	附 属 金 物	備 考
					W	H	袖	扉	ランマ			
SD-1	両開きドア	A	1	40	2,700	3,000	3.4			塩ビ塗装 (粉装)	CL, FB, B (4枚吊)	エレベーター、スチール製
AD-1	ランマ袖FIX付両開き	B	1	70	(ドア) 1,600 2,815	2,000 2,460	5 FL	5 FL	5 FL	アルミ製 (シールド)	CL, B, DC, 押板	水切
-2	"	B	1	70	"	"	"	"	"	"	CL, FH, 押板	"
-3	ランマ袖FIX付片開き	C	1	70	(ドア) 850 1,360	2,000 2,460	"	"	"	"	CL, B, DC, 押板	水切
-4	"	C	1	70	"	"	"	"	"	"	CL, FH, 押板	"
-5	ランマFIX付片開き	D	1	70	850	(ドア) 2,000 3,000	PG	3 FL - 6A	-3 FL	"	B, DC, ML, CL	水切
-6	"	E	1	70	850	(ドア) 2,000 2,460		ドアなし	3 FL	"	B, DC, ML, CL	ボトムダストシールド付
-7	ランマFIX付片開き	F	5	70	800	2,000		5 FL 扉なし	3 FL	"	N, U, R, CL	"
-8	ランマ袖FIX付片開き	F'	1	70	1,900	(ドア) 2,000 2,460	5 FL	5 FL	3 FL	"	B, DC, ML, CL	"
AW-1	引違い、4連窓	G	1	70	7,010	1,800	PG	3 FL - 6A	-3 FL	"	カセット	水切、マニッ
-2	引違い、6連窓	H	1	70	5,240	1,800		"	"	"	"	"
-3.3'	引違い、8連窓	I	2	70	3,470	3'-1,800 3'-1,500		"	"	"	"	"
-4	袖FIX付引違い窓	J	1	70	2,960	1,500		"	"	"	"	"
-5	引違い窓	K	3	70	1,700	1,800		"	"	"	"	"
-6	"	K	3	70	1,700	1,500		"	"	"	"	"
-7	"	K	1	70	1,240	1,500		"	"	"	"	"
-8	"	K	2	70	800	900		"	"	"	"	"
-9	片開き窓	L	1	70	500	1,200		"	"	"	B, ハンドル	"
-10	引違い窓	K	4	70	1,700	900	90.4	"	"	"	クレセント	"
PW-1	引違い、8枚窓	M	1	74	7,010	1,800		3 FL		プラスチック	取付金物一式	"
-2	引違い、6枚窓	N	1	74	5,240	1,800		"	"	"	"	"
-3.3'	引違い、4枚窓	P	2	74	3,470	3'-1,800 3'-1,500		"	"	"	"	"
-4	引違い、2枚窓	O	1	74	2,960	1,500		"	"	"	"	"
-5	引違い窓	K	3	74	1,700	1,800		"	"	"	"	"
-6	"	K	3	74	1,700	1,500		"	"	"	"	"
-7	"	K	1	74	1,240	1,500		"	"	"	"	"
-8	"	K	2	74	800	900		4 FG	"	"	"	"
-9	片開き窓	L	1	74	500	1,200	64.8	"	"	"	"	"
-10	引違い窓	K	4	74	1,700	900		3 FL 4 FG - (3.45+号)	"	"	"	"
WD-1	ランマFIX付両開き	Q	2	36	1,600	ランマ 415 2,475	一部 3 FL			アルミ製 ベニヤ SOP	B, DC, CL, ML, FB	ガラス 150 下部 200mm 網目
-2	ランマFIX付片開き	R	2	36	1,200	ランマ 415 2,475	一部 3 FL			"	WD-2は、DC, CLは無し	WD-2は無し
-3	ランマFIX付片開き	S	3	36	850	ランマ 415 2,475	一部 3 FL			"	B, DC, CL, ML	WD-1は無し
-4	片開き	S	2	36	850	2,000				"	"	"

・硝 子 記 号

FL: フロート硝子
FG: 型板硝子
RWG: 網入硝子
PWG: 磨網入硝子
PTG: 磨練入硝子
TG: 強化硝子
PG: ペアー硝子

・窓 摺 の 形 式



・そ の 他 記 号

AT: エアータイト
A: 空気層



・一 般 事 項

- (1) 木製ドア枠は特記なき限りスチール枠とする
- (2) 丁番は特記なき限りステンレス3枚吊とする
- (3) 取手が壁に接する箇所は扉に戸当り取付とする
- (4) 外部に面するドアは全て内部ロックウール充填・エアータイトとする
- (5) 使用するステンレスは全てSUS304とする (ビス共)
- (6) サッシュ中空部はウレタン発泡充填とする
- (7) 建具金物等は全て見本提出の上係員の承認を得る
- (8) 各キーの使用場所を表示したネームプレート付のキーボックスを作成の事
- (9) SD窓摺は全てステンレスとする
- ()

[illegible]

• 建 具 記 号

S D : スチール製ドア	P W : プラスチック製窓
S W : スチール製窓	:
SSC : スチール製スクリーン	:
S S : スチール製シャッター	W D : 木製ドア
SPS : スチール製バイブシャッター	W W : 木製窓
S G : スチール製ガラリ	WSC : 木製スクリーン
:	W G : 木製ガラリ

・塗 装 記 号

SOP: 合成樹脂調合ペイント
V P: 塩ビ溶剤型塗料
C L: クリヤラッカー
O S: オイルステイン

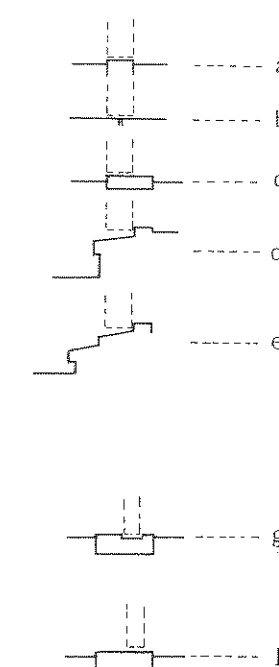
・金物記号

D C : ドアー・チェック
F H : フロアー・ヒンジ
P H : ピボット・ヒンジ
L H : ラバトリリー・ヒンジ
O H : オート・ヒンジ
F B : フランス落シ
D S : 戸 当 り
N : 引手・押板
B : 丁 番
R : 戸 車
Y : レール (角)
K : クレセント
O : 丘 車
U : U ステンレール (SUS 304)
G : グレ モン

・硝子記号

F L : フロート硝子
F G : 型板硝子
RWG : 網入硝子
PWG : 磨網入硝子
PTG : 磨線入硝子
T G : 強化硝子
P G : ペアー硝子

・沓 摺 の 形 式



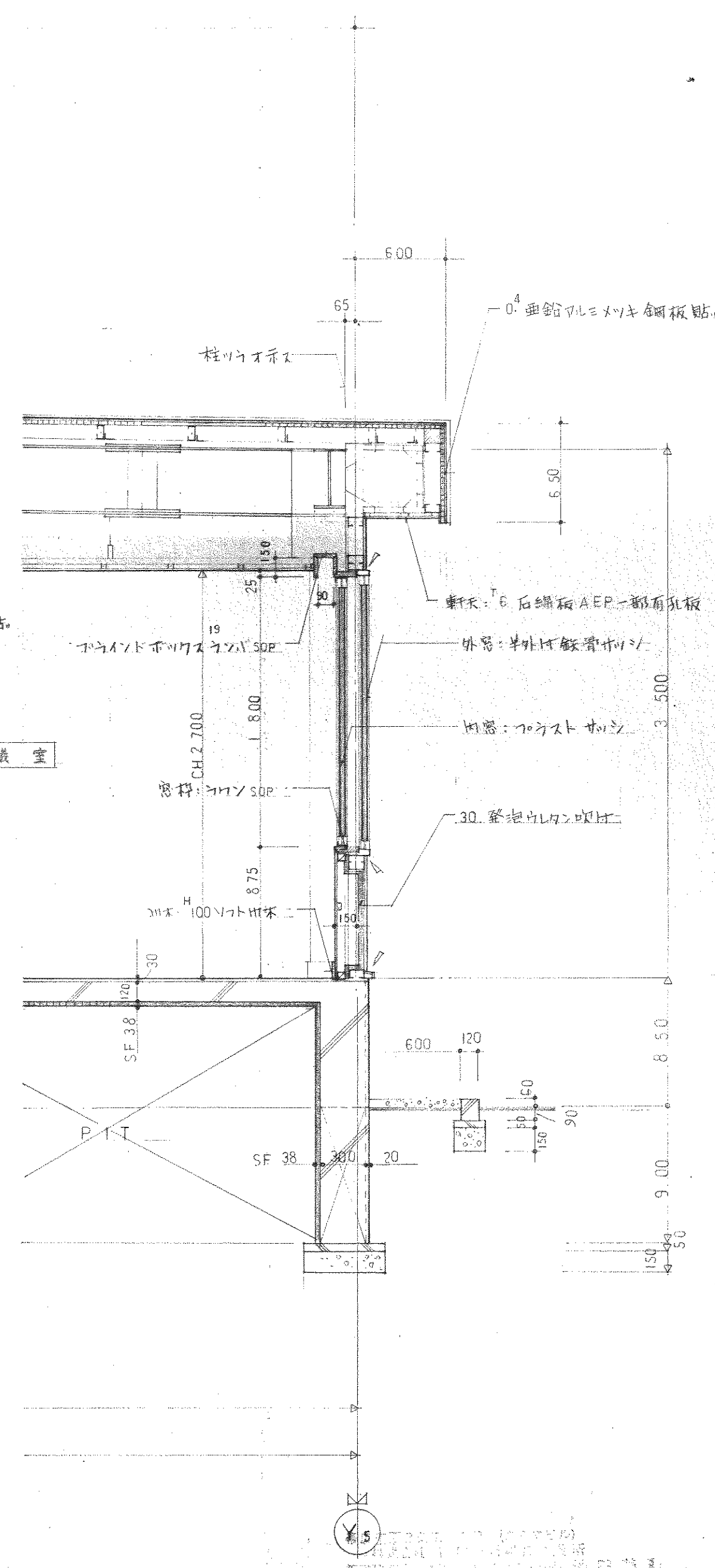
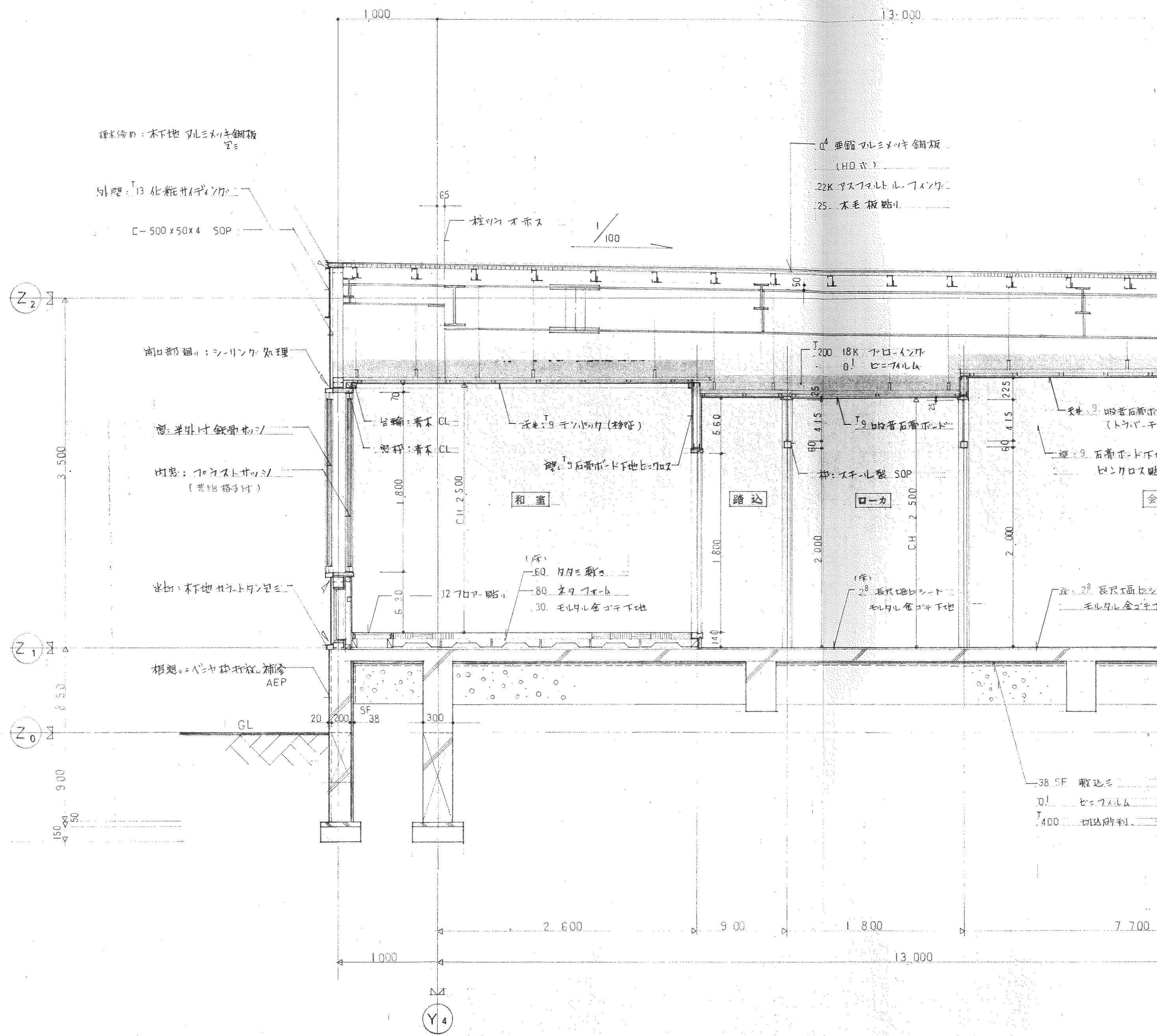
• 一般事項

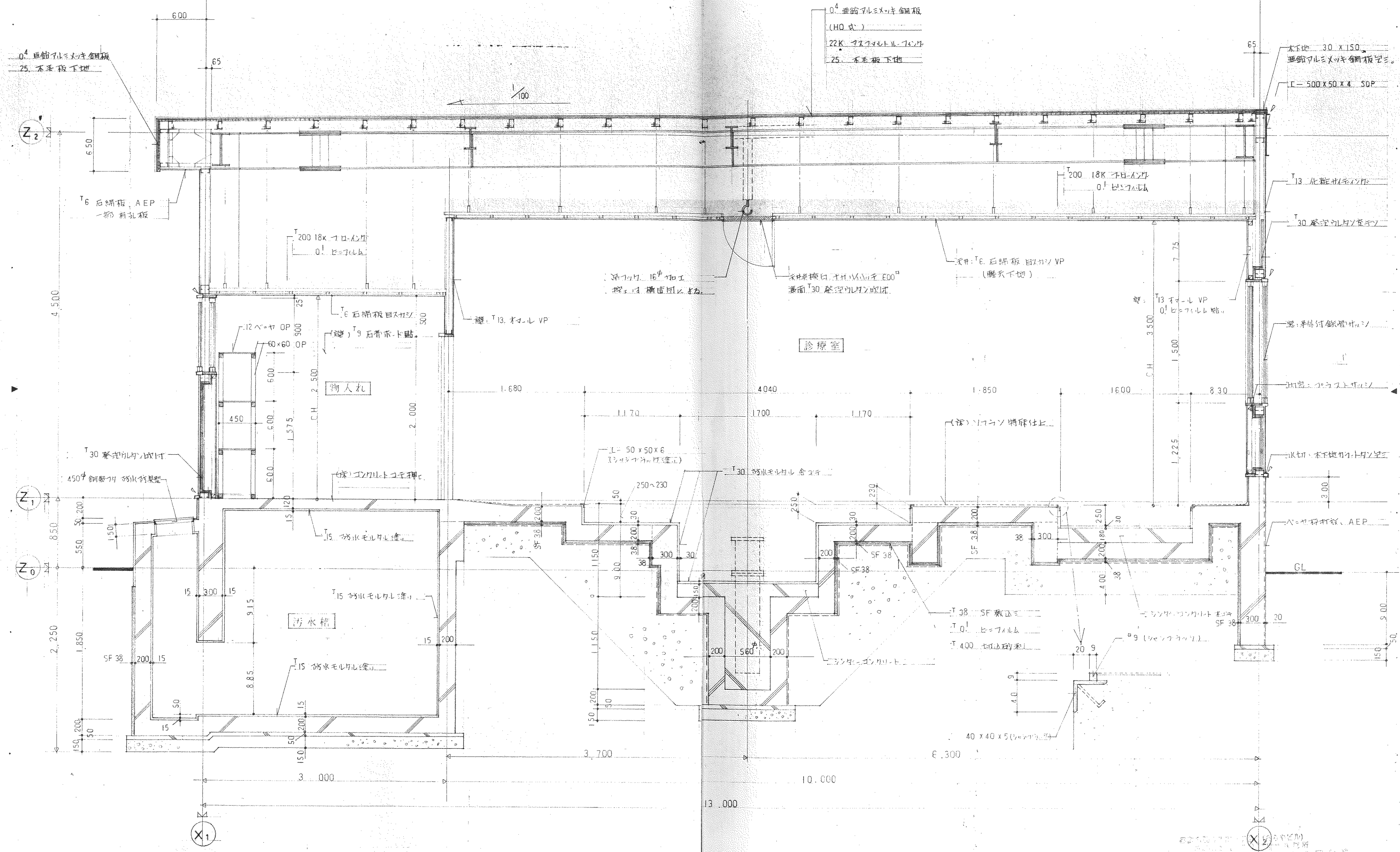
- (1) 木製ドア枠は特記なき限りスチール枠とする
- (2) 丁番は特記なき限りステンレス3枚吊りとする
- (3) 取手が壁に接する箇所は扉に戸当り取付とする
- (4) 外部に面するドアは全て内部ロックウール充填・エアタイトとする
- (5) 使用するステンレスは全て SUS 304 とする（ビス共）
- (6) サッシュ中空部はウレタン発泡充填とする
- (7) 建具金物等は全て見本提出の上係員の承認を得る
- (8) 各キーの使用場所を表示したネームプレート付のキーボックスを作成の事
- (9) S D 沓摺は全てステンレスとする
- ()

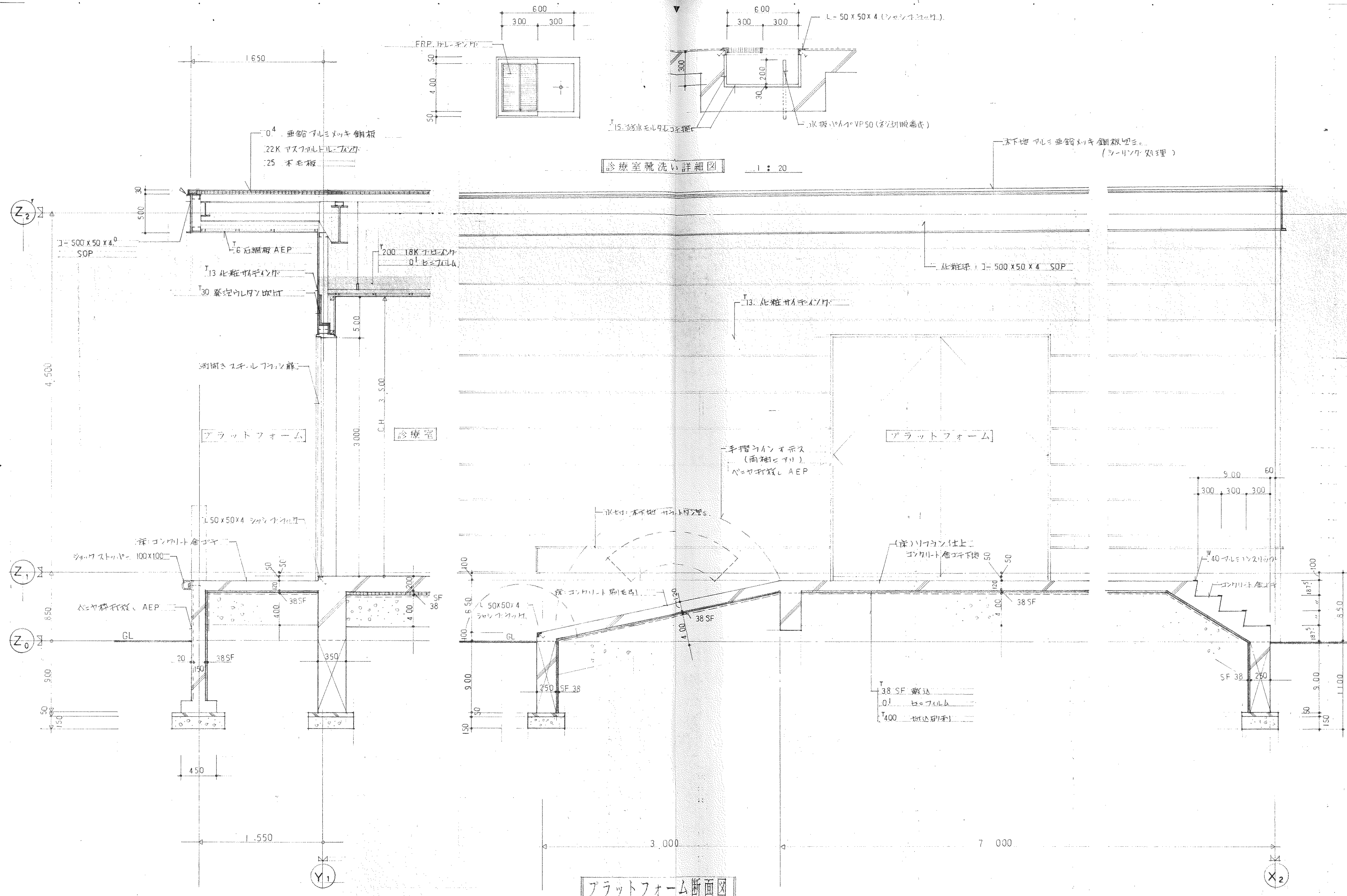
・その他記号

A T : エアータイト
A : 空気層

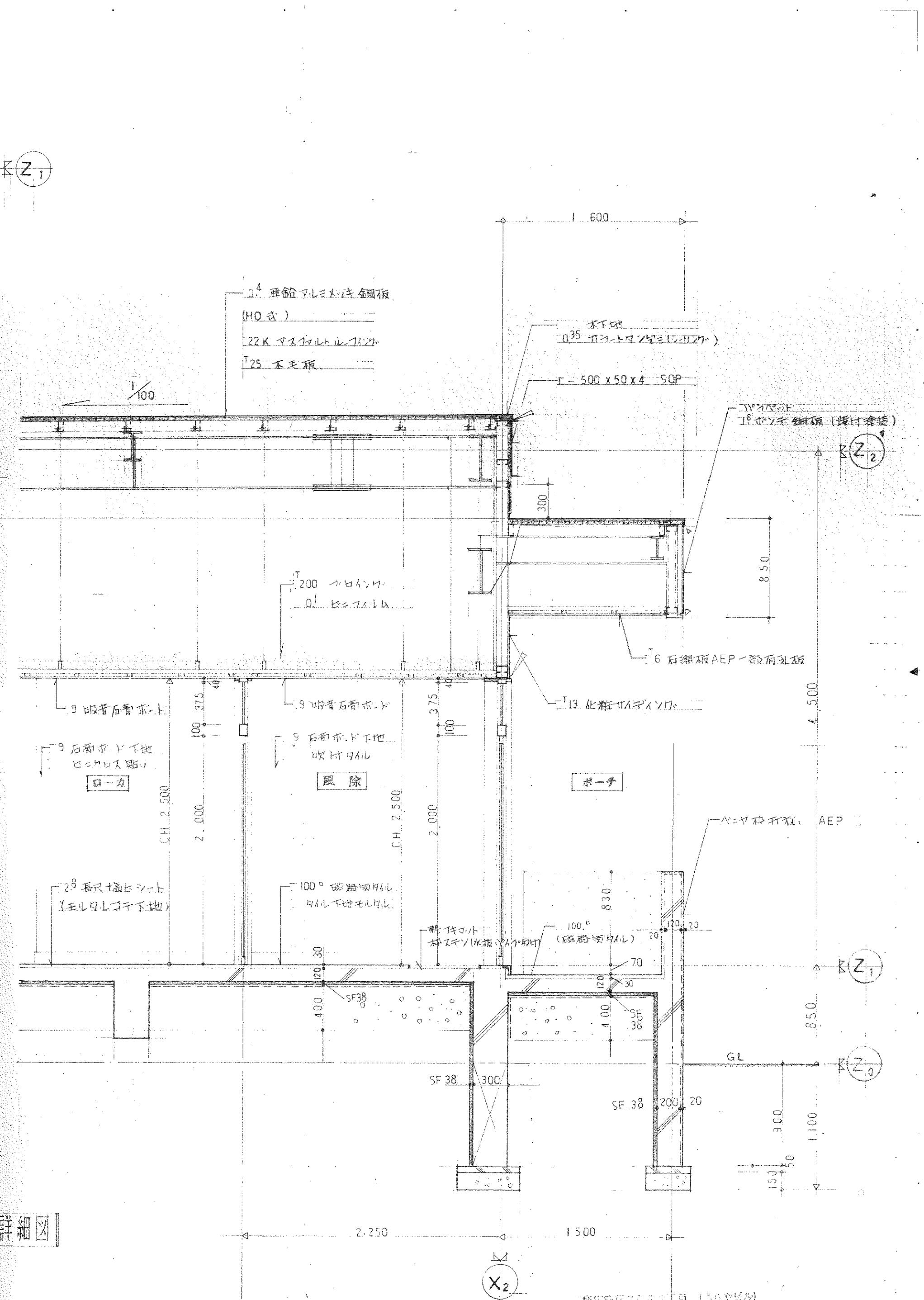
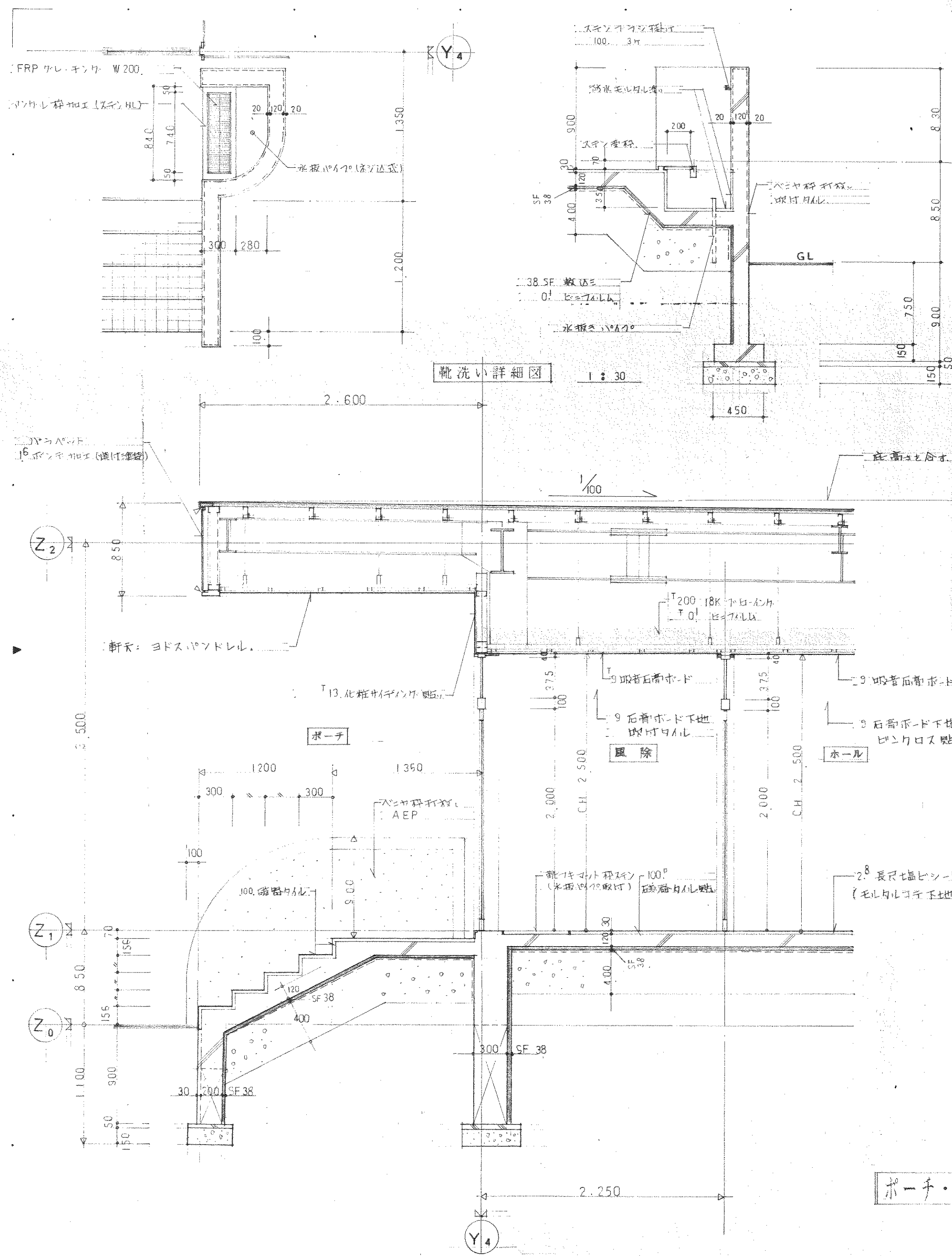
A D : アルミ製ドア	:	
A W : アルミ製窓	S O : 防煙垂壁 (6.8 磨線入硝子)	
ASC : アルミ製スクリーン	SLD : スライディングドア	
APS : アルミ製バブジャッター	A O : アコーディオンカーテン	
A G : アルミ製ガラリ	:	
APT : アルミパーティション	:	
A P : アルミパネル	:	
:		
SSW : ステンレス製窓		
SSD : ステンレス製ドア		

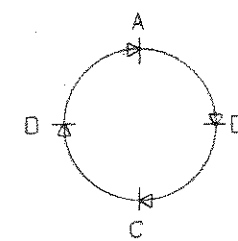
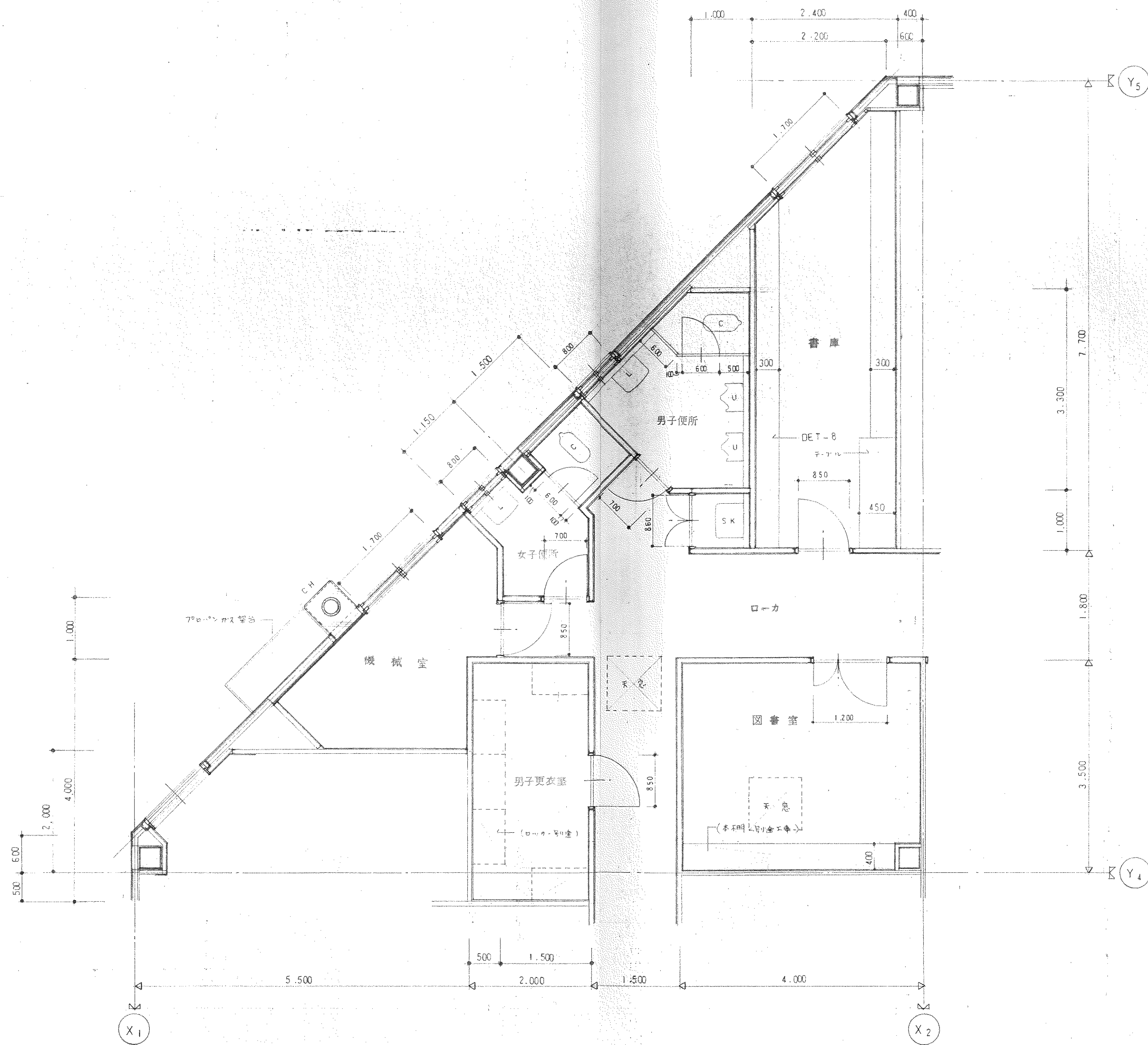


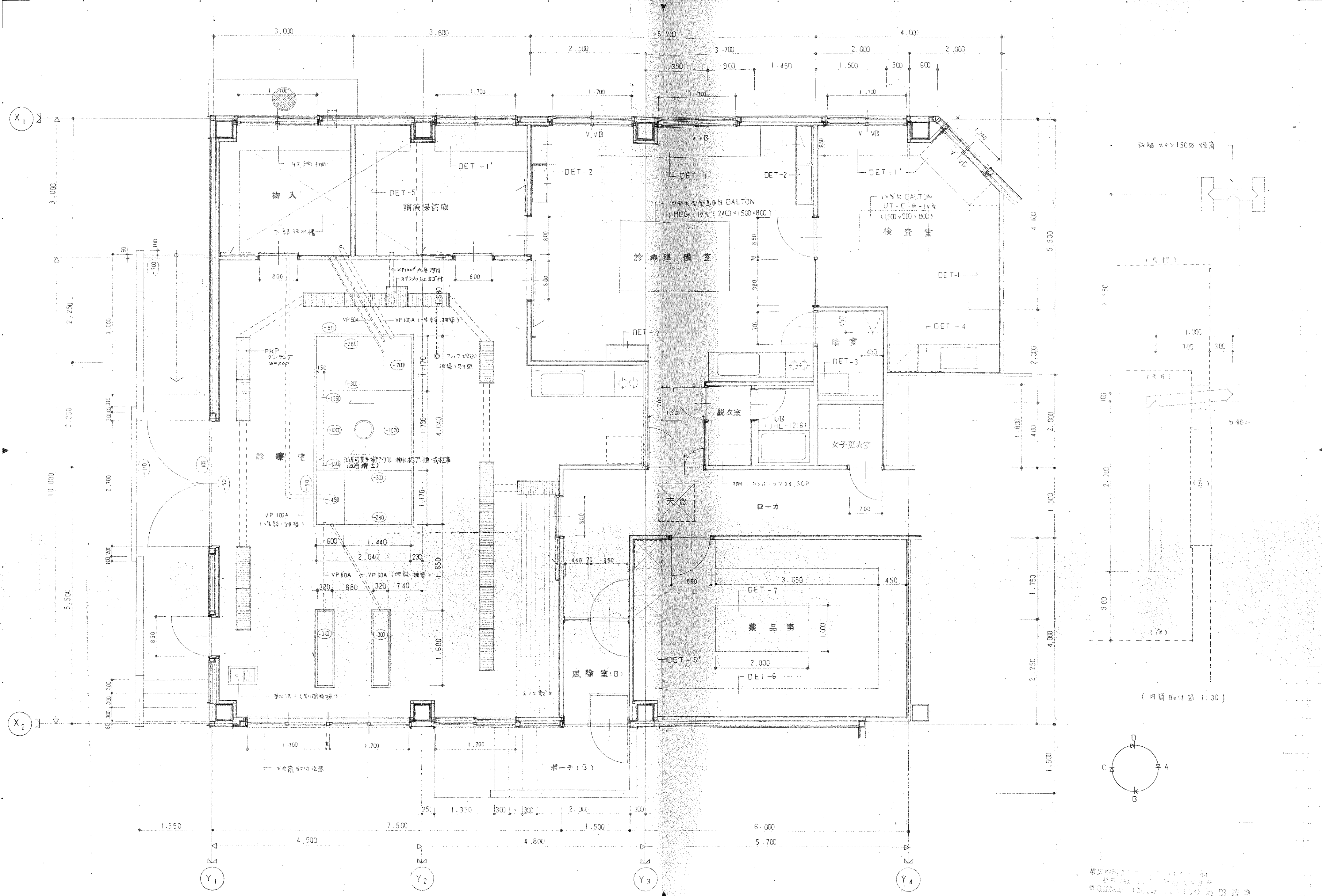


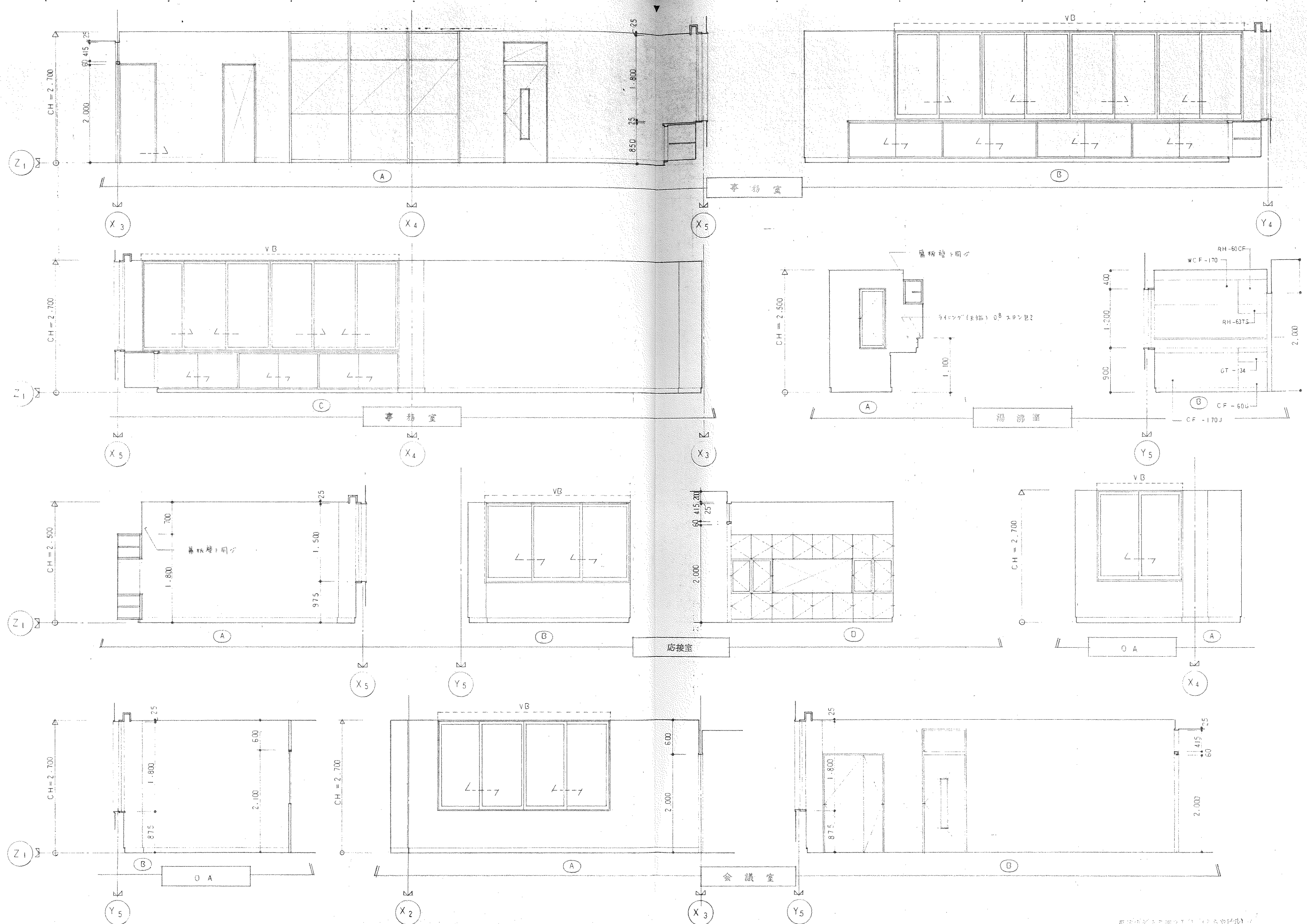


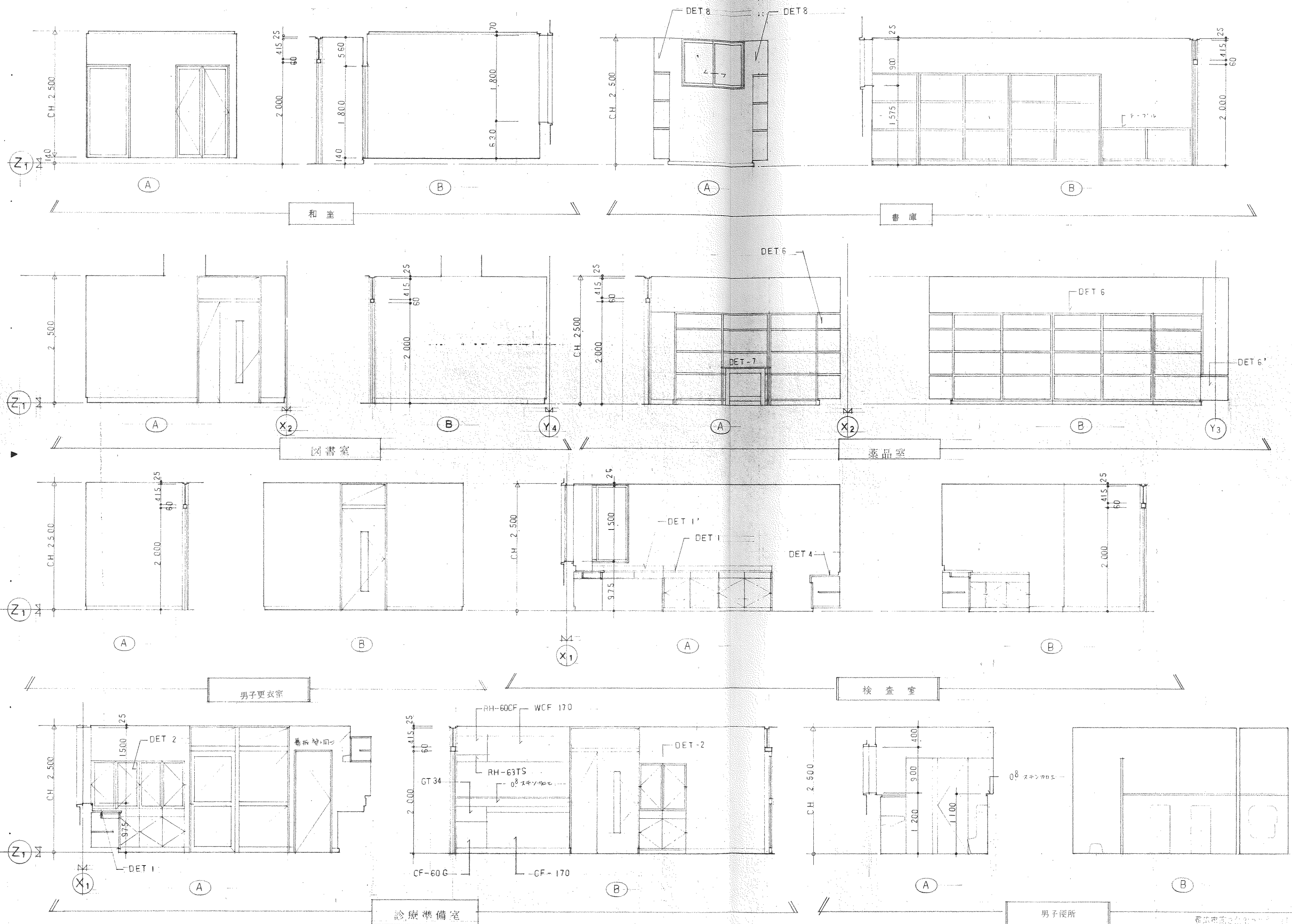
東京都建設局 建築部 建築設計課
 東京都建設局 建築部 建築設計課
 東京都建設局 建築部 建築設計課

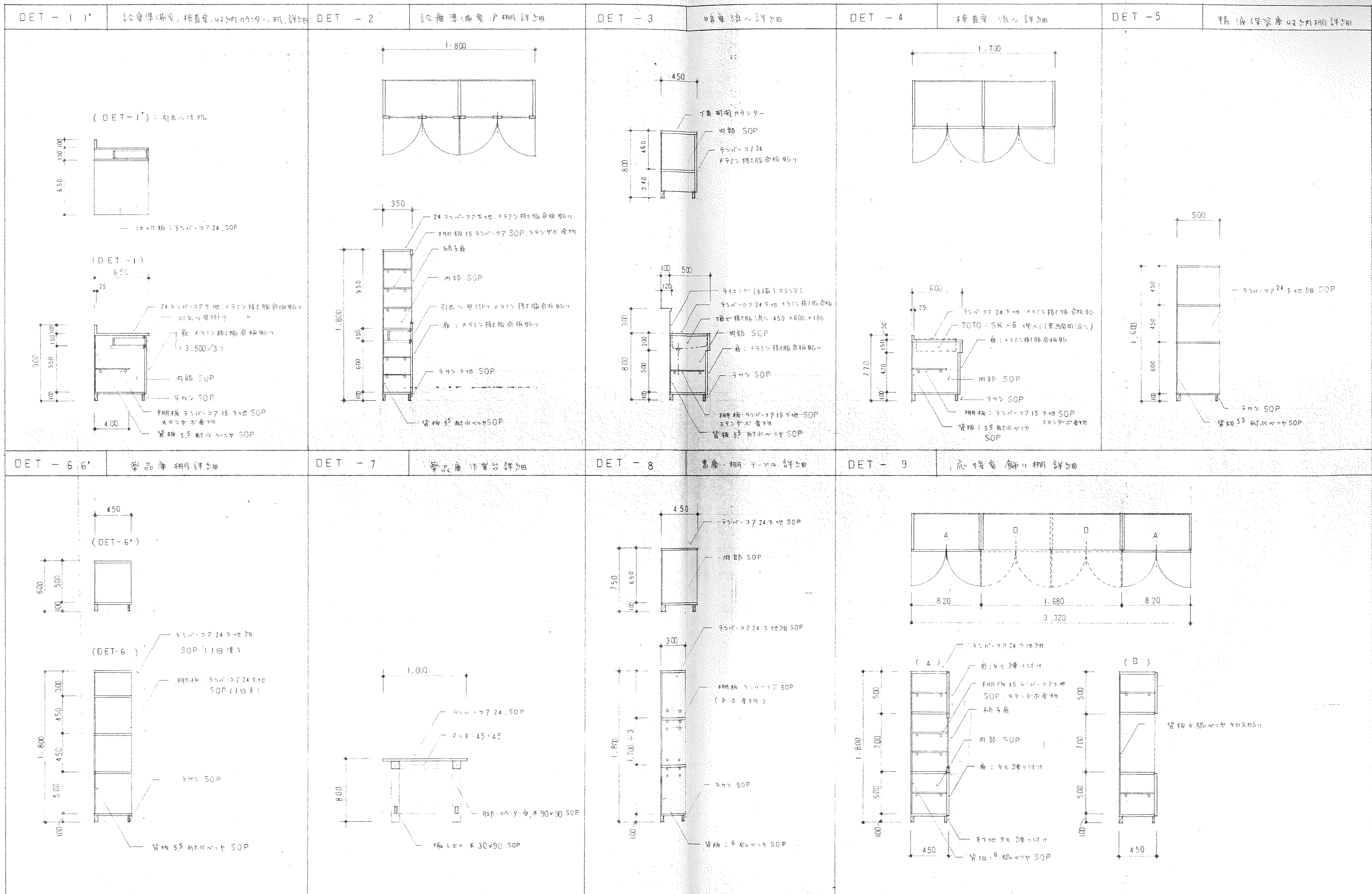




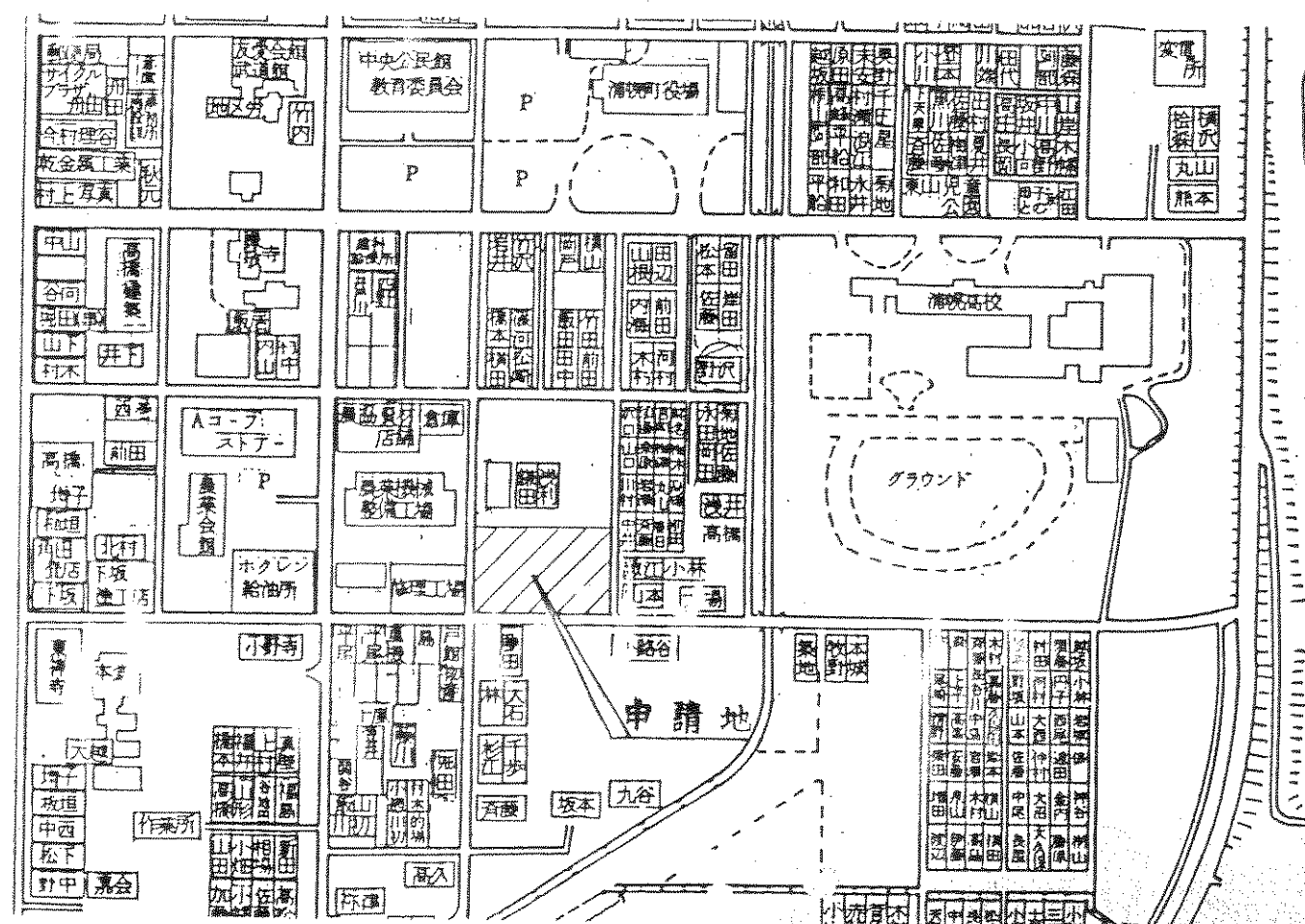








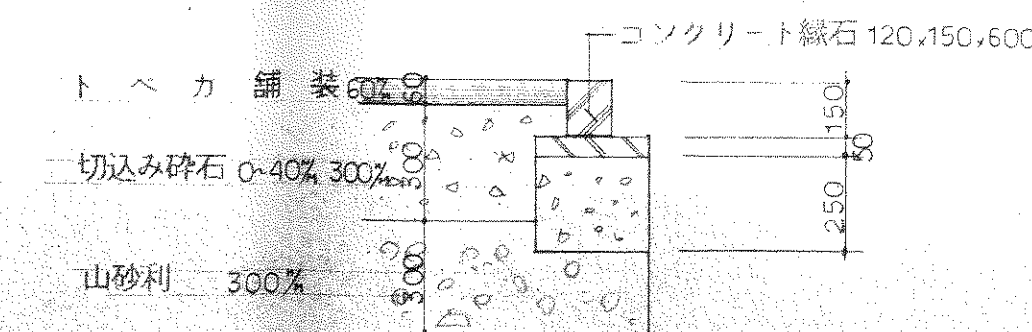
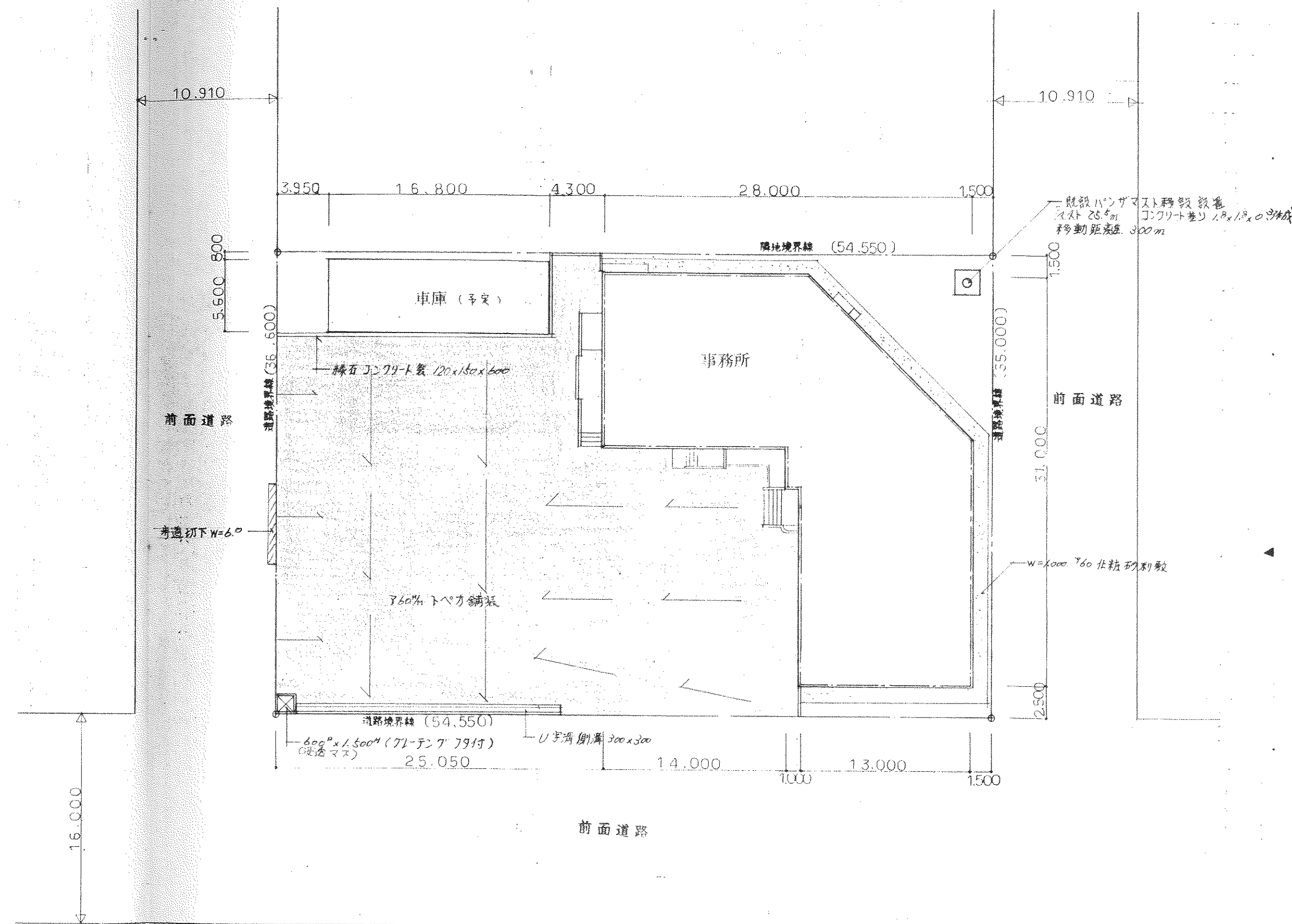
設計概要			
工事名	浦幌町農業共済組合庁舎新築工事		
所在地	十勝郡浦幌町新町15番地, 8		
主要用途	事務所		
建築構造	鉄骨造		
工事種別	新築		
用途地域	農工業地域		
防火地域	指定なし 法22条地域		
最高の高さ	5.65	M	
敷地面積	1,996.53	M ²	
建築面積	541.72	M ²	
延べ面積	524.48	M ²	
建ぺい率	27.13	%	< 70 %
容積率	26.26	%	< 200 %



附近見取図

建設地内解体工事 (布基礎 土間すべて撤去)

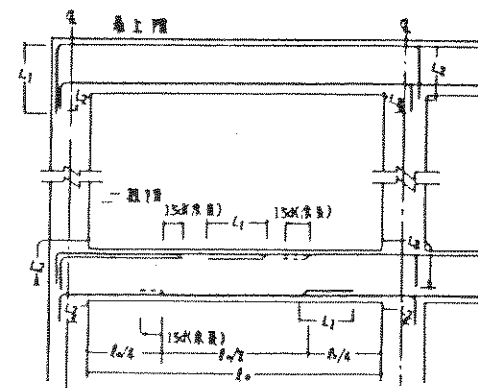
ターラースデিশョン 木造平屋建て 435.0 M²
 便所 木造平屋建て 23 M² (移設)
 物置 木造平屋建て 20 M² (〃)
 水槽底盤 鉄筋コンクリート 200% 39 M² (GL-2.3m)



配置図

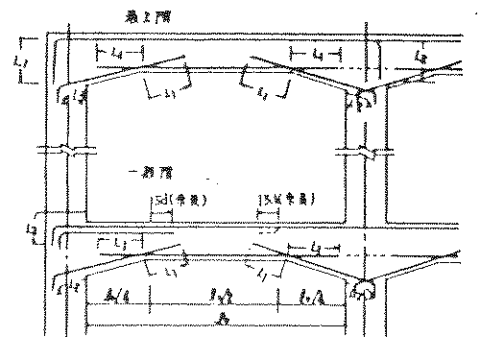
帯広市西3条市3丁目 (あちやビル)
 株式会社 岡田設計事務所
 代表取締役 岡田 孝生 76719号 池田 義孝

(2) (異形鉄筋の場合)
ハンチのない場合



(注) 1. (1)~(7)で示した鉄筋には、フックを付ける。
2. 印は、鉄筋位置を示す。
印は、筋長

ハンチのある場合



(注) 1. ハンチ部は、鉄筋の端部で原則として引渡し。
2. 鉄筋の端部は、鉄筋の端部に引渡す。
3. 鉄筋の端部は、鉄筋の端部に引渡す。
4. 鉄筋の端部は、鉄筋の端部に引渡す。

(3) (丸鉄筋の場合)

ハンチのない場合

鉄筋の長さ、筋長は、すべてLとし、筋長は、15dとする。

ハンチのある場合

鉄筋の長さ、筋長は、すべてLとし、筋長は、15dとする。

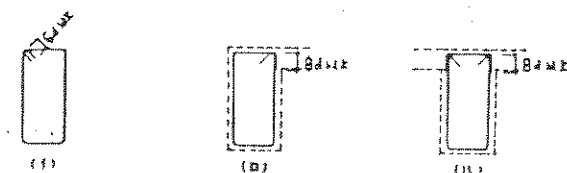
b. あはら筋、筋筋及び補正筋

あはら筋

(1) あはら筋は筋筋に引く

(2) あはら筋は筋筋に引く

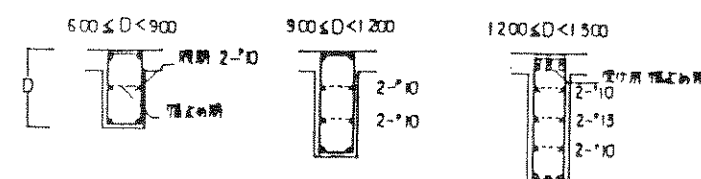
(3) あはら筋は筋筋に引く



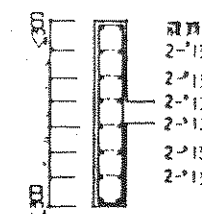
(注) スプリング位置は、(1)の場合には筋筋に引く、(2)の場合には筋筋に引く、(3)の場合には筋筋に引く。

(3) 筋筋及び補正筋

(1) 一般のはり



(4) 変はり

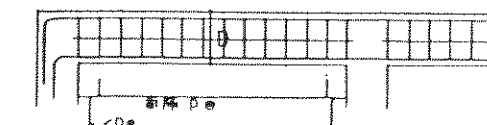


(注) 鉄筋の長さ、筋長は、すべてLとし、筋長は、15dとする。

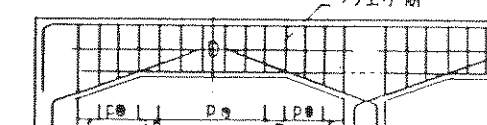
(1) 鉄筋の長さ、筋長は、すべてLとし、筋長は、15dとする。

(4) あはら筋の引付け

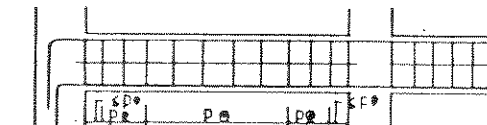
筋筋が一筋で引く場合



筋筋が一筋で引く場合



筋筋が一筋で引く場合



(注) つり上げ筋は、一般のあはら筋より、1/4d以上の鉄筋は、筋筋の長さ、筋長は、すべてLとし、筋長は、15dとする。

8. 応中はり

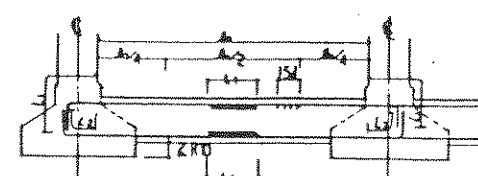
(1) 応中はりの鉄筋の配置

(1) 一般事項

(1) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

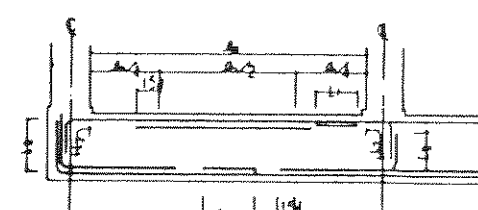
(2) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(2) 異形鉄筋で鉄筋配置の場合



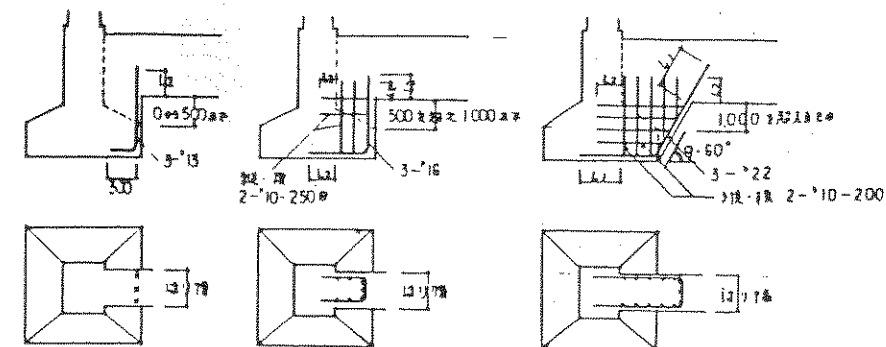
(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(3) 異形鉄筋で鉄筋配置の場合



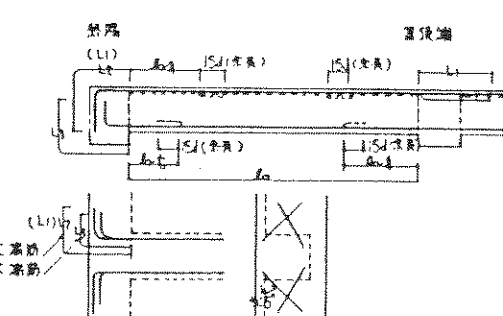
(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(b) 異形鉄筋の配置



9. 小はり、小の片持はり

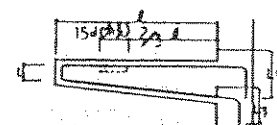
(a) 小はり



(注) 1. 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。
2. 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。
3. 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(b) 片持はり

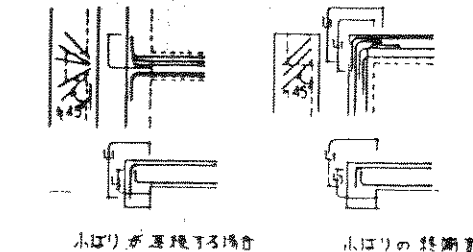
(1) 鉄筋に小はりのない場合



(2) 鉄筋に小はりのない場合

(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

鉄筋に小はりのある場合

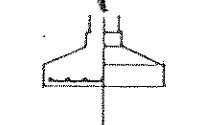


(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

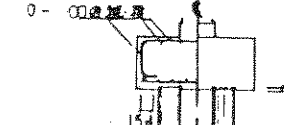
10. 基礎

(a) 基礎の配筋

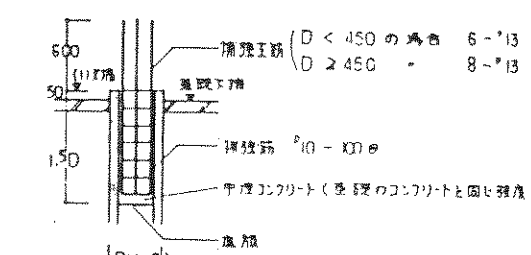
(1) 基礎の配筋



(2) 基礎の配筋



(b) 基礎の配筋



(注) 基礎の配筋は、応中はりの鉄筋の配置による。

11. 壁

(a) 一般事項

壁の鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(b) 壁の鉄筋配置

壁の鉄筋配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

A型

筋筋	筋筋	鉄筋の配置
W10	100	*10-250e シンクル
W12	120	*10-200e シンクル
W15	150	*10-250e シンクル
W18	180	*10-200e シンクル
W20	200	*10-250e シンクル

(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による

筋筋	筋筋	鉄筋の配置	鉄筋の配置
KW1	100	*10-250e シンクル	A1, A2
KW2	120	*10-200e シンクル	A2, A2

(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(c) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による

筋筋	筋筋	鉄筋の配置	鉄筋の配置
W10	100	*10-250e シンクル	A1, A2
W12	120	*10-200e シンクル	A2, A2

(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(d) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による

筋筋	筋筋	鉄筋の配置	鉄筋の配置
W10	100	*10-250e シンクル	A1, A2
W12	120	*10-200e シンクル	A2, A2

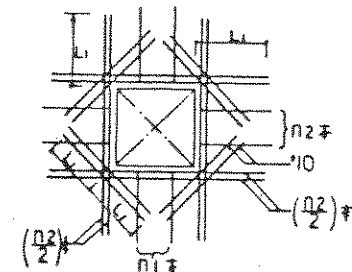
(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(e) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による

筋筋	筋筋	鉄筋の配置	鉄筋の配置
W10	100	*10-250e シンクル	A1, A2
W12	120	*10-200e シンクル	A2, A2

(注) 鉄筋の配置は、応中はりの鉄筋の配置による。

(2) 撥專款補強自來水配筋



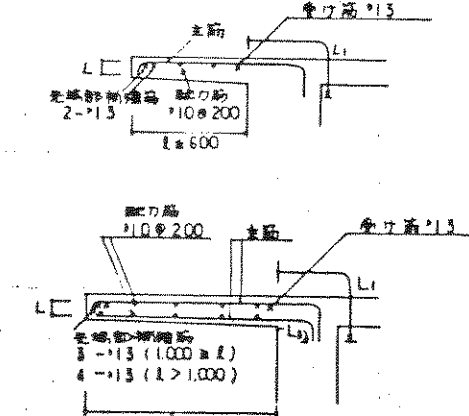
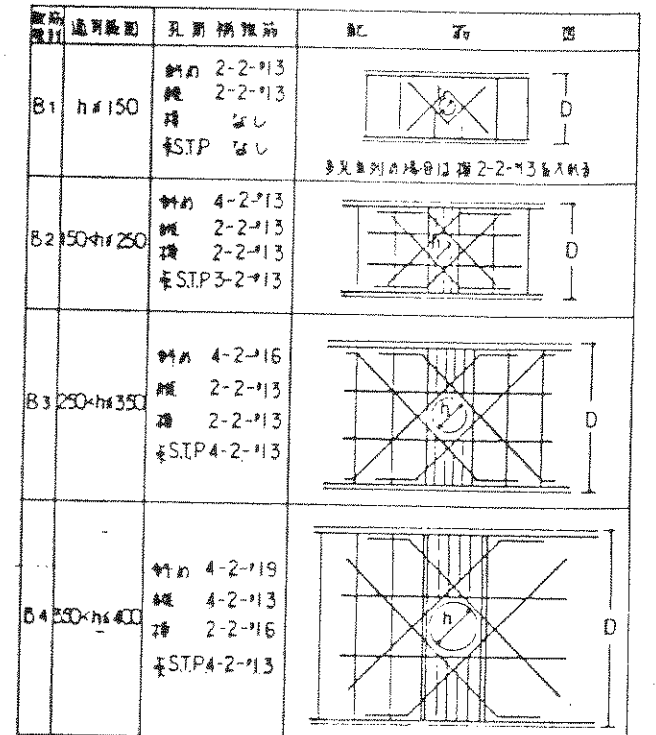
14 梁端通孔力增強

緊要通孔の増強以下既不

- 緊要孔の簡図は下記標準記号により孔の形状寸法及び配列種別を略記する。

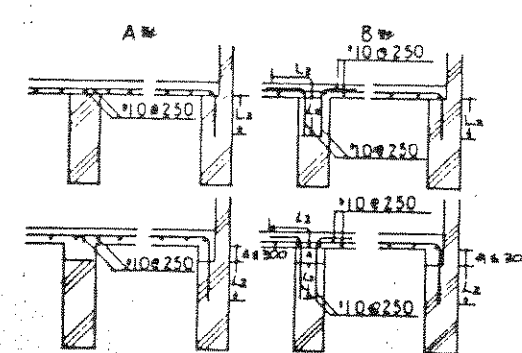
[illegible]

B形標準配筋 (h=0/4, 梁幅=400)

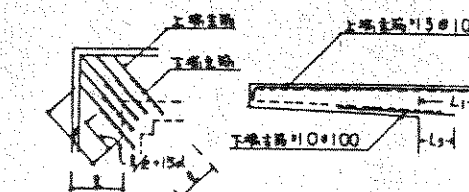


(b) 棚架等項

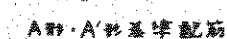
工周コソリットに補強筋を入れる場合は下図により形は特記による。



) 類強學項

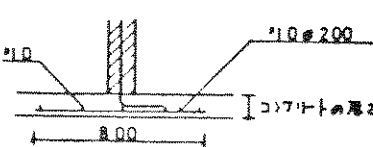


(1) 梨の種

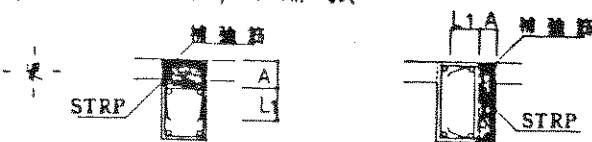


配筋详图	A1	A2
配筋详图	A1'	A2'

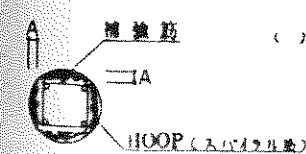
出るみ部（下図のハ一子部）の配刀数は 10×100 とする。



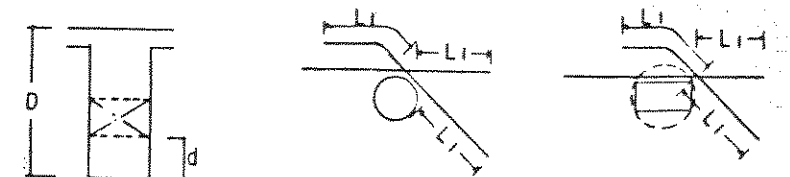
() 为法門義中略言



- $A \leq 50$ ~ 全 1
- $50 < A \leq 100$ ~ 補強筋 2-13, STRP 10 @ 200
- $A > 100$ ~ 補強筋 2-同等主筋, STRP 10 @ 200



$\cdot A \leq 50$ $\sim \Delta L$
 $\cdot 50 < A \leq 100$ $\sim$ 補強筋 2(4) - $\phi 13$, HOOP $\phi 10 @ 150$
 $\cdot A > 100$ $\sim$ 補強筋 2(4) - $\phi 16$, HOOP $\phi 10 @ 150$



$500 \leq D < 700$	$d \geq 175$
$700 \leq D < 900$	$d \geq 200$
$900 \leq D$	$d \geq 250$

株式会社三井物産（あらやビル）
 株式会社三井物産（あらやビル）
 株式会社三井物産（あらやビル）

鉄骨一般事項

1 使用材料

- 鋼材 SS41, SSC41 (規格品)
- ボルト HTB F10T ($\mu=0.45$, ナット付), 中ボルト (規格品)
- デッキプレート (規格品)

2 鉄骨工事

a 錆止め塗装

- 塗装の種類 — A種 JISK 5622 1種 (工場内, 現場アクリル系)
- 系統の色 — B種

b 超音波探傷試験

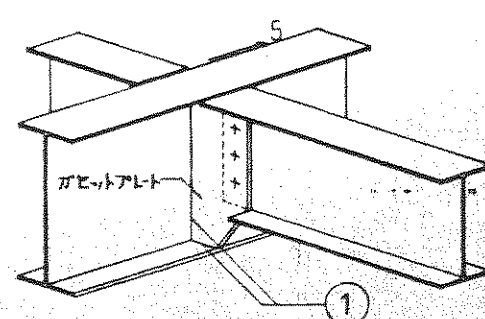
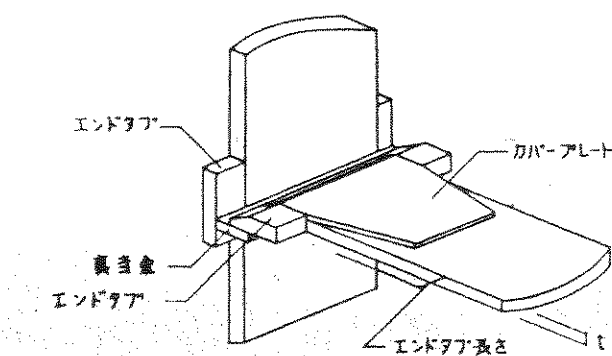
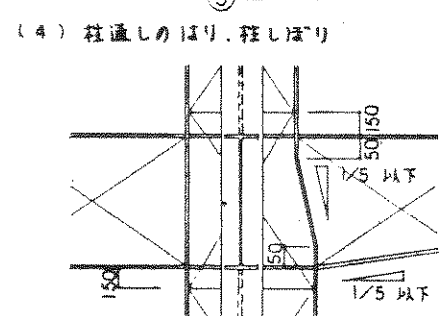
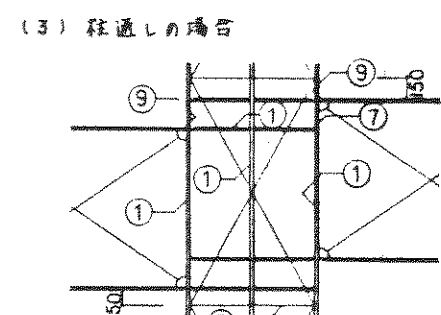
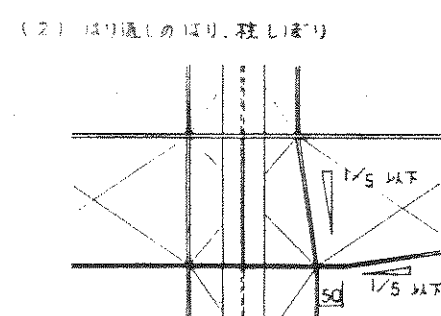
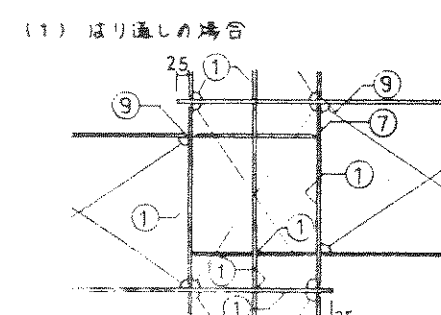
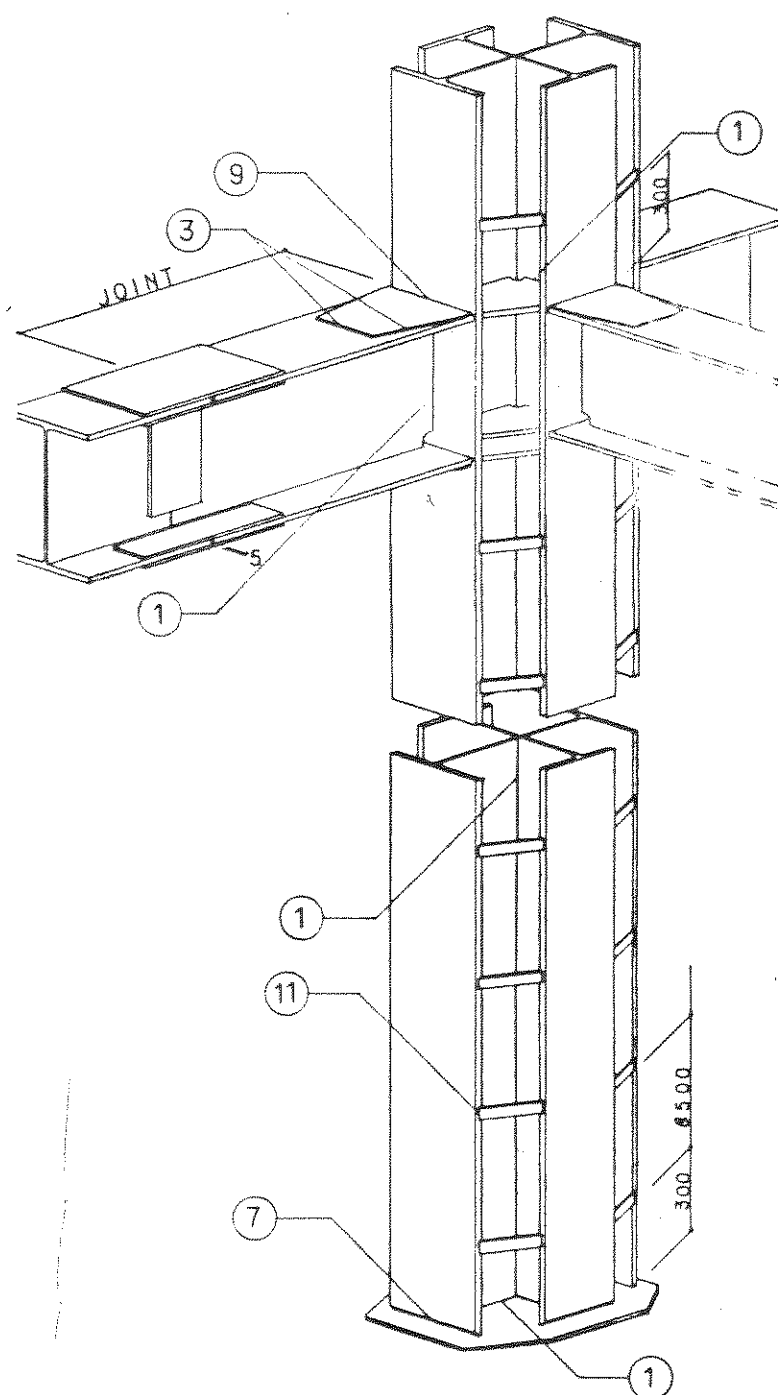
(受入検査として第三者機関により試験を行う)

- 柱・スリットの交差部分
- 柱とベースプレート部分

c 指定製作工場 — フレード・M・ランフ・I・Eの工場採用とする

d ボルト記号 — + M16, - M20, * M22

3 鉄骨要項標準図



4 溶接標準図

1 隅肉溶接 $t_1 \leq t_2$ $6 \leq t_1 \leq 16$ <table border="1"> <tr><td>t</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td><td>16</td></tr> <tr><td>S</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td><td>13</td></tr> <tr><td>f</td><td>1.6</td><td>1.8</td><td>2.0</td><td>2.3</td></tr> </table>	t	6	9	12	16	S	6	8	10	13	f	1.6	1.8	2.0	2.3	2 部分溶け込み溶接 $\theta=60^\circ$ $t_1 \leq t_2$ $R \geq 2$ $t > 16$ $1/4 \leq S \leq 10$	3 隅肉溶接 $t_1 \leq t_2$ $6 \leq t$ $S \leq 0.8t_1$ $f: (0.1S+1)$ 以下																								
t	6	9	12	16																																					
S	6	8	10	13																																					
f	1.6	1.8	2.0	2.3																																					
4 突合せ溶接 $t \leq 6$ $G=0$ $1 \leq f \leq 2$	5 突合せ溶接 $\theta=60^\circ$ $R \geq 2$ G (裏はフル溶接溶接) $6 < t < 19$ $G=0$ $1/4 \leq f \leq 4$	6 突合せ溶接 $1 \leq f \leq 4$ <table border="1"> <tr><td>T</td><td>θ</td><td>G</td><td>t</td></tr> <tr><td>$6 < t \leq 16$</td><td>45°</td><td>6</td><td>9</td></tr> <tr><td>$t > 16$</td><td>35°</td><td>9</td><td>9</td></tr> </table>	T	θ	G	t	$6 < t \leq 16$	45°	6	9	$t > 16$	35°	9	9																											
T	θ	G	t																																						
$6 < t \leq 16$	45°	6	9																																						
$t > 16$	35°	9	9																																						
7 突合せ溶接 $\theta=45^\circ$ $R \geq 2$ $G=0$ (裏はフル溶接溶接) $6 \leq t < 19$ $G=0$ $1/4 \leq f \leq 10$	8 突合せ溶接 $\theta=45^\circ$ $R \geq 2$ $6=60^\circ$ $t \geq 19$ $G=0$ $1/4 \leq f \leq 10$	9 突合せ溶接 $1/4 \leq f \leq 10$ <table border="1"> <tr><td>T</td><td>θ</td><td>G</td><td>t</td></tr> <tr><td>$6 \leq t \leq 16$</td><td>45°</td><td>6</td><td>9</td></tr> <tr><td>$t > 16$</td><td>35°</td><td>9</td><td>9</td></tr> </table>	T	θ	G	t	$6 \leq t \leq 16$	45°	6	9	$t > 16$	35°	9	9																											
T	θ	G	t																																						
$6 \leq t \leq 16$	45°	6	9																																						
$t > 16$	35°	9	9																																						
10 フレー溶接 $\theta=30^\circ-40^\circ$ <table border="1"> <tr><td>ϕ</td><td>θ</td><td>S</td><td>ϕ</td><td>θ</td><td>S</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td><td>4</td><td>19</td><td>10</td><td>6</td></tr> <tr><td>13</td><td>8</td><td>4.5</td><td>22</td><td>11</td><td>7</td></tr> <tr><td>16</td><td>9</td><td>5</td><td>25</td><td>12</td><td>8</td></tr> </table> フレー溶接は鋼材に接する長さ400 9-16mmは11mm以上, 19mm以上は2mm以上	ϕ	θ	S	ϕ	θ	S	9	7	4	19	10	6	13	8	4.5	22	11	7	16	9	5	25	12	8	11 隅肉溶接 (バンドプレート部) 自然開元 バンドプレート 6×65 $G=0$	T形突合せ溶接・注記 <table border="1"> <tr><th>ト形突合せ溶接</th><th>のど厚 t (mm)</th><th>裏面の長さ (mm)</th></tr> <tr><td>1</td><td>$t \leq 4$</td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>$4 < t \leq 12$</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>$12 < t \leq 19$</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>$t > 19$</td><td>4</td></tr> </table> (注) f: 裏面 G: ルート開 R: フェース S: 厚さ (単位mm) (注) 部分溶け込み・突合せ溶接の場合は裏面も溶接を行う	ト形突合せ溶接	のど厚 t (mm)	裏面の長さ (mm)	1	$t \leq 4$	1	2	$4 < t \leq 12$	2	3	$12 < t \leq 19$	3	4	$t > 19$	4
ϕ	θ	S	ϕ	θ	S																																				
9	7	4	19	10	6																																				
13	8	4.5	22	11	7																																				
16	9	5	25	12	8																																				
ト形突合せ溶接	のど厚 t (mm)	裏面の長さ (mm)																																							
1	$t \leq 4$	1																																							
2	$4 < t \leq 12$	2																																							
3	$12 < t \leq 19$	3																																							
4	$t > 19$	4																																							

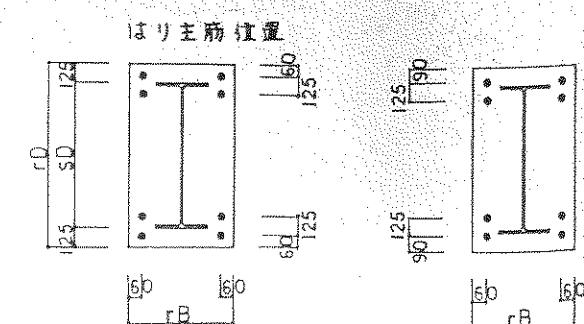
特記事項

裏あて金 $t \leq 16, S=5$ $t > 16, S=8$ 厚さ: tは全FB-9mm 材質: SS41 規格品	エンドタブ (a) (b) 厚さ: 35mm以上かつ鋼材厚の2倍以上 (自動溶接の場合 50mm以上) 材質: 母材同質	スカラー (a) (b) $r=35$	板厚が異なる場合 $t_1-t_2=a$ t_1 $G=0$ $a \leq 4$ の場合 $a > 4$ の場合
はり・柱カバープレート ガス抜き長さ30mm	スチフナー基準 アンカーボルト M16 800 M19 950 M22 1100 M25 1250 ダブルTボルト (厚さ付) アンカーボルト ボルト: フレット32使用	アンカーボルト取付方法 ダブルTボルト (厚さ付) アンカーボルト ボルト: フレット32使用	大はりと小はりの接合部 L-50×50×6, GR-6 L-M16 (18mm外端の場合) L-M16 (18mm外端の場合) L-M20 (22mm外端の場合) L-M20 (22mm外端の場合) 上記はhが300以上ある場合の仕様とす

5 鉄骨鉄筋コンクリートはり部標準図

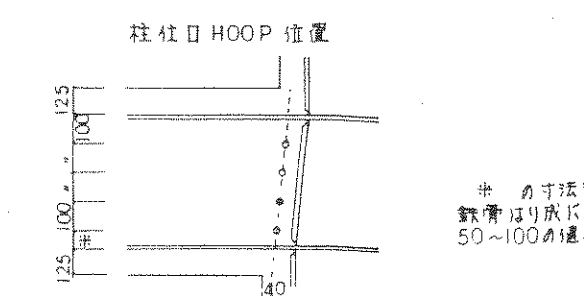
鉄筋要項標準図

鉄筋径	孔径	鉄筋径	孔径
D10	16	D22	32
D13	20	D25	36
D16	24	D29	40
D19	28	D32	44

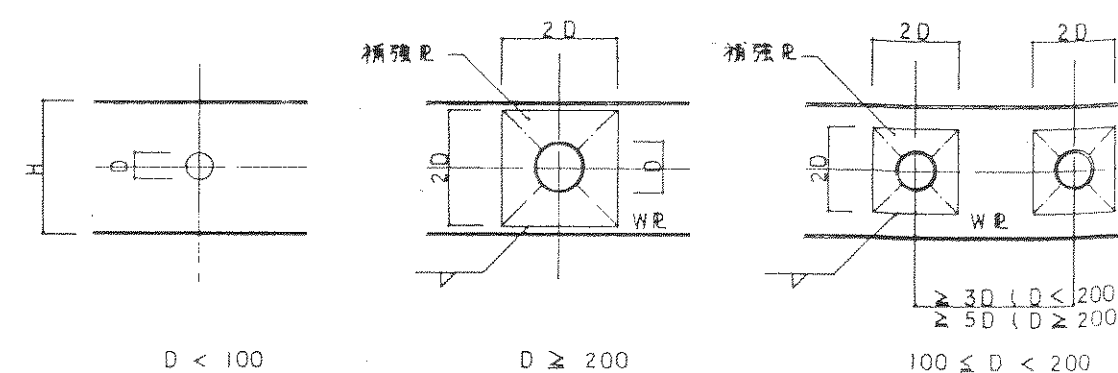


ボルト・ビッチ及びゲージの標準

ボルト	ビッチ	ハンダキ	ヘリキキ
M12	50	30	25
M16	60	40	25
M20	70	50	30
M22	80	60	35
M24	90	70	40



6 はり貫通孔補強



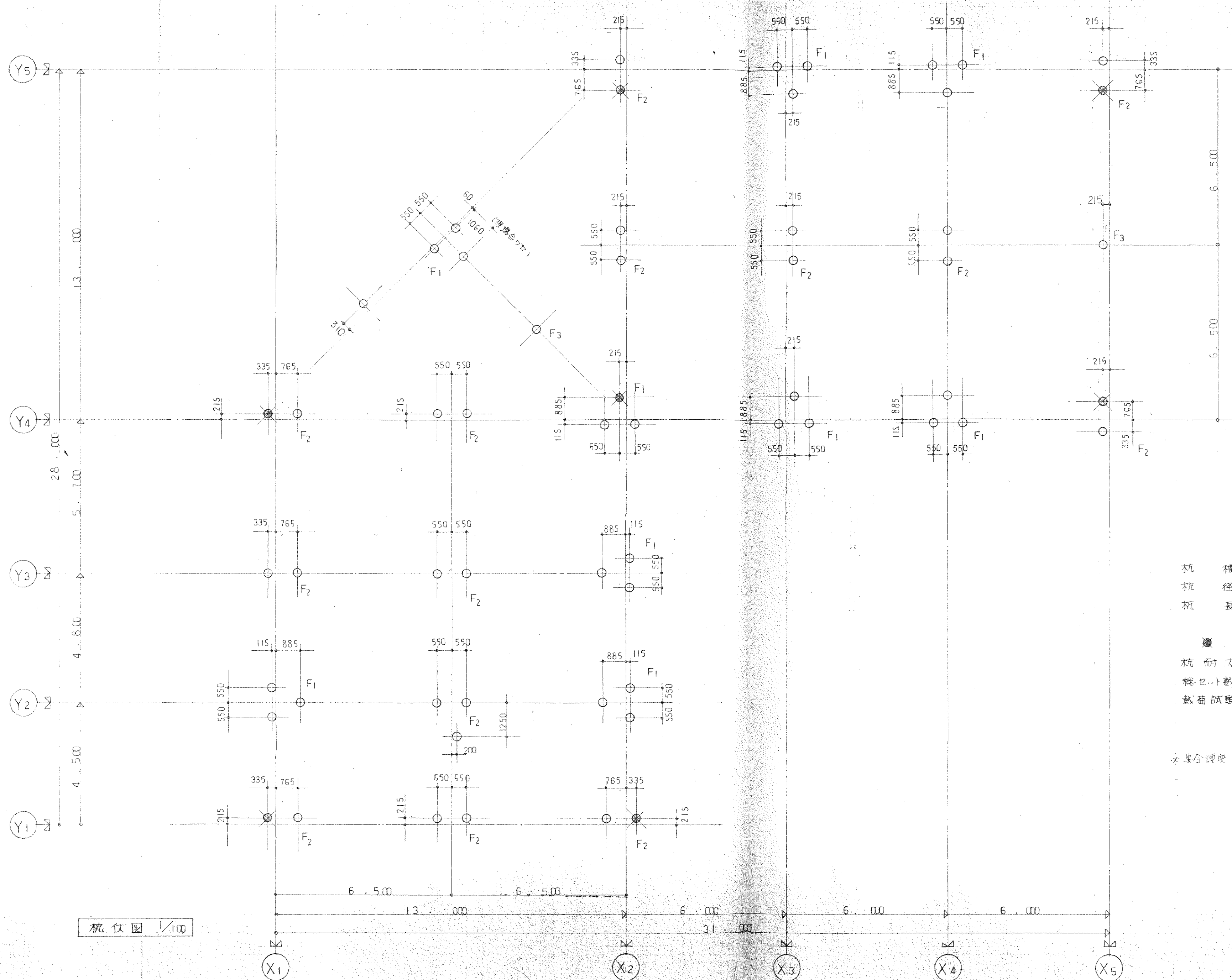
時径	鋼管	W径	補強径
50		R-6	2R-6
80		R-9	2R-6
100	114.3, 4.5	R-12	2R-9
150	165.2, 4.5	R-16	2R-9
200	216.3, 4.5	R-19	2R-12
250	267.4, 6.0		

(注) はり貫通孔が何箇所も連続する場合は補強トラス法等による
上記の補強を行う場合は監督者の指示による

7 共通事項

- 通用範囲は鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが3mm以上、40mm以下のものとす。但しその範囲を越える場合は設計者の指示に依る。
- 溶接標準図は「鉄骨工事技術指針・解説」日本建築学会に依り、工場溶接を行なう場合に適用する。
- 手溶接及びCO2半自動溶接に於いて、裏あて金を使用しない場合は一面から溶接した後に裏はつりとして表面から溶接を行なうことを原則とする。
- 仮付溶接は溶接の始・終端、隅角部など強度上、工作工問題となり易い箇所は避ける。又突合せ溶接部は必ず裏はつり後に施工する。
- エンドタブを使用する場合の厚さは、母材と同厚とするが、(b)の様に経済的なことを考える場合の厚さは、12mm~25mm程度のもを使用する。又溶接終了後は母材より5mm残して切断し、グラインダー仕上げとする。
- 水平スチフナーは、はり端部フランジと同厚以上とし、鋼材の品質も同等以上とする。
- はり端部カバープレートは、フランジ中200mm以下は厚さ6mmとし、300mm以上は厚さ9mmとする。
- スリッパ管補強は、鋼管補強としSTK41を使用する。但し貫通孔が連続の場合は設計者の指示による。
- 鉄筋貫通孔は、ドリル明けとする。
- 柱のバンドプレートはFB-6×65を使用し、ビッチは500とする。
- 根巻きコンクリートの4隅主筋にはフックを付けてトップ・フックとし、一般のフックより1/4寸大きい鉄筋又は同径筋を二本重ねて主筋に溶接する。

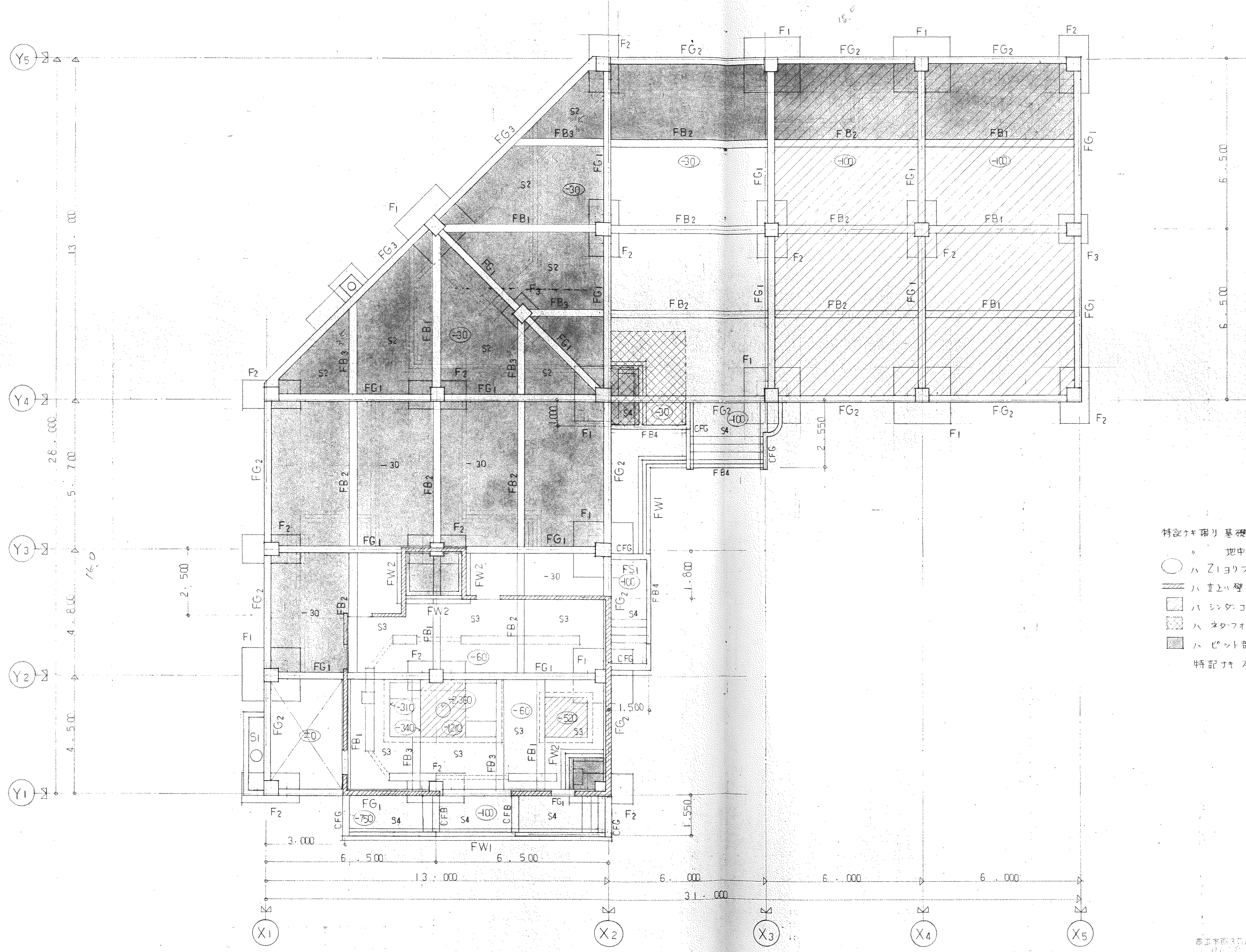
富山県富山市3条3丁目 (池田ビル)
株式会社 池田設計事務所
管理建築士 1級登録 78719号 池田 義孝



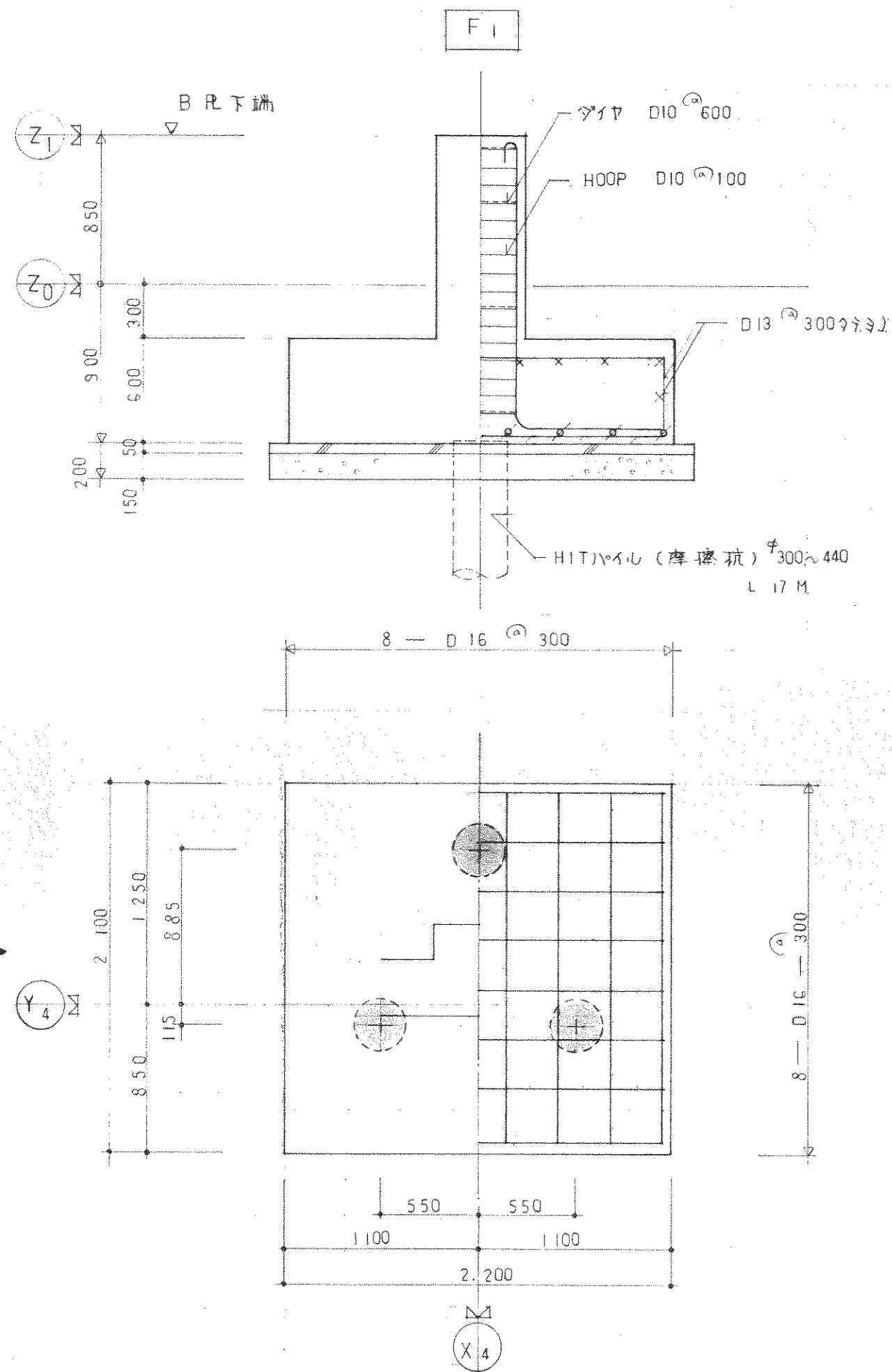
杭 種 : 摩擦杭 (HIT パイル)
 杭 径 : ϕ 300 ~ 440
 杭 長 : 一般杭 : L=17.0 M
 試験杭 : L=18.0 M
 ● : 試験杭
 杭 耐 力 : 24.57 t/本
 総セト数 : 26 セト (F1(3)×9 + F2(2)×14 + F3(1))
 載荷試験 : 載荷試験ヲ 1ヶ所見直

※集合配管、機械基礎各1本打込。

帯広市西3条南3丁目 (ちちやビル)
 株式会社 岡田設計帯広事務所
 電話 011-821-7871 9号 池田 義孝

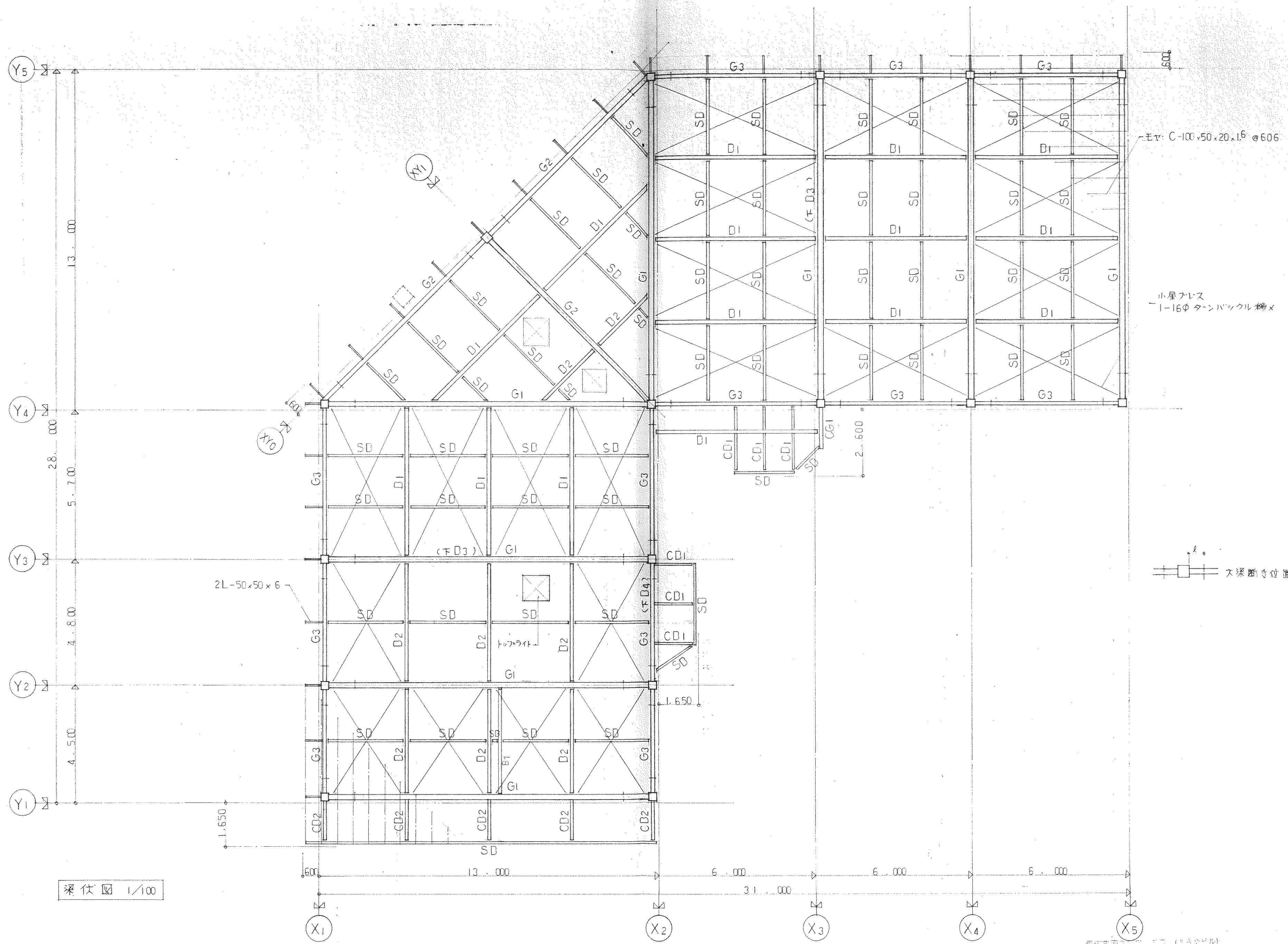


- 特記ナキ限り基礎下端ハ Z0-900 トスル
 〃 地中梁I端ハ Z0-900 トスル
 ○ ハ Z1ヨリスラブ上 端部レベルヲ示ス
 // ハ 土間壁ヲ示ス Z1+300
 □ ハ シンタコンクリート ヲ示ス
 ▨ ハ ネットフォームφ80 ヲ示ス
 ▩ ハ ベント部分ヲ示ス
 特記ナキ スラブハ S1 トスル

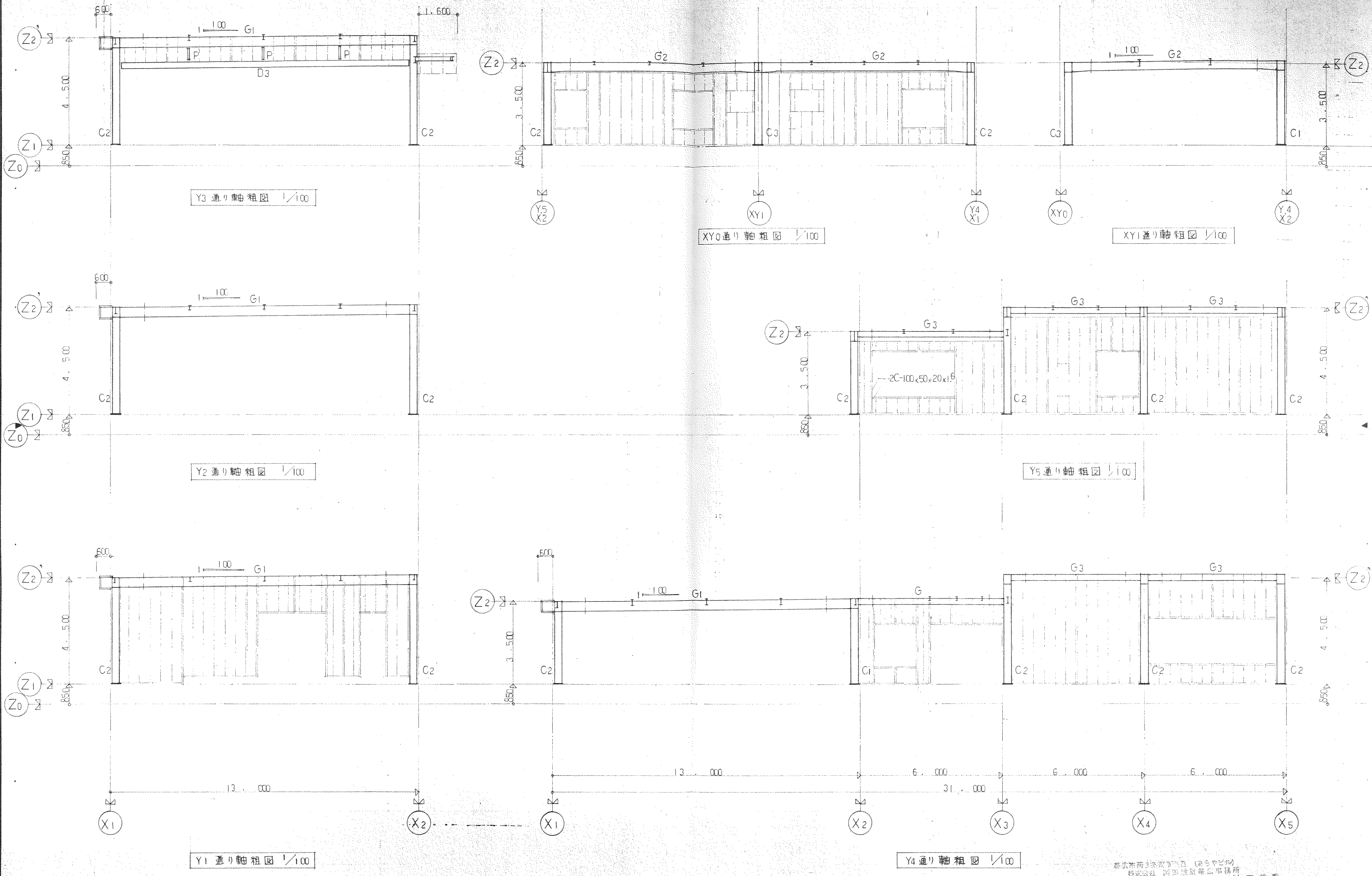


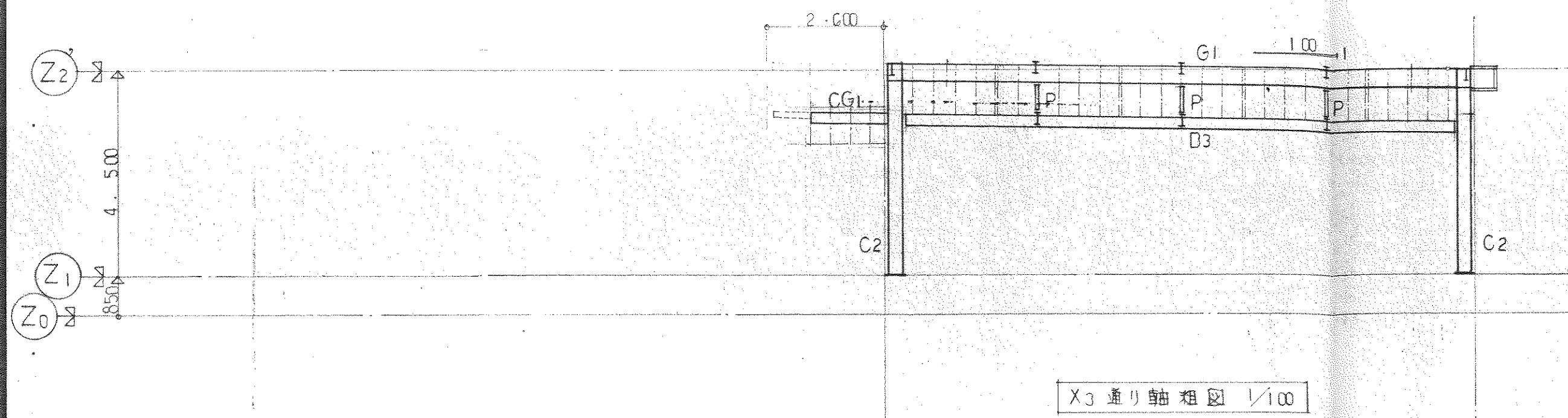
配筋種別		短辺方向			長辺方向		
		中央部		両端	中央部		両端
		端部	中央	全域	端部	中央	全域
S1	上	D10 13 @200	D10 @200	D10 @300	D10 @250	D10 @250	D10 @300
	下	D10 @400		D10 @300	D10 @500		D10 @300
S2		D10 @200 等間隔			D10 @200 等間隔		
S3		D13 @200 等間隔			D13 @200 等間隔		
S4		D10 @250 等間隔			D10 @250 等間隔		

記号		FG1		FG2		FG3	
位置		E	C	全断面共通		E	C
断面							
B x D		350 x 900		300 x 900		300 x 900	
主筋	上	3 - D22	6 - D22	2 - D22		3 - D22	5 - D22
	下	3 - D22	6 - D22	2 - D22		2 - D22	3 - D22
STRP		D10 @200		/		/	
備考		腹筋 4-D10 等間隔		/		/	
記号		FB1		FB2		FB3	
位置		E	C	E	C	全断面共通	
断面							
B x D		300 x 500		300 x 500		300 x 500	
主筋	上	2 - D22	3 - D22	3 - D22	2 - D22	2 - D22	2 - D19
	下	2 - D22	3 - D22	2 - D22	2 - D22	2 - D22	2 - D19
STRP		D10 @200		D10 @200		D10 @200	
備考							
記号		CFB		CFG			
位置		全断面共通		全断面共通			
断面							
B x D		250 x 500		250 x 900			
主筋	上	3 - D19		3 - D22			
	下	3 - D19		3 - D22			
STRP		D10 @250		/			
備考				腹筋 4-D10 等間隔			

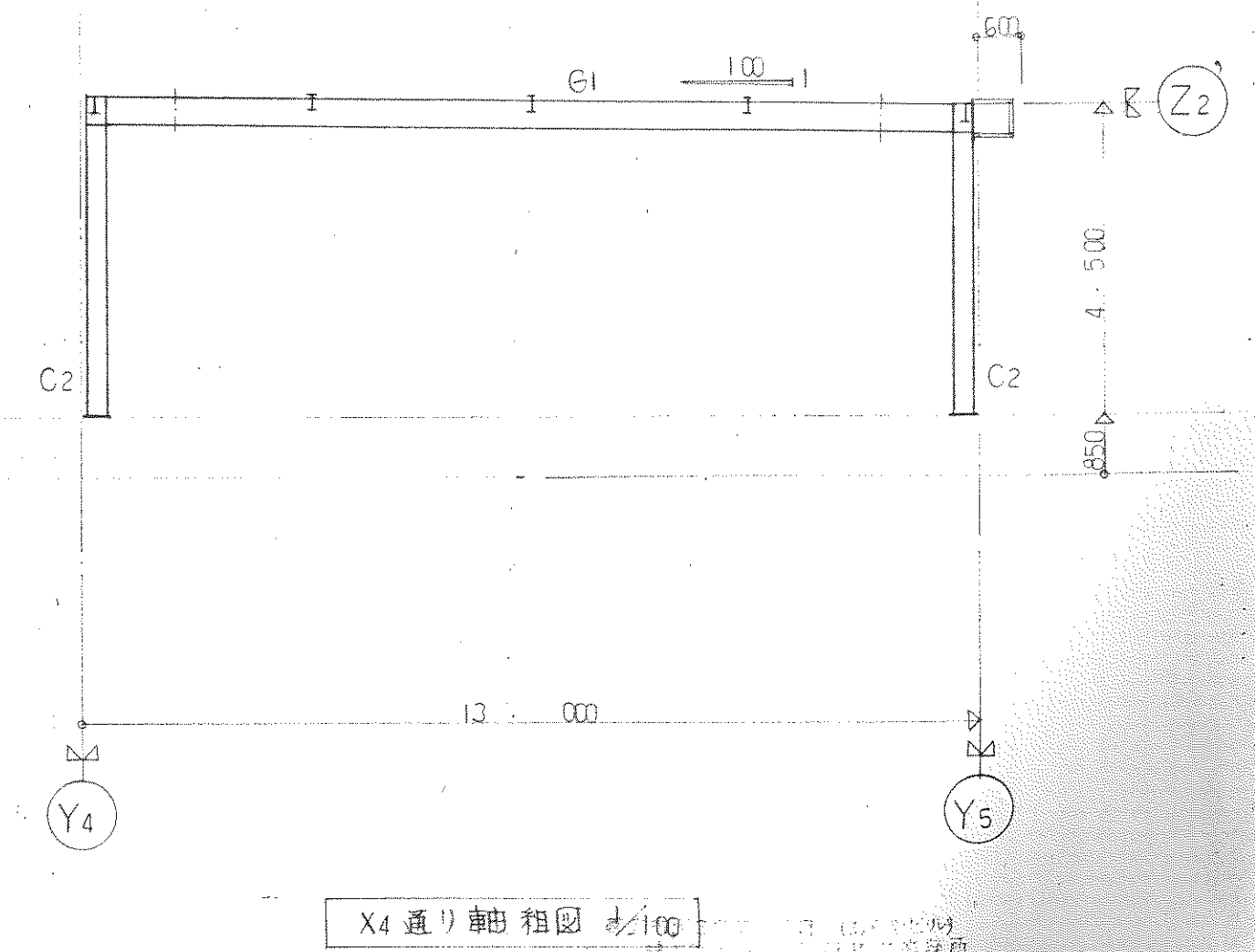
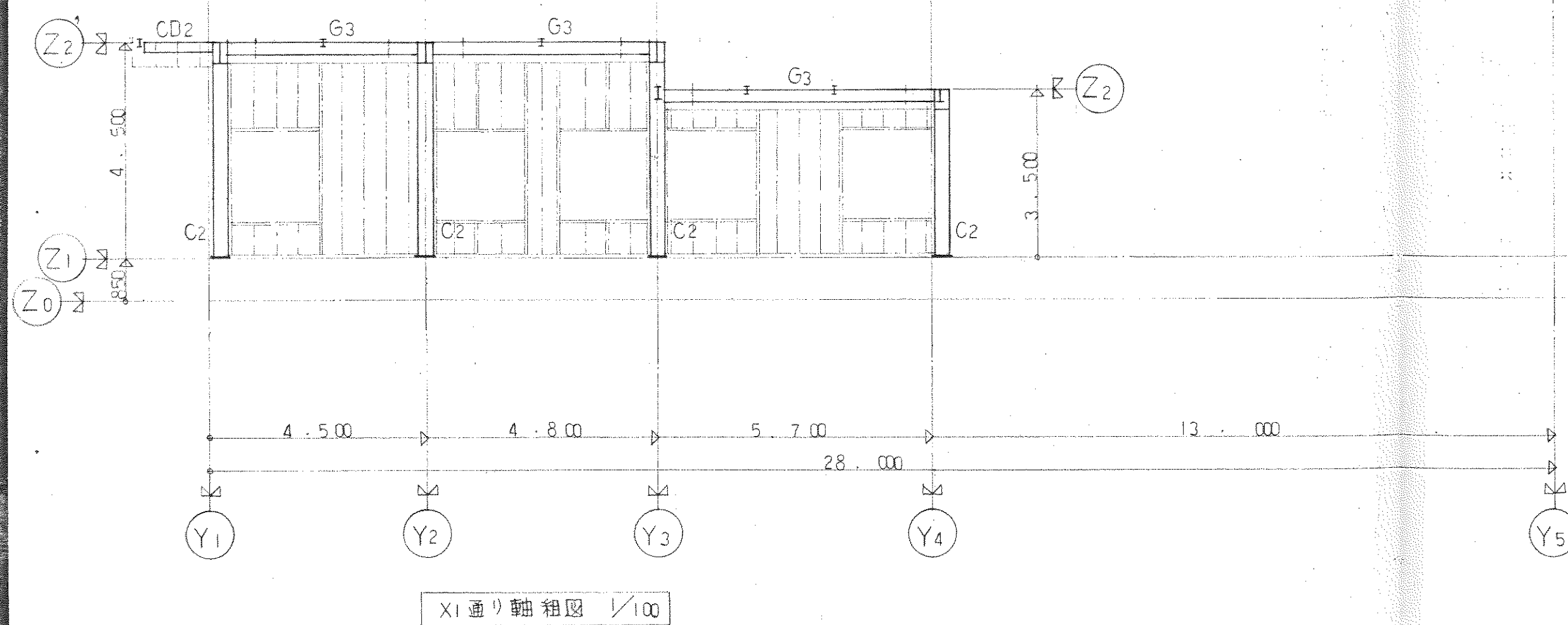
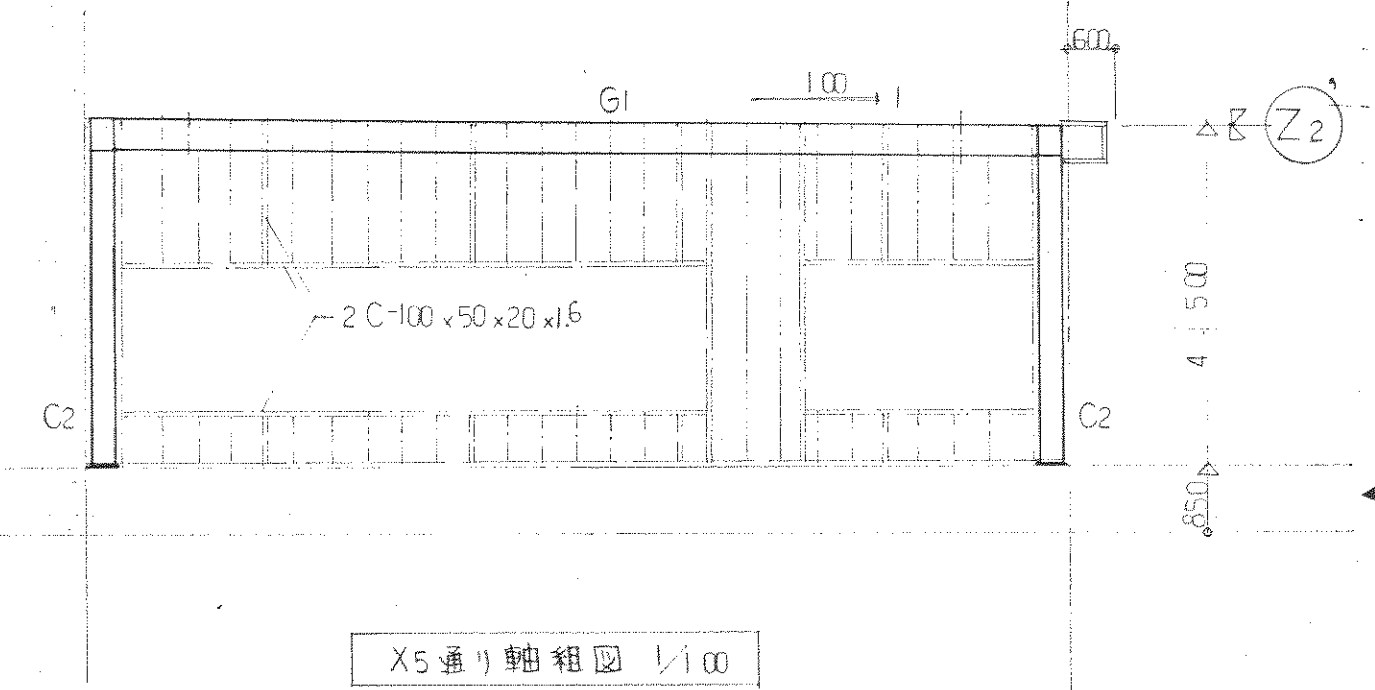
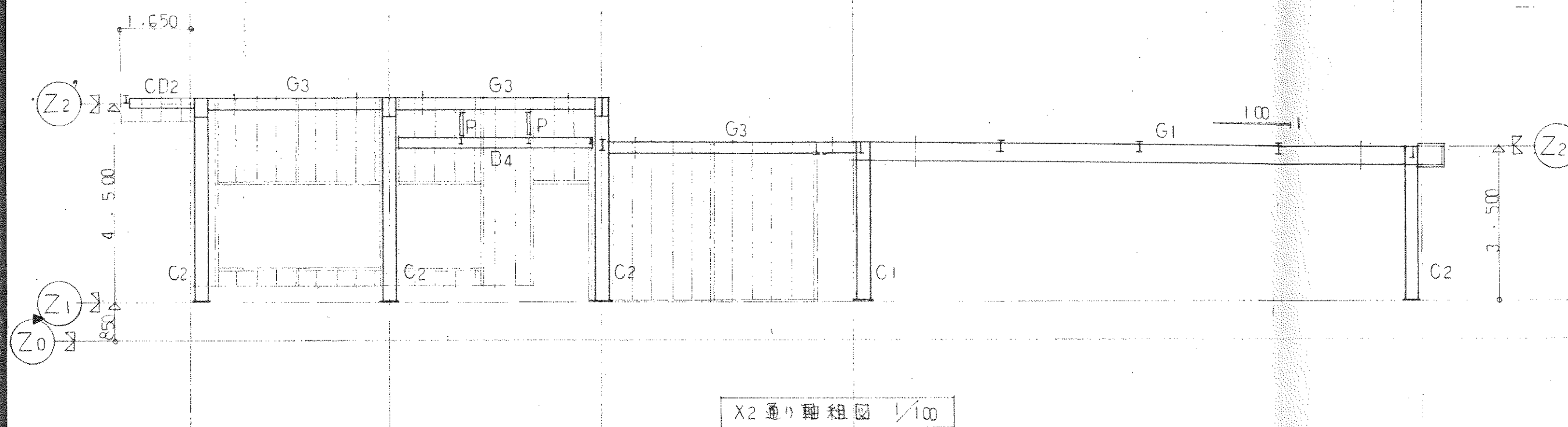


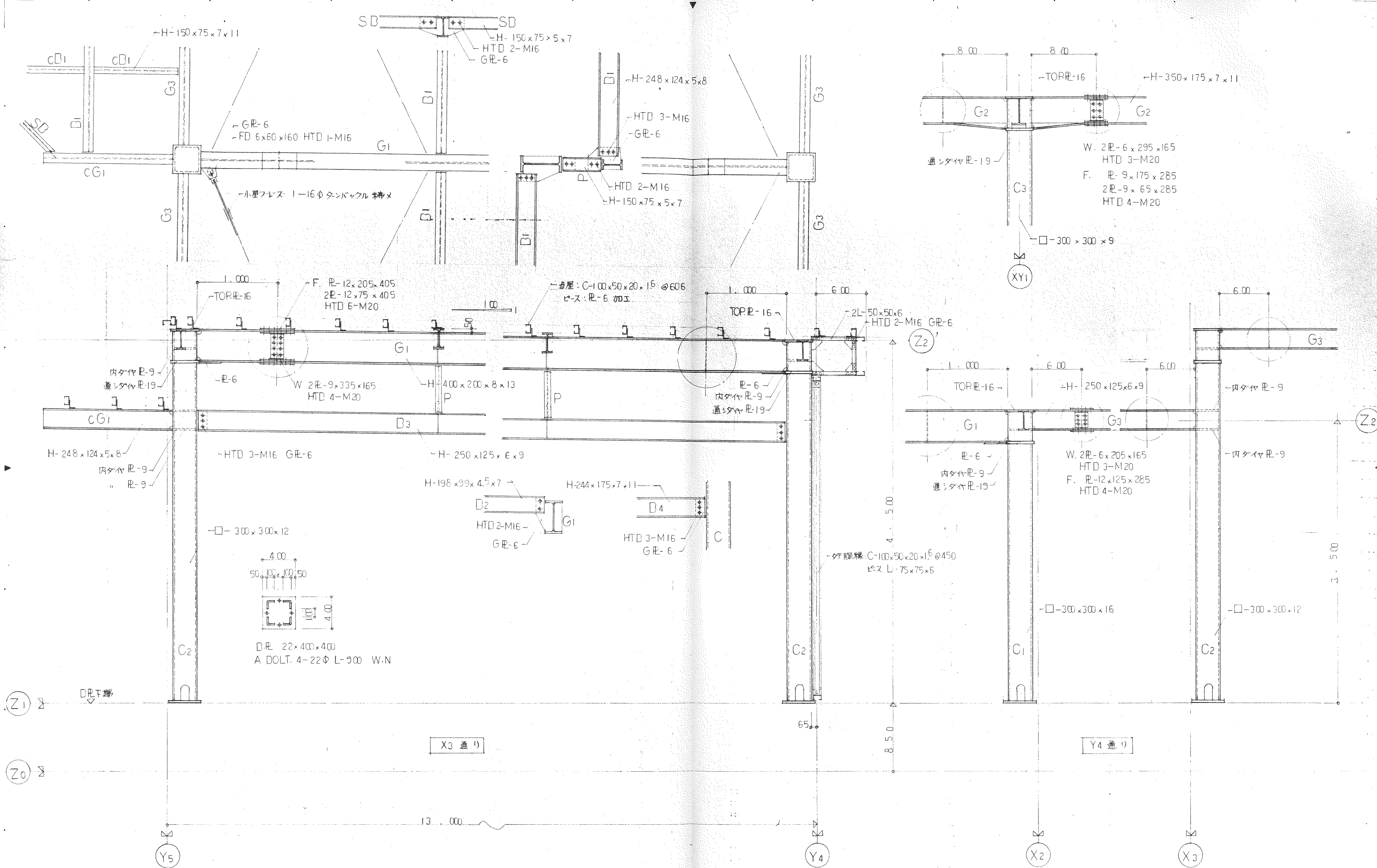
梁伏図 1/100





鉄骨部材リスト			
C1	□ - 300 × 300 × 16	D3	H - 250 × 125 × 6 × 9
C2	□ - 300 × 300 × 12	D4	H - 244 × 175 × 7 × 11
C3	□ - 300 × 300 × 9	CD1	H - 150 × 75 × 5 × 7
		CD2	H - 200 × 100 × 5.5 × 8
G1	H - 400 × 200 × 8 × 13	SD	H - 150 × 75 × 5 × 7
G2	H - 350 × 175 × 7 × 11	P	H - 150 × 75 × 5 × 7
G3	H - 250 × 125 × 6 × 9	母屋	C - 100 × 50 × 20 × 16 @606
CG1	H - 248 × 124 × 5 × 8	脚縁	2C - 100 × 50 × 20 × 16 @2,700
D1	H - 248 × 124 × 5 × 8		C - 100 × 50 × 20 × 16 @450
D2	H - 198 × 99 × 4.5 × 7	小梁ワレス	1-16φ タンバクル 稀×





構造設計 岡田設計
 管理建築士 岡田孝生
 1級登録 66613
 図 1/30

CORD NO.

SHEET NO. 313

TITLE

浦幌町農業共済組合庁舎新築工事 設計図

鉄骨詳細図

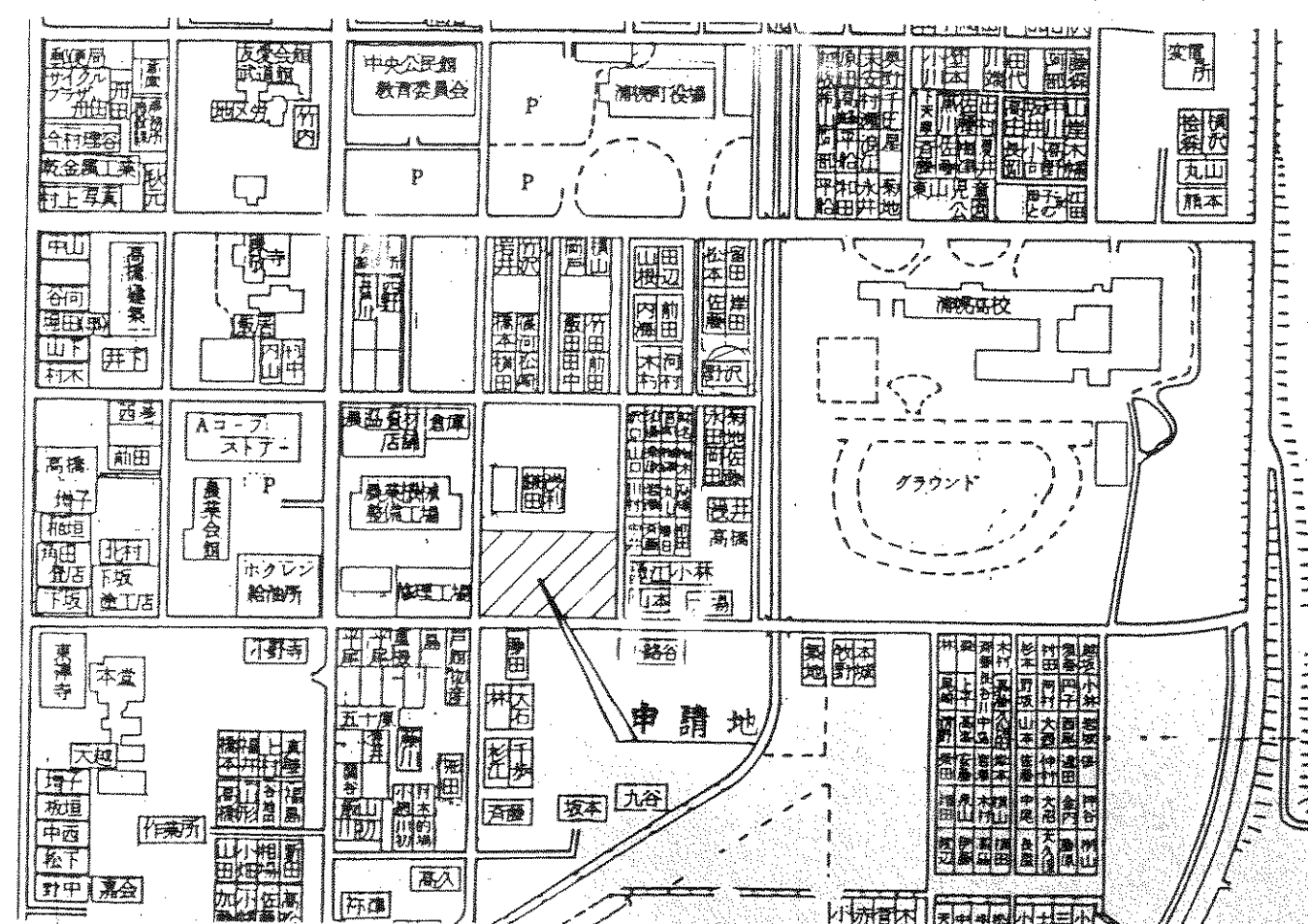
縮尺 1/30

株式会社 岡田設計

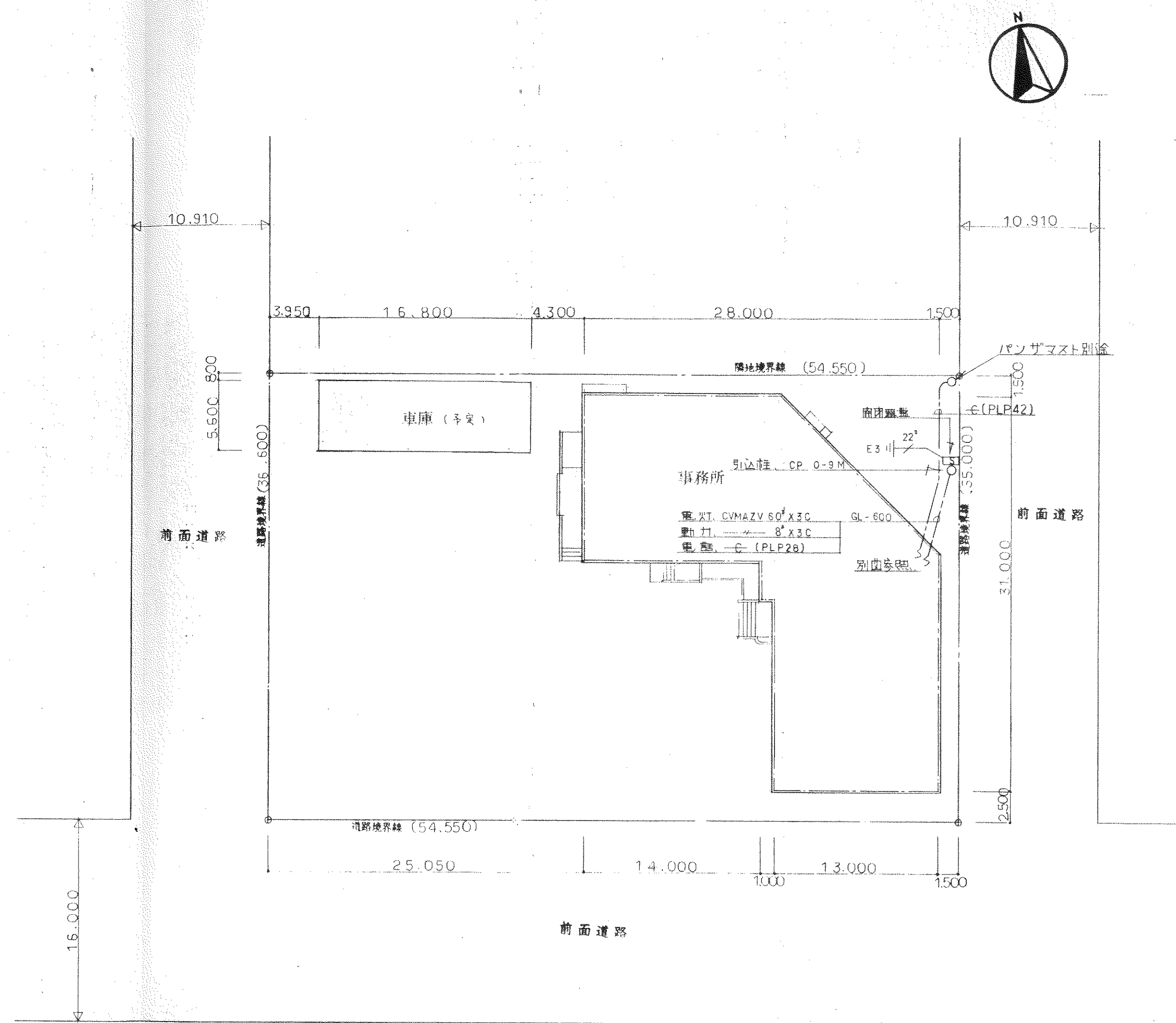
管理建築士 岡田孝生

図 1/30

設計概要			
工事名	浦幌町農業共済組合庁舎新築工事		
所在地	十勝郡浦幌町新町15番地, 8		
主要用途	事務所		
建築構造	鉄骨造		
工事種別	新築		
用途地域	準工業地域		
防火地域	指定なし 法22条地域		
最高の高さ	5.65	M	
敷地面積	1,996.53	M ²	
建築面積	541.72	M ²	
延べ面積	524.48	M ²	
建ぺい率	27.13	%	< 70 %
容積率	26.26	%	< 200 %

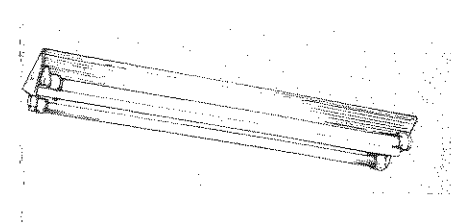
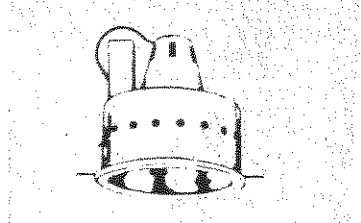
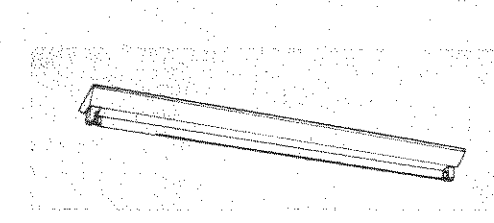
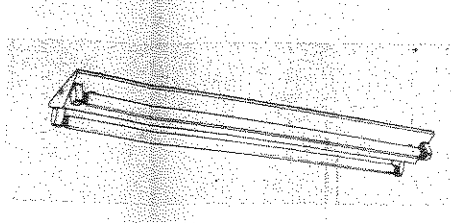
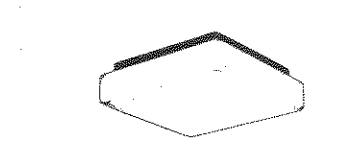
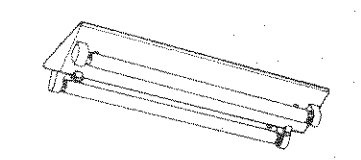
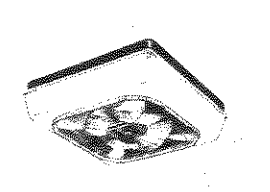
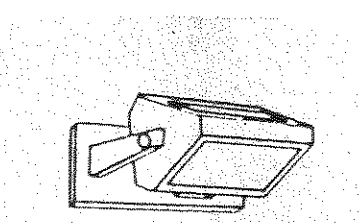
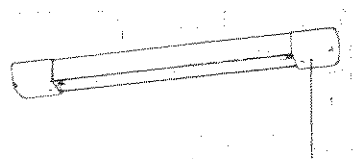
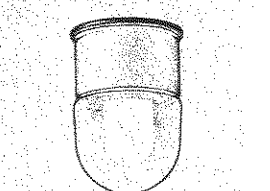
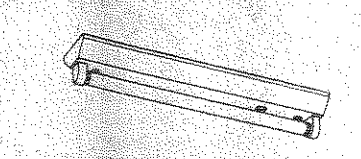
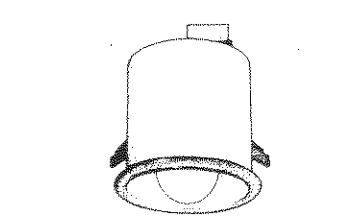
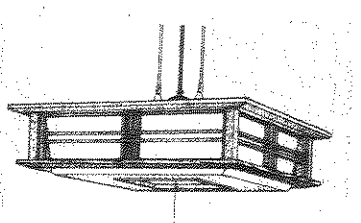
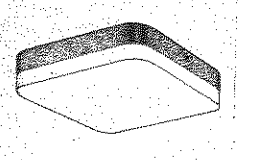


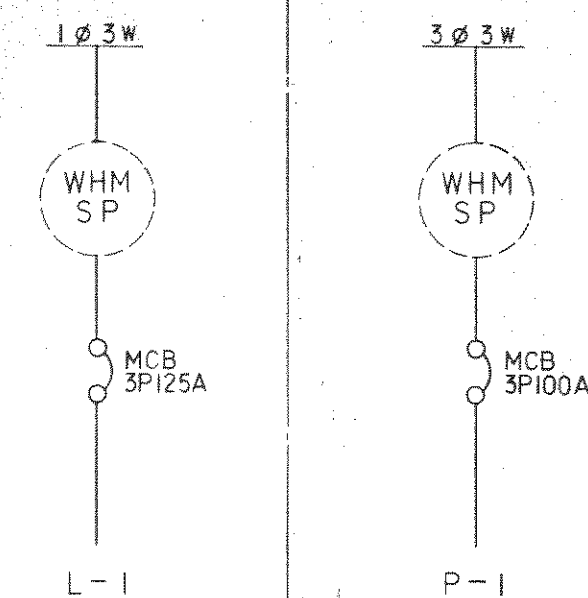
附近見取図



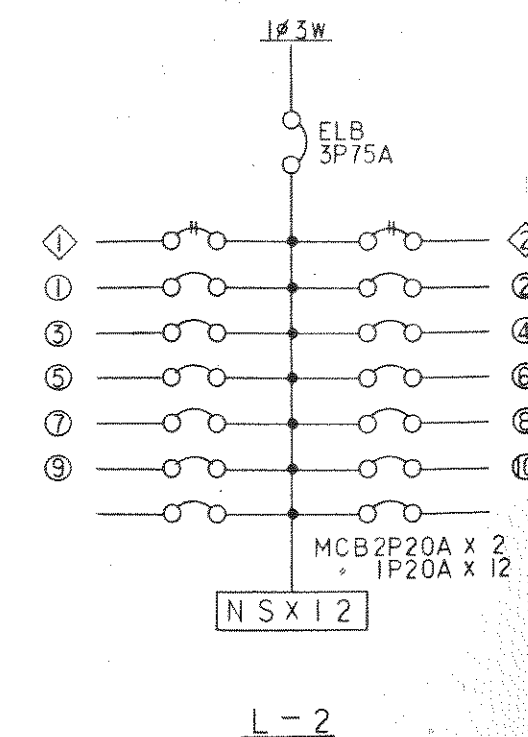
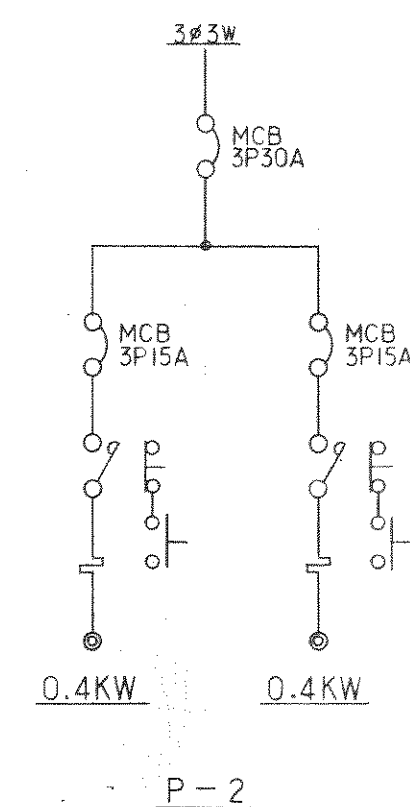
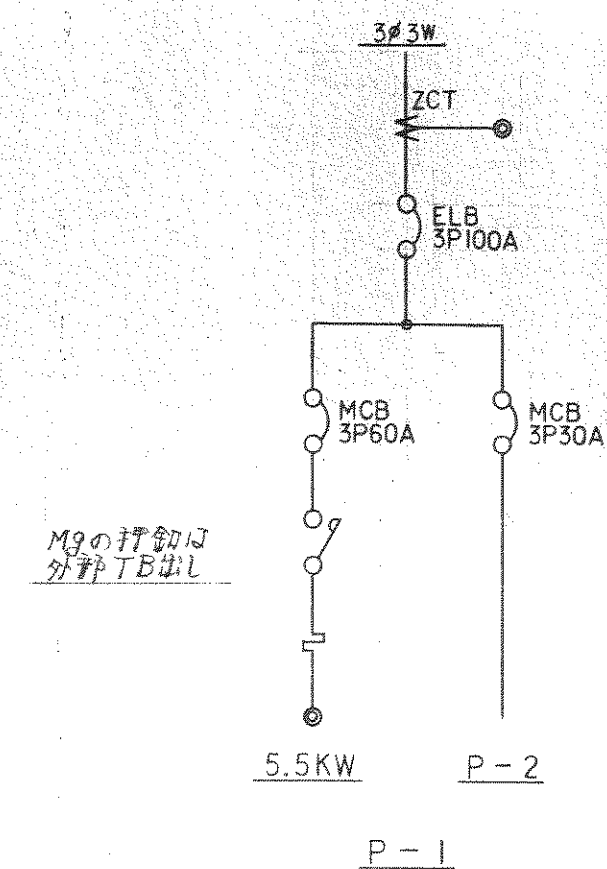
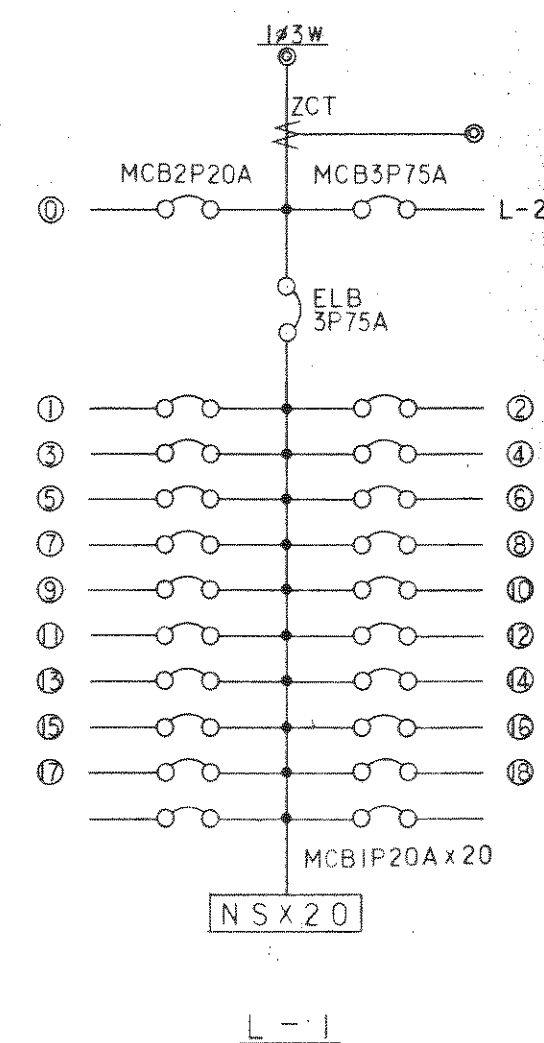
配置図

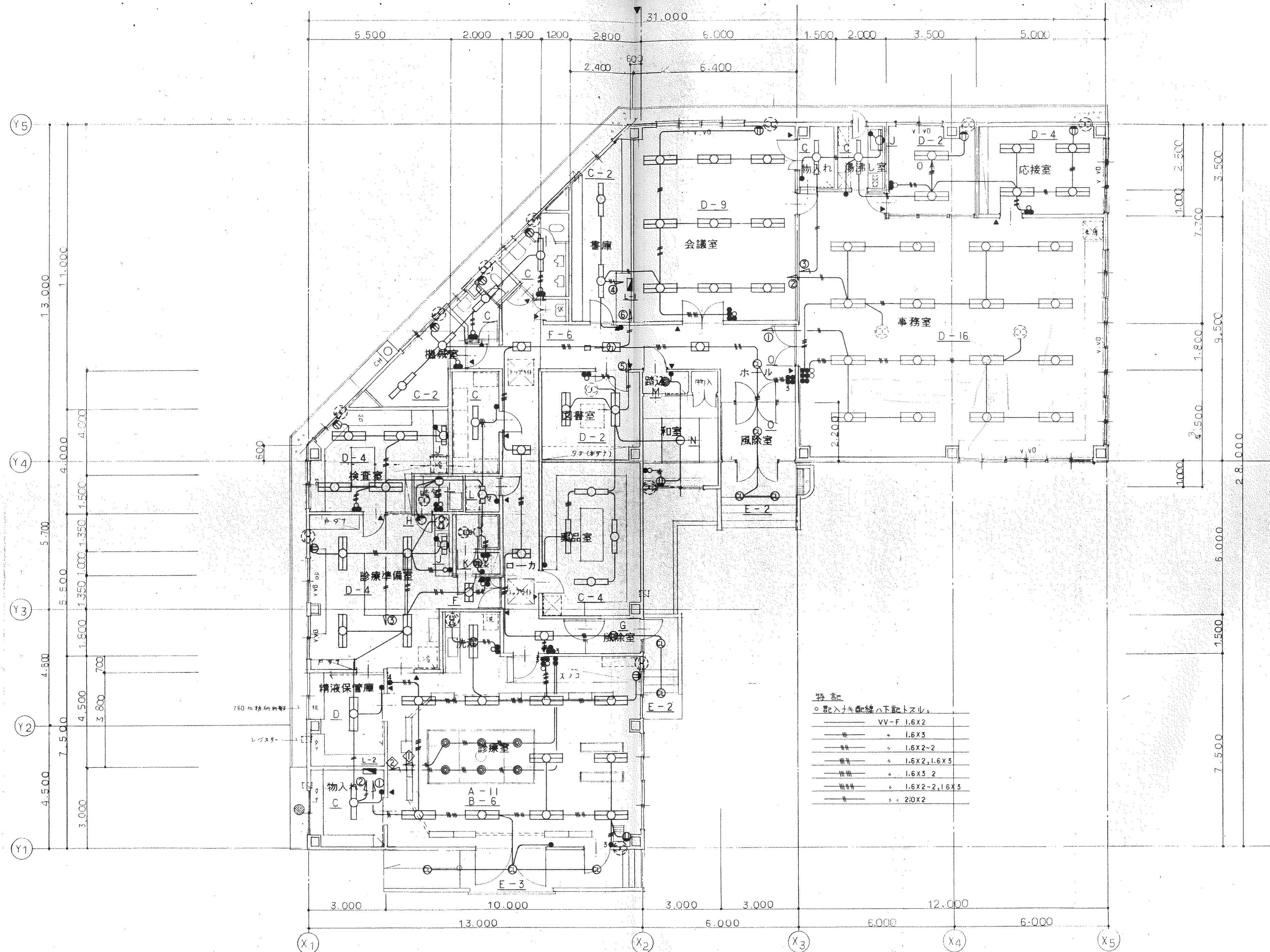
帯広市西3条西2丁目 (帯広市役所)
株式会社 岡田設計事務所
管理建築士 岡田孝生 1級登録 66613 株 岡田 孝生 課長 係長 製図

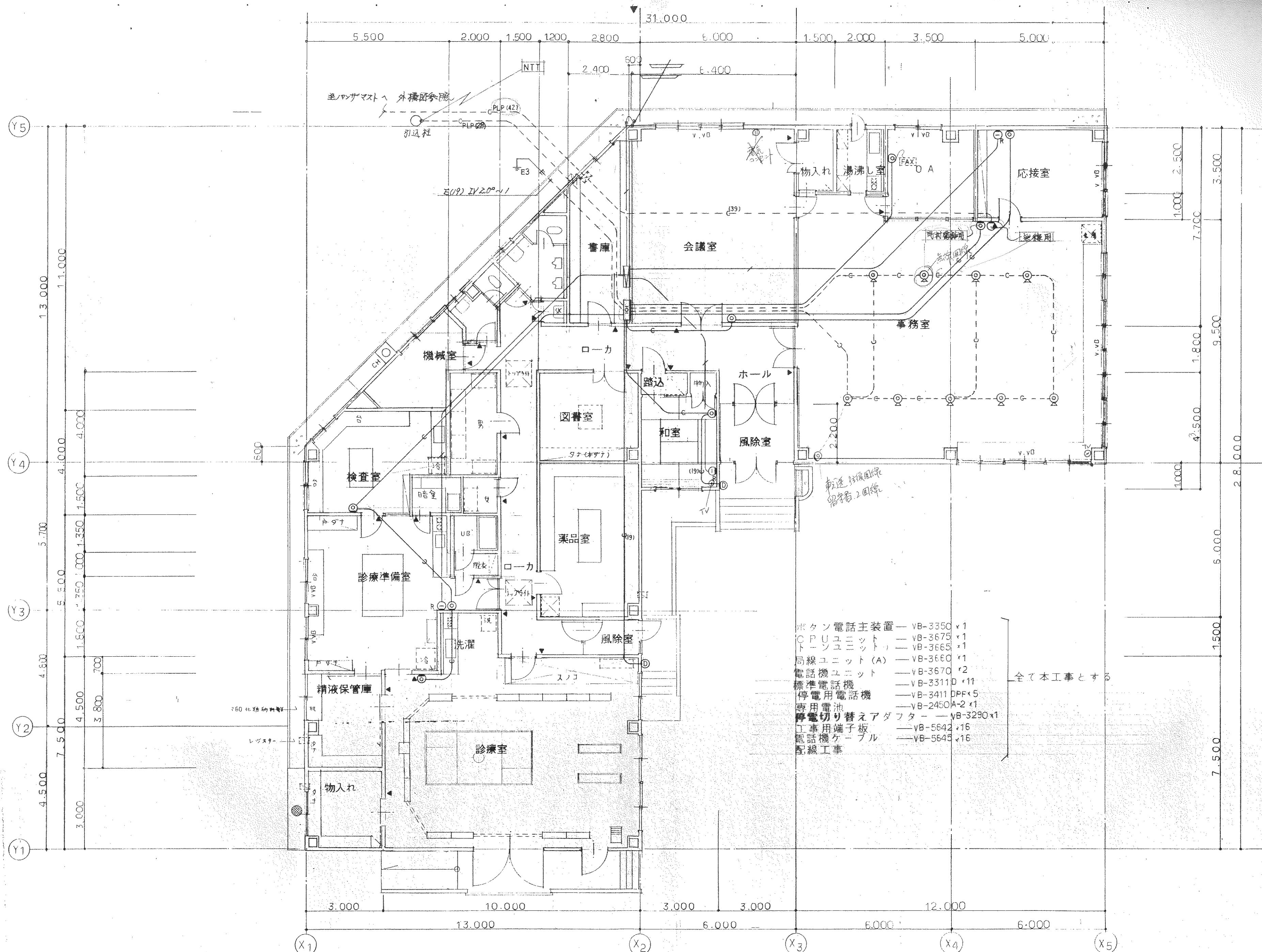
A	FLR40Wx2 防水	B	MF400W 簡易防水	C	FLR40Wx1	D	FLR40Wx2
		 下廻 強化ガラスパネル					
E	FCL30Wx1	F	FL20Wx2	G	FCL20Wx1	H	FL10Wx1
						使用中	
I	IL20W	J	FL20Wx1	K	FPL13W 防水	L	FL20Wx1
							
M	IL40W	N	FCL40W+30W	O	FCL30Wx1		
							

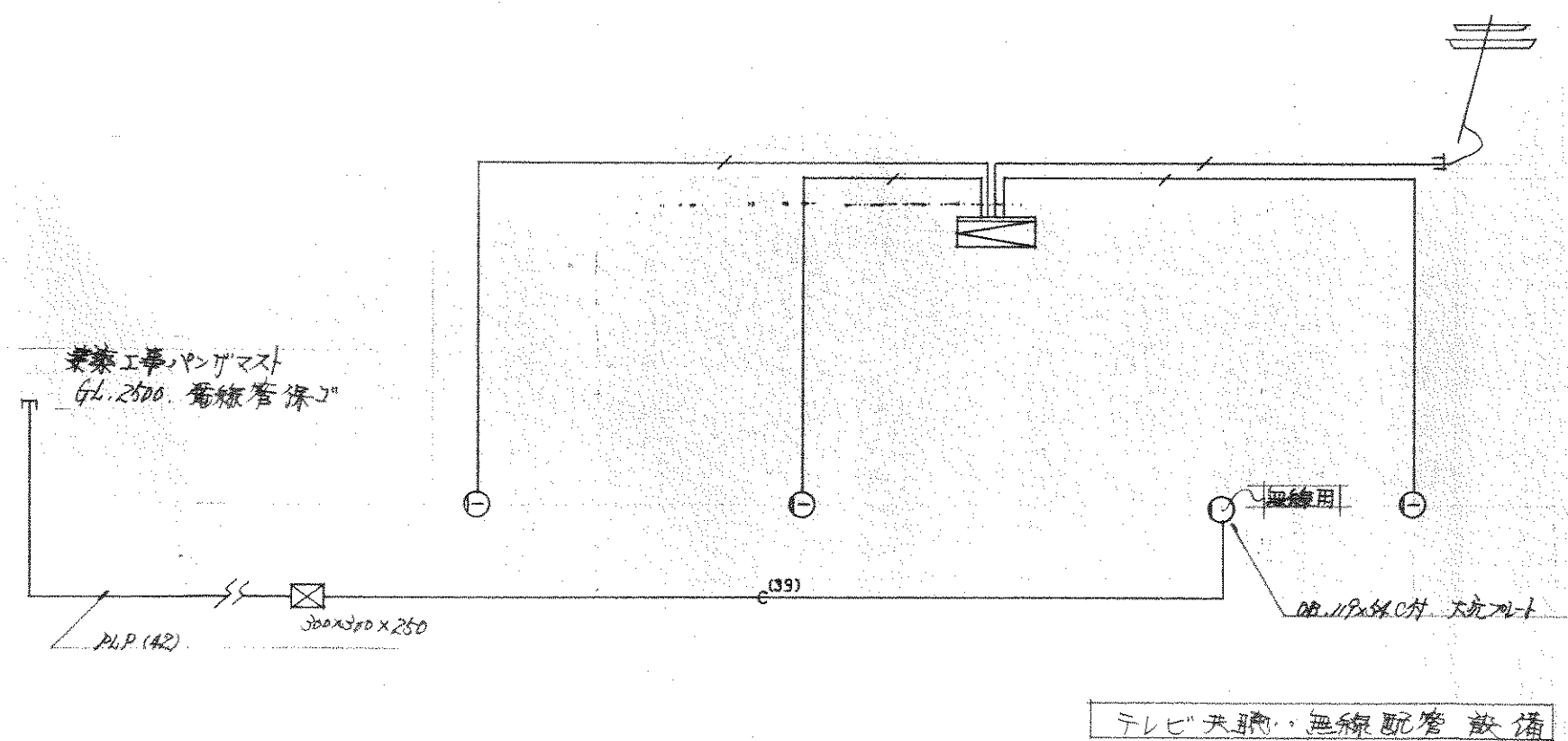
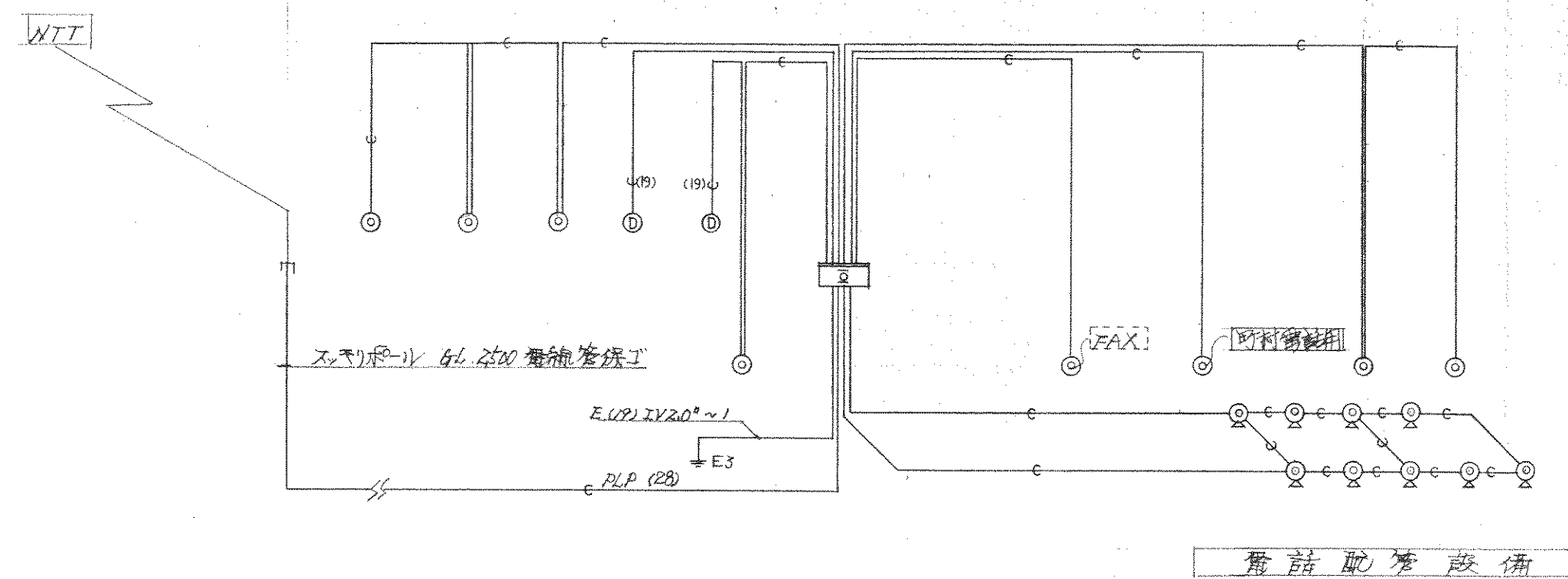


引込用内線盤





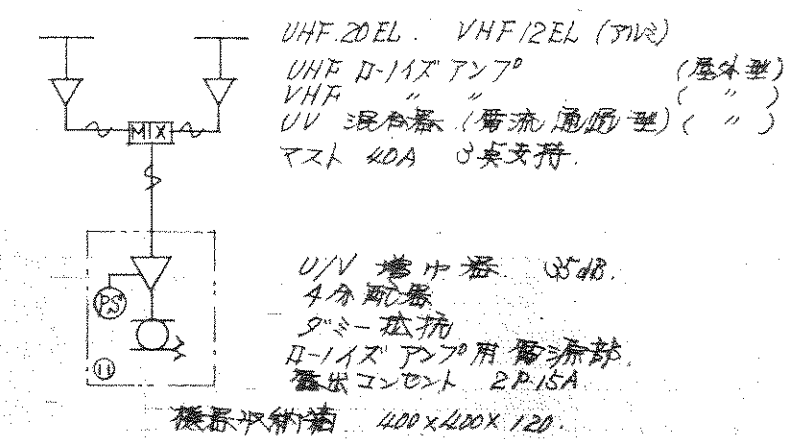




- | | | | |
|---|-------------------|-------------|-----------------|
| ㊦ | 電話用 フロアー ボックス | 1142×540 C付 | フロアアポート ローテーション |
| ㊧ | “ アウトレット ボックス | 1023×540 C付 | テレホンノズル フレート付 |
| ㊨ | トアホン用 アウトレット ボックス | “ | 盲 フレート付 |
| ㊩ | 探知器 用 | 104 × 100 | |

* 記入なる番路は下記による。

~~_____C_____~~ E (25)



直列 $\Rightarrow$ 卜 75 Ω 1 端子.

※ 記入なき電路は、下記による。

 50-FB (19)

工事概要

1. 工事場所 千葉県千葉市中央区新大塚1-8

2. 建物概要

名称	構造	面積	容積	用途
千葉県農業振興センター新館	鉄骨コンクリート造	1,428㎡	1,428㎡	事務所

3. 指定部分工期 契約日より

日

4. 工事項目

(注) 項目は○印を付したものを適用する。

区分	項目	単位	数量	備考
○	空調機設置	台	1	
○	送風機設置	台	1	
○	排気機設置	台	1	
○	空調機設置	台	1	
○	送風機設置	台	1	
○	排気機設置	台	1	
○	空調機設置	台	1	
○	送風機設置	台	1	
○	排気機設置	台	1	

5. 工事区分

※該当は○印とする。

区分	項目	単位	数量	備考
○	空調機設置	台	1	
○	送風機設置	台	1	
○	排気機設置	台	1	
○	空調機設置	台	1	
○	送風機設置	台	1	
○	排気機設置	台	1	
○	空調機設置	台	1	
○	送風機設置	台	1	
○	排気機設置	台	1	

工事仕様

1. 共通仕様 図面及び仕様書に記載されていない事項はすべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。

2. その他 (注) 項目は○印を付したものを適用する。

項目	仕様
1. 共通仕様	図面及び仕様書に記載されていない事項はすべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。
2. その他	(注) 項目は○印を付したものを適用する。
3. 材料	本仕様書に明示されている材料は、すべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。
4. 施工	本仕様書に明示されている施工方法は、すべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。
5. 検査	本仕様書に明示されている検査方法は、すべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。
6. 安全	本仕様書に明示されている安全方法は、すべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。
7. 環境	本仕様書に明示されている環境方法は、すべて建設大臣官庁発注仕様書、建設省標準仕様書、建設省標準仕様書(昭和60年度版)、同様(昭和60年度版)による。なお、図面及び仕様書に記載されていない事項は、設計者の承認を受けて当該図面の指定仕様によることとする。
8. その他	(注) 項目は○印を付したものを適用する。

空調

方式

1. 方式

2. 主要機器及び付属機器

3. 主要機器及び付属機器

4. 放熱部

5. 風道

6. 配管

7. 保温・防露

8. 計装

9. 設置場所

10. 設置方法

11. 設置場所

12. 設置方法

13. 設置場所

14. 設置方法

15. 設置場所

16. 設置方法

17. 設置場所

18. 設置方法

19. 設置場所

20. 設置方法

21. 設置場所

22. 設置方法

23. 設置場所

24. 設置方法

25. 設置場所

26. 設置方法

27. 設置場所

28. 設置方法

29. 設置場所

30. 設置方法

31. 設置場所

32. 設置方法

33. 設置場所

34. 設置方法

35. 設置場所

36. 設置方法

37. 設置場所

38. 設置方法

39. 設置場所

40. 設置方法

41. 設置場所

42. 設置方法

43. 設置場所

44. 設置方法

45. 設置場所

46. 設置方法

47. 設置場所

48. 設置方法

49. 設置場所

50. 設置方法

51. 設置場所

52. 設置方法

53. 設置場所

54. 設置方法

55. 設置場所

56. 設置方法

57. 設置場所

58. 設置方法

59. 設置場所

60. 設置方法

61. 設置場所

62. 設置方法

63. 設置場所

64. 設置方法

65. 設置場所

66. 設置方法

67. 設置場所

68. 設置方法

69. 設置場所

70. 設置方法

71. 設置場所

72. 設置方法

73. 設置場所

74. 設置方法

75. 設置場所

空調

方式

1. 方式

2. 主要機器及び付属機器

3. 主要機器及び付属機器

4. 放熱部

5. 風道

6. 配管

7. 保温・防露

8. 計装

9. 設置場所

10. 設置方法

11. 設置場所

12. 設置方法

13. 設置場所

14. 設置方法

15. 設置場所

16. 設置方法

17. 設置場所

18. 設置方法

19. 設置場所

20. 設置方法

21. 設置場所

22. 設置方法

23. 設置場所

24. 設置方法

25. 設置場所

26. 設置方法

27. 設置場所

28. 設置方法

29. 設置場所

30. 設置方法

31. 設置場所

32. 設置方法

33. 設置場所

34. 設置方法

35. 設置場所

36. 設置方法

37. 設置場所

38. 設置方法

39. 設置場所

40. 設置方法

41. 設置場所

42. 設置方法

43. 設置場所

44. 設置方法

45. 設置場所

46. 設置方法

47. 設置場所

48. 設置方法

49. 設置場所

50. 設置方法

51. 設置場所

52. 設置方法

53. 設置場所

54. 設置方法

55. 設置場所

56. 設置方法

57. 設置場所

58. 設置方法

59. 設置場所

60. 設置方法

61. 設置場所

62. 設置方法

63. 設置場所

64. 設置方法

65. 設置場所

66. 設置方法

67. 設置場所

68. 設置方法

69. 設置場所

70. 設置方法

71. 設置場所

72. 設置方法

73. 設置場所

74. 設置方法

75. 設置場所

空調

方式

1. 方式

2. 主要機器及び付属機器

3. 主要機器及び付属機器

4. 放熱部

5. 風道

6. 配管

7. 保温・防露

8. 計装

9. 設置場所

10. 設置方法

11. 設置場所

12. 設置方法

13. 設置場所

14. 設置方法

15. 設置場所

16. 設置方法

17. 設置場所

18. 設置方法

19. 設置場所

20. 設置方法

21. 設置場所

22. 設置方法

23. 設置場所

24. 設置方法

25. 設置場所

26. 設置方法

27. 設置場所

28. 設置方法

29. 設置場所

30. 設置方法

31. 設置場所

32. 設置方法

33. 設置場所

34. 設置方法

35. 設置場所

36. 設置方法

37. 設置場所

38. 設置方法

39. 設置場所

40. 設置方法

41. 設置場所

42. 設置方法

43. 設置場所

44. 設置方法

45. 設置場所

46. 設置方法

47. 設置場所

48. 設置方法

49. 設置場所

50. 設置方法

51. 設置場所

52. 設置方法

53. 設置場所

54. 設置方法

55. 設置場所

56. 設置方法

57. 設置場所

58. 設置方法

59. 設置場所

60. 設置方法

61. 設置場所

62. 設置方法

63. 設置場所

64. 設置方法

65. 設置場所

66. 設置方法

67. 設置場所

68. 設置方法

69. 設置場所

70. 設置方法

71. 設置場所

72. 設置方法

73. 設置場所

74. 設置方法

75. 設置場所

空調

方式

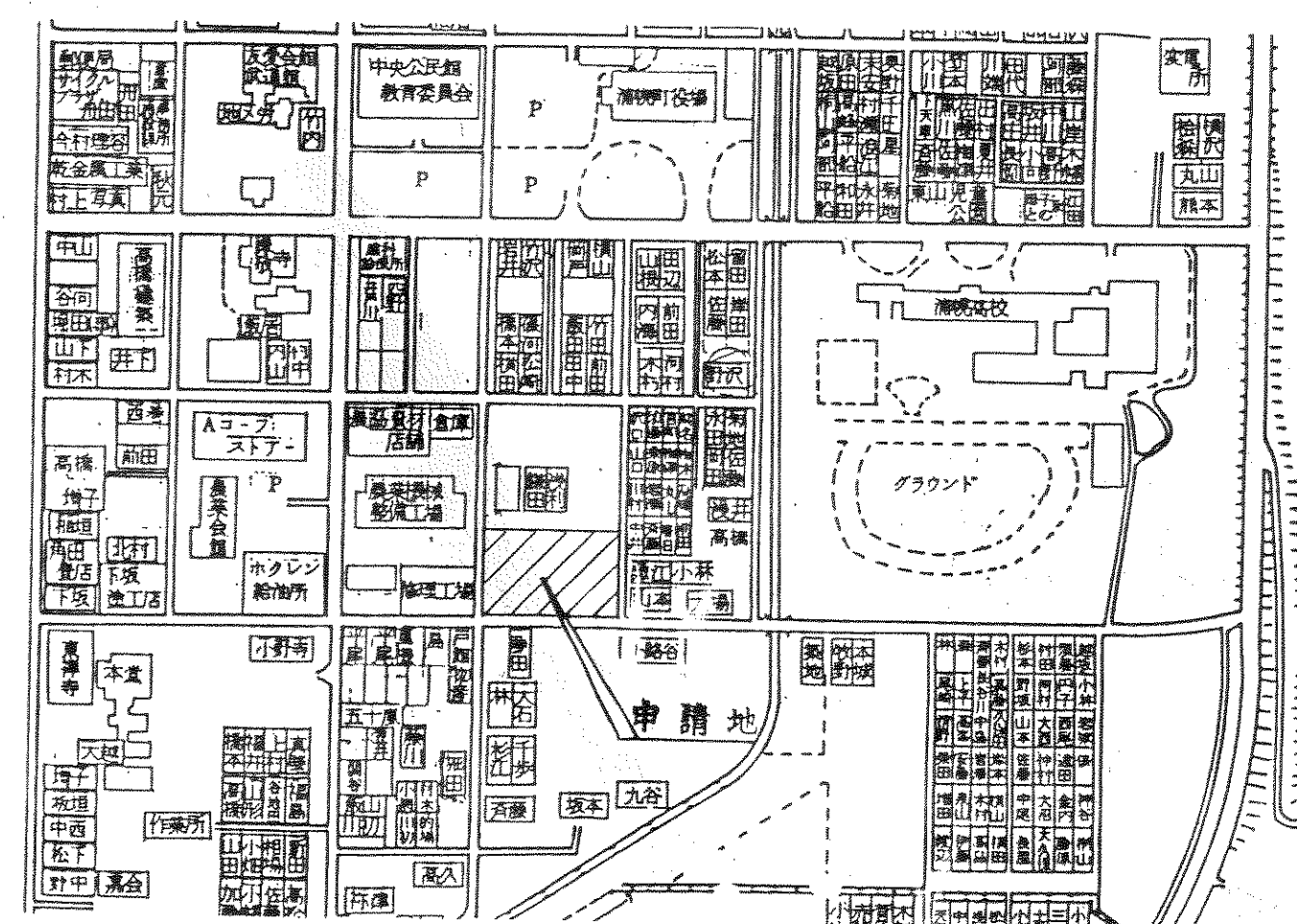
1. 方式

2. 主要機器及び付属機器

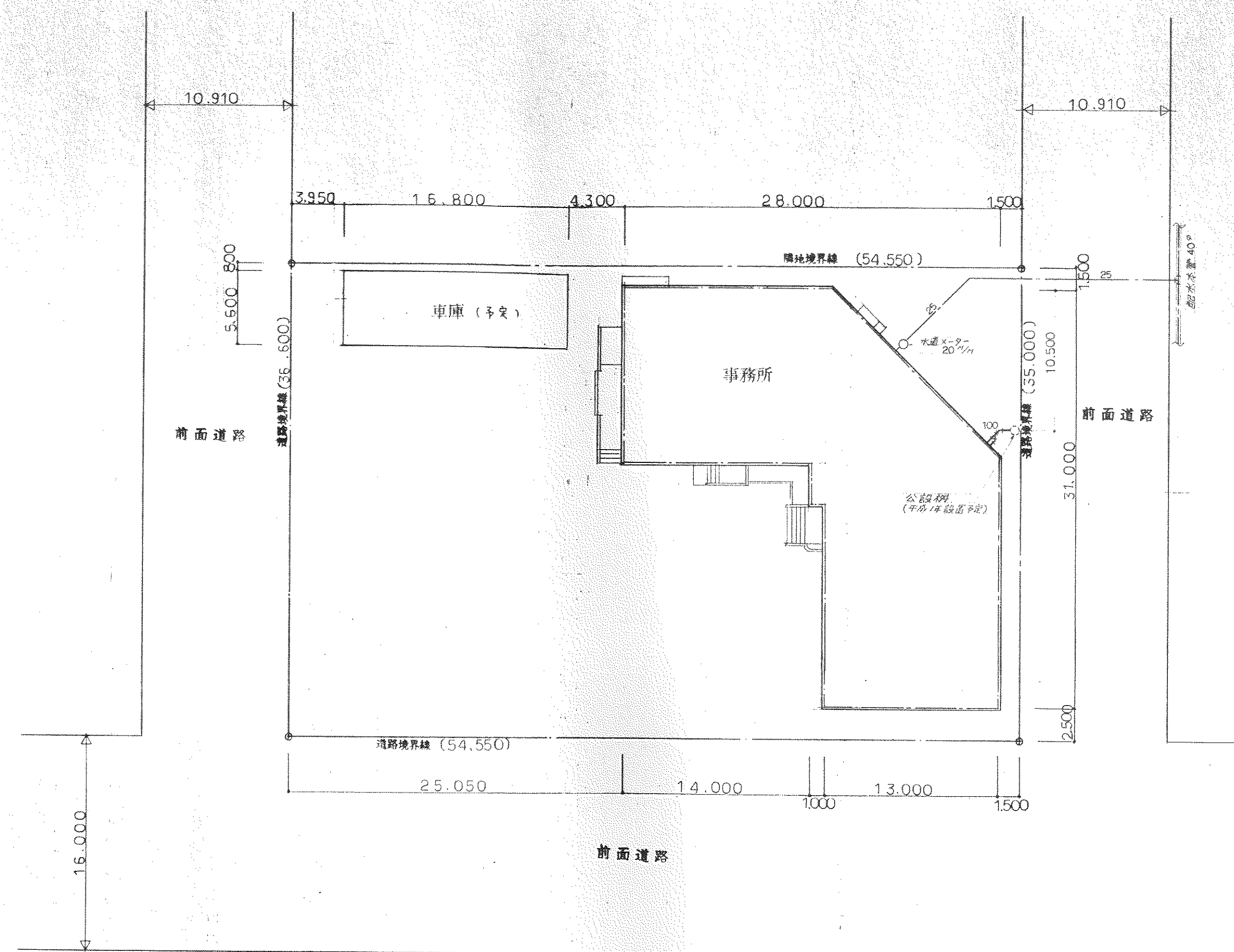
3. 主要機器及び付属機器

4. 放熱部

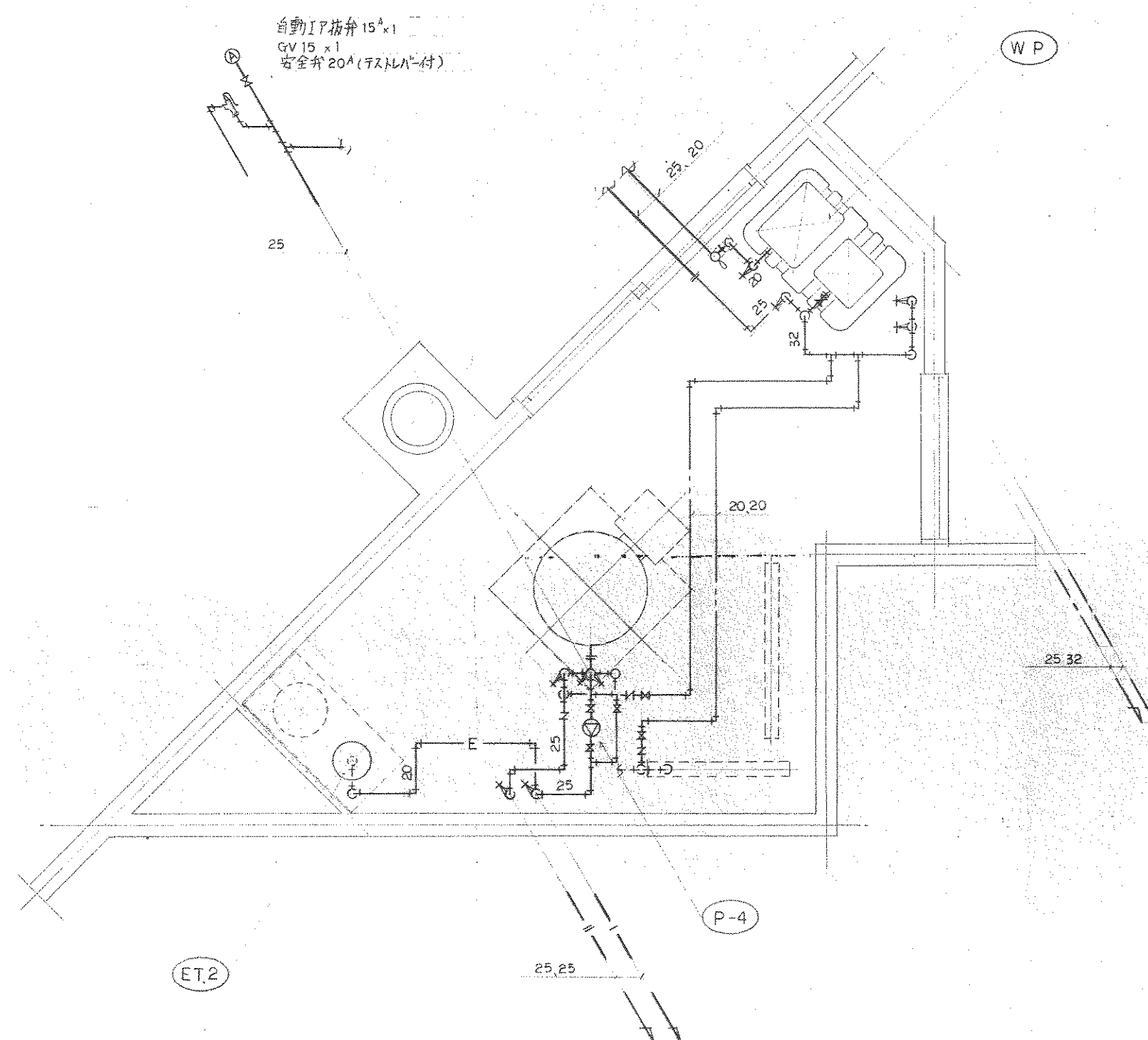
設計概要			
工事名	浦幌町農業共済組合庁舎新築工事		
所在地	十勝郡浦幌町新町15番地, 8		
主要用途	事務所		
建築構造	鉄骨造		
工事種別	新築		
用途地域	準工業地域		
防火地域	指定なし 法22条地域		
最高の高さ	5.65	M	
敷地面積	1,996.53	M ²	
建築面積	541.72	M ²	
延べ面積	524.48	M ²	
建ぺい率	27.13	%	< 70 %
容積率	26.26	%	< 200 %



附近見取図



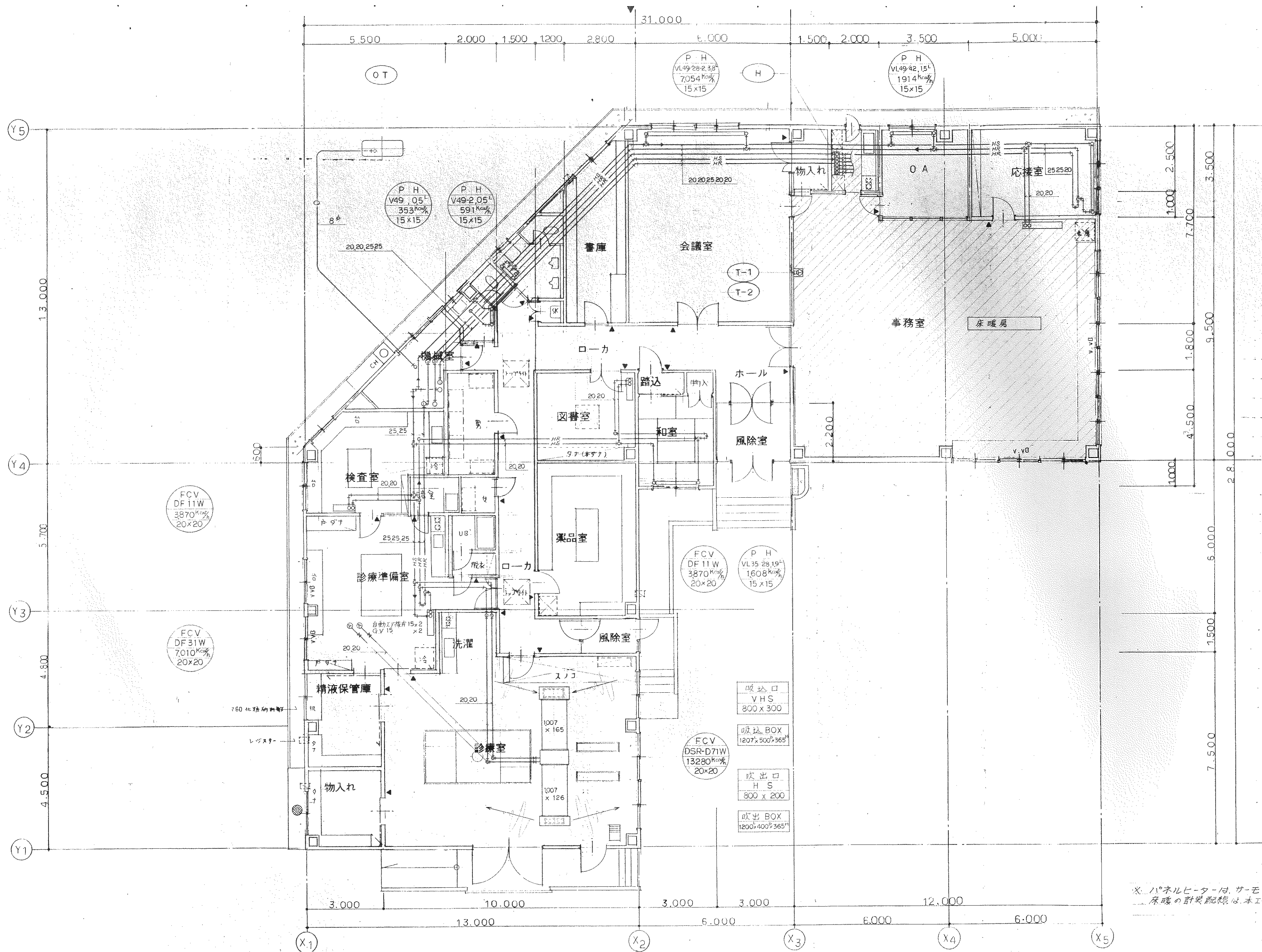
配置図



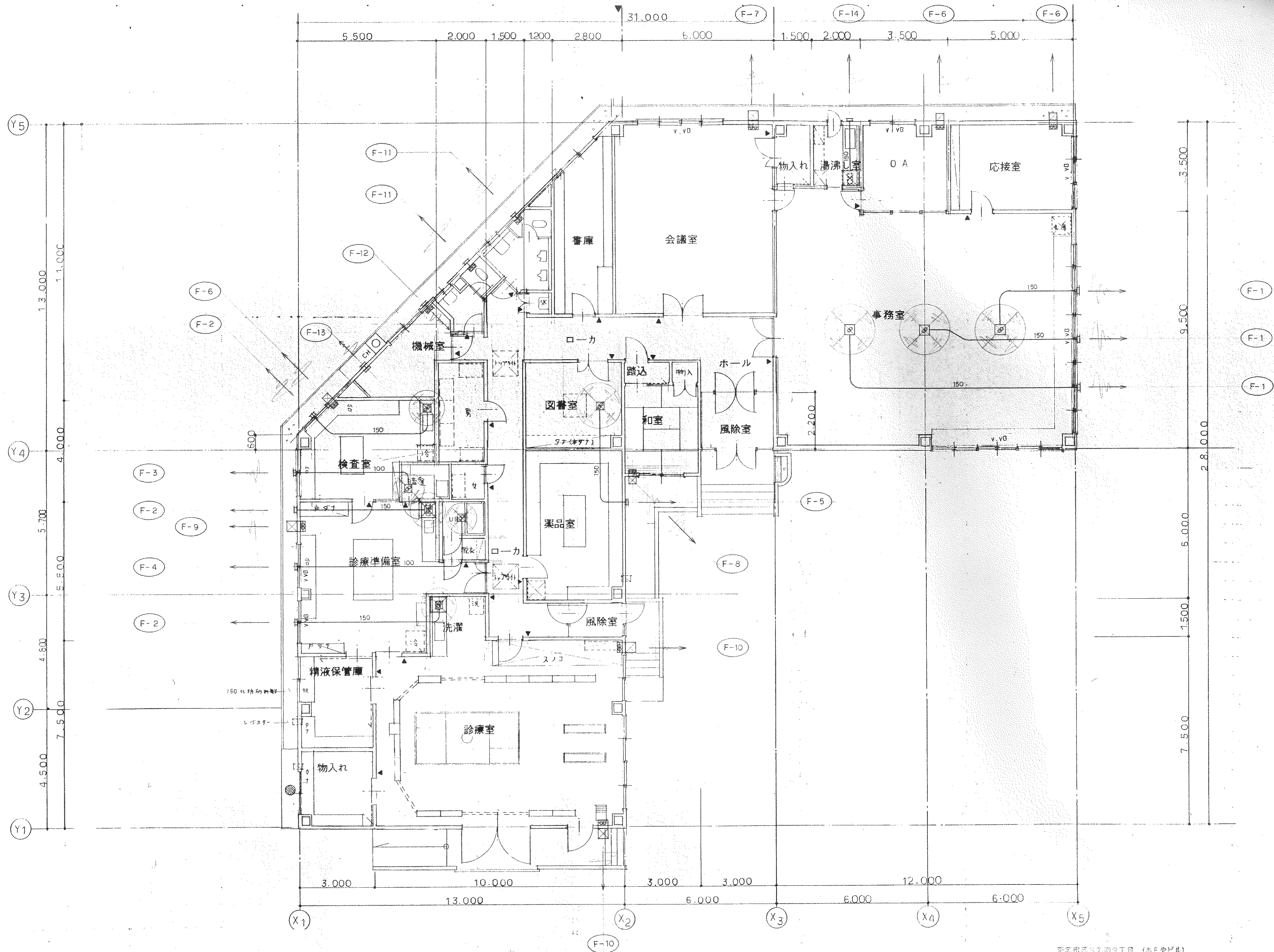
衛生機々器具表

名 称	型 式 及 寸 法	湯 沸 室	検 査 室	暗 室	洗 濯 室	診 療 室	診 療 準 備 室	男 子 便 所	女 子 便 所	ロ ー ヲ	機 械 室	U B	屋 外	個 数	備 考
(WP) 加圧給水ポンプ	32HP54S, 1%100x400, HPT-10 (受水槽100ℓ)										1			1	
(P-4) 給湯用ポンプ	25LPN507 1%100x70										1			1	
(ET2) 密閉式膨張タンク	EX-15, タンク容量 75ℓ										1			1	
ガス瞬間湯沸器	PH-500F (先立式), 可とう管ジョイントG331I型	1	1		1	1								4	給水止水栓付
ガスコンロ	LA1ロビーズコンロG915-12P	1			1	2								4	
ガスボンベ庫	50kg x 2本立用, 自動切替装置他付商品共												1	1	
ガスおれ警報器	LPガス用 CZ-622	1	1		1	1								4	
紫外線手洗水装置	L-200SAM, アクエス				1									1	
自在水栓	T130AR13 (CH)	2	2	2	2	2								10	
ホム水栓	T200ES13 (CH)				2	1								3	
化学水栓	T41AS (CH)						2							2	
シャワー水栓	TM245CMHZ											1		1	
横水栓	T123B13 (CH)									1				1	
散水栓	T27-13												2	2	
洗濯機排水金物	M44GH				1									1	
共栓	SNA 50					1								1	2
排水目皿	D-50					1								1	2
散水栓BOX	B3-A													2	2
水抜栓	20" x 26"										1			1	
"	13" x 26"					2								2	
"	13" x 16"												2	2	
床排水金物	T5-A 50A							1	1		1			3	
大便器	C750V, S570B TS116R							1	1					2	
小便器	U307, T60P							2						2	
洗面器	L230, T210S, T6P							1	1					2	
掃除流し	SK322, T37SN									1				1	
ニュークリーナー (高圧洗浄)	K-750B-1 (KAMCO)					1									
(E) 粉末消火器	ABC 10型 (シブナルスタンダード)													6	

株式会社 岡田設計
管理建築士 岡田孝生
1級登録 66613



※ パネルヒーターは、サーモバルブ付とする。
床暖の計装配線は、本工事とする。(ZUS-2C)



新設市立総合診療所（仮称）
 新設市立総合診療所（仮称）
 新設市立総合診療所（仮称）

テレビ配管 事務室・居室
 茶室の暖房
 無線機・置場

暖房機々表

記号	名称	型式及仕様	数	備考
B	真空式温水ボイラー	KSA-63BL、直排出力 63000 kcal/h、1 ϕ ×100×40 ϕ 、灯油消費量 9.4 l/h	1	基礎 800×800×100 ϕ
P1	ラインポンプ(暖房用)	25LPN507、1 ϕ ×100×70 ϕ	1	
P2	" (床暖用)	"、1 ϕ ×100×70 ϕ	1	
P3	" (循環用)	"、1 ϕ ×100×70 ϕ	1	
H	床暖用ヘッダー	鋼管製 40 ϕ 、ボールバルブ 15 ϕ ×6、水抜用 GV 15 ϕ ×2	1	
ET1	密閉式膨張タンク	EX-90、タンク容量 53 l、391 ϕ ×532 ϕ	1	基礎 500×850×100 ϕ
OT	オイルタンク	490 l、オイルストレーナ、付属品共	1	
T1	室内サーモスタット	RAV-91 5、30° タイマー付	1	
T2	サーモゲース	TC-16	1	
T3	電動三方弁	VXG45、STB21 20 ϕ 、バルブ7 ϕ ×1/2 ϕ 、手動 0~100%	1	

換気機々表

記号	名称	型式及仕様	数	備考
F-1	換気扇(天用)	VD-23ZX-W、624 ϕ 、1 ϕ ×100×80 ϕ VC-150 (SUS、風除板付)	3	
F-2	"	VD-18Z、330 ϕ 、"×"×35 ϕ 天蓋 700 ϕ ×600 ϕ ×500 ϕ (SUS)	3	天蓋は洗濯室及び 診療準備室
F-3	"	VD-10ZSC、90 ϕ 、"×"×18 ϕ VC-100 (SUS、風除板付)	1	
F-4	"	VD-10ZT、90 ϕ 、"×"×18 ϕ "	1	
F-5	"	VD-18ZX-W、258 ϕ 、"×"×185 ϕ VC 150 (SUS、風除板付)	1	
F-6	" (壁用)	EX-20EG2-C、390 ϕ 、"×"×14 ϕ ユーザカバー、金網付 (SUS) P-20CVSD ₂	2	電気式
F-7	"	EX-30EG2-C、990 ϕ 、"×"×30 ϕ " P-30CVSD ₂	1	
F-8	"	EX-20EX、342 ϕ 、"×"×105 ϕ " P-20CVSD ₂	1	
F-9	"	EX-25EG2-C、570 ϕ 、"×"×17 ϕ " P-25CVSD ₂	1	
F-10	"	EX-30EH2、1200 ϕ 、"×"×345 ϕ " P-30CVSD ₂	2	
F-11	"	V-12PSKD、138 ϕ 、"×"×29 ϕ VC-150 (SUS、風除板付)	2	
F-12	給気ファン	V-12PSKD、138 ϕ 、"×"×29 ϕ "	1	
F-13	排気口	P 18QD、"	1	
F-14	排気口	VC-150、(SUS、風除板付)、"	1	レンジフード取付用 建築工事...

